

愛知県理学療法白書

あいち2024

多様な働き方で広がる理学療法士の役割：データで見る現状と未来



公益社団法人
愛知県理学療法士会
Aichi Physical Therapy Association

目 次

巻頭言	三宅わか子	3
第一部 公益社団法人 愛知県理学療法士会の現状と課題		
愛知県理学療法士会の最近3年間の総括	熊谷 泰臣・池野 倫弘	7
Ⅰ. 事務局	星野 茂	9
1. 総務部	清島 大資	9
2. 情報管理部	伊藤 直樹	12
3. 災害対策部	嶋津誠一郎	12
4. ワーク・ライフサポート部	野々山紗矢果	15
Ⅱ. 職能局	宮寄 友和	16
1. 管理業務部	斉藤 良太	19
2. 医療保険業務部	平野明日香	21
3. 介護保険業務部	二井 俊行	22
4. 小児・障がい福祉事業部	鵜飼 宏和	24
5. 介護予防事業部	林 尊弘	25
6. 産業保健事業部	古田 博之	28
Ⅲ. 学習局	大塚 圭	29
1. 生涯学習部	松田 文浩	29
2. 卒前教育部	近藤 達也	30
Ⅳ. 社会局	野々垣 聡	32
1. 社会事業部	舟橋 茂樹	32
2. スポーツ支援部	石田 智大	35
3. 小児地域保健部	深谷 佳希	38
4. 広報部	後藤 亮吉	41
Ⅴ. 支部局	青木 一樹	42
1. 名古屋支部	上原 徹	43
名古屋東部地区	尾田 篤彦	43
名古屋西部地区	中橋 亮平	43
名古屋南部地区	加藤 正樹	44
名古屋北部地区	上原 徹	44
尾張中部地区	上原 徹	44
2. 尾張支部	宮原 利博	45
尾張東部地区	阿部 司	45
尾張西部地区	小塚 康之	46
尾張北部地区	田村 将良	47
海部地区	河邨 誠	48
3. 知多半島支部	竹内 有三	48
4. 西三河支部	村田 元徳	50
西三河北部地区	鬼頭 有子	51
西三河南部東地区	井内 勲	51
西三河南部西地区	野原 聡	52
5. 東三河支部	内藤 貞子	53

Ⅵ. リハビリテーション情報センター	小幡 匡史	55
Ⅶ. 組織・事業検討委員会	宮寄 友和	57
Ⅷ. 表彰委員会	飯田 博己	59
Ⅸ. 地域包括ケア推進委員会	都築 晃	60
X. 2アジア・アジアパラ競技大会支援委員会	平野佳代子	61
XI. 国際活動等推進検討委員会	伴 留亜	63
XII. 選挙管理委員会	山口 裕一	65
XIII. 愛知JRAT	中橋 亮平	66
XIV. 愛知県訪問リハビリテーション協議会	二井 俊行	67
XV. 愛知県リハビリテーション専門職三団体協議会	熊谷 泰臣	68

第二部 特定非営利活動法人 愛知県理学療法士会の現状と課題

理事長総括	石田 和人	71
Ⅰ. 事務局	星野 茂	73
1. 広報部	後藤 亮吉	73
Ⅱ. 事業局	壹岐 英正	75
1. 学術大会部	矢澤 浩成	76
2. 渉外連携部	平野明日香	77
Ⅲ. 学術局	坂野 裕洋	80
1. 教育研修部	瀧 昌也	81
2. 学術誌部	越智 亮	83
Ⅳ. 研究局	加藤 芳司	85
1. 研究者育成開発部	会津 直樹	87
2. 研究事業部	長谷川隆史	90
Ⅴ. 組織・事業検討委員会	上原 徹	91
Ⅵ. 表彰委員会	星野 茂	92

第三部 会員の現状

Ⅰ. 目的	95
Ⅱ. 対象	95
Ⅲ. 方法	95
Ⅳ. 調査項目	95
Ⅴ. 結果	96
1. 会員属性	96
2. 所属機関の状況	99
3. 会員における生涯教育の状況	101

第四部 医療・介護におけるリハビリテーションの現状と課題

Ⅰ. 目的	105
Ⅱ. 対象と方法	105
Ⅲ. 調査項目	105
Ⅳ. 結果	105
Ⅴ. 資料	124
1. アンケートサイト	124
2. 今回協力のあった施設の現状	131

白書委員会 名簿	159
----------------	-----

巻 頭 言

公益社団法人 愛知県理学療法士会
代表理事 三宅わか子

愛知県理学療法士会（The Aichi Physical Therapy Association 以下、APTA）は1979年に設立され2009年に一般社団法人、2014年に公益社団法人へ移行しました。APTAの理念は以下の通りです。

A：All people 「すべての人々」を対等なパートナーとして多様性を理解し、
P：Personal 「個々の個性を尊重」してそれぞれが持っている能力を発揮し、
T：with Team 「共に人生を歩むチーム」として対象者とセラピストが寄り添い、
A：Active&Safetyその人にとって「安心・安全な暮らし」を実現するために活躍する。

本会は設立以来45年にわたり、理学療法士の学術・技能の研鑽や人的資質の向上をはかり、理学療法を通じて県民の保健・医療・福祉の発展に寄与することを目的に活動して参りました。理学療法士は人と地域とつながり、人間の生き方や社会に深く関わるリハビリテーションの専門家です。

この白書は2021年度から2024年度の3年間の当会並びに特定非営利活動法人愛知県理学療法士学会の部局の活動報告、本会会員の実態調査、愛知県におけるリハビリテーションの現状と課題について調査を実施し報告するために発刊いたしました。

我が国の少し先の未来を見てみますと、2040年までに緩やかではありますが75歳以上の高齢者が増加し、高齢者を支える15～64歳の人口減少が加速し、平均寿命の延伸とともに人生は100年時代を迎えつつあります。我々理学療法士を取り巻く社会においても、地域包括ケアシステムの構築から地域共生社会の実現、全世代型の社会保障が求められ活躍する職域は産業保健、学校保健、スポーツ支援、災害支援など多岐に渡っています。

厚生労働省第4回健康日本21推進専門委員会報告による2022年全国健康寿命は女性が75.45歳、男性は72.57歳で、調査を始めた2001年と比べると女性は2.8歳、男性は3.17歳延びています。我々理学療法士は県民が望む「いつでもどこでも自分らしい暮らし」を実現するために、リハビリテーション職種の連携はもとより、多職種連携による地域の特色にあった多様性に富んだ活動を行っていますが、これらの活動は健康寿命の延伸にも繋がっていると認識しています。

白書の発刊が、理学療法士の活動を広く県民の皆さま、行政並びに関連団体等にご理解いただき良き連携が図れる一助となれば幸いです。

第一部 公益社団法人 愛知県理学療法士会の現状と課題

愛知県理学療法士会 3年間の総括

副代表理事 熊谷 泰臣
池野 倫弘

2021年度から2023年度までの3年間の愛知県理学療法士会（以下、士会）の活動の概略を報告します。

改めまして、2024年度の能登半島地震やこれまでの水害などの災害により、様々なかたちで日常生活に影響を受けている全ての皆様に心よりお見舞い申し上げます。

この3年間においてはCOVID-19の感染拡大傾向にある2類相当から5類になってくる時期であるとともに、2021年度の東日本大震災の余震といわれる福島県沖地震を始めとする各地での地震の発生と、7月に発生した静岡県や神奈川県を中心とする集中豪雨による土石流災害や、河川の氾濫など多くの災害が生じてきました。特に線状降水帯発生による災害は増加傾向にあり、線状降水帯の発生が、2021年度の2回だったものが2023年度には29回となっているとのことで、当団体の活動も大きく変わった3年間だと思います。特に災害への対応は急務なこととなってきたと思います。

2021年度には介護報酬の改定、2022年度には診療報酬の改定から、2024年度の障がいを含むトリプル改定がおこなわれ、高齢化と人口の減少への対応で情勢も変化してきていると思います。

2021年度は、2019年に始まりましたCOVID-19の感染拡大から、活動の再開がすすめられ、組織改編で学習局を創設し、養成校における卒然と卒後の教育をつなぐ役割を担うように進めてきました。また、11月には、事務局を現在の名古屋市中区丸の内に移転しました。また、介護報酬の改定について、説明会等の活動を実施しました

2022年度には、2015年度に始まりました、医療介護総合確保基金事業における委託事業が拡充され、一般社団法人愛知県作業療法士会、一般社団法人愛知県言語聴覚士会に加え、公益社団法人愛知県栄養士会、公益社団法人愛知県歯科衛生士会に加わっていただき5団体での市町村への支援事業が展開されております。また、この年には診療報酬の改定があり、これまでの経緯に沿った改定が行われております。

2023年度には、新たな事業として新人のオリエンテーションの日程に合わせて、いきいき健康フェスタを開催しました。会場は名古屋国際会議場を使用し、オリエンテーションに参加した方以外にも県民の皆様の来場があり、理学療法士の紹介から、障がい者スポーツや、福祉用具の機器展示とそれに合わせての研修会を開催しました。この事業については、ここを起点として、継続的な事業に展開できるように今後も工夫され開催されていくものと考えております。こどもの福祉機器展（チャレンジドフェア）についてはCOVID-19の感染の関係で対面での開催が難しい状況が継続していましたが、2023年度から、対面での開催を再開しております。

このチャレンジドフェアについては会場が手狭になってきていることもあり、開催会場の変更をすすめていると思います。

また、2023年度には代表理事が鳥山喜之氏から三宅わか子氏に代わり、新しい体制で会の運営が進んでおります。新入会員の入会率が減少傾向にあり、これからの大きな課題です。会のあり方の検討と非会員への啓発がより必要になってきております。

簡単ではありますが、総括としましての報告です。具体的な内容はこの後の報告となります。

県民の皆様におかれましては、今後とも士会活動にご理解、ご賛同いただくことを改めてお願い申し上げます。また、これからも県民の健康、病気・障害の回復、介護予防に寄与し、社会に求められるような専門職であることができるよう成長していきます。

この3年間の総括とさせていただきます。

公益社団法人愛知県理学療法士会事務局（2021年度～2023年度）

1) 概要

事務局は総務部・財務部・情報管理部・災害対策部・ワークライフサポート部の5部体制により運営をしております。士会運営はもとより、事務局職員の労務管理・他団体・行政機関・企業等との連携調整も担っています。公益法人として社会より求められる役割も多岐にわたり、会員の資質向上は基より理学療法士の社会貢献に資する活動を実施し、理学療法士の社会的価値の向上に努めてまいりました。

この間は感染症対策と働き方改革を中心課題に事業調整をしつつ、電子帳簿保存法等各種法的制度改革にも対応できる事務局体制の構築を図り事務局強化を図っておりました。また、今後発生が危惧される南海トラフ地震への対策についても能登半島地震の教訓を活かし対策を講じてまいりました。

2) 課題

前巻の白書発行時にも課題として挙げられた組織率の低下は本会においても大きな継続課題として残っております。何とか会員数減少傾向にはまだ至ってはおりませんが以前のような右肩上がりの会員数の増加はなく横ばい状態の維持というのが精一杯の結果でした。今後の事業運営にも費用・活動人員・理学療法士としての資質担保という点からも大きな課題となっています。

また、今後人口減少社会に向かっていく中で、いかに理学療法が社会に貢献できるかを現状の保健・医療・介護を中心とした活動のみならず産業界をも巻き込んだ理学療法のイノベーションを起こし、Society5.0での社会要素を理学療法士がいかに構築できるかの体制整備に努めていくことが今後の大きな課題となっています。

1. 総務部

部長 清島 大資

1) 概要

総務部は事務局下に組織され、各部局における事業の情報を取りまとめています。また、会員情報の管理（異動、休会、退会等）、郵送文書開封・整理、公文書の発信・保管、会員や関係団体等からの問い合わせ対応、会議（理事会、総会等）開催時の資料準備・議事録作成などの業務を担っています。

2) 会員動向

2021年度から2023年年度における各期末時の会員数は、2021年度5,703名、2022年度5,839名、2023年度5,821名であり3年間で118名が増加しました（図I-1-1）。新入会員数は、2021年度384名、2022年度378名、2023年度387名でした。一方、退会者は2021年度259名、2022年度294名、2023年度233名でした。

平均年齢は2023年度末で男性36.3歳、女性34.7歳でともに3年前より1歳弱の増加となりました。男女比率は男性63.3%女性36.7%で3年前よりやや男性の比率が増加しました（図I-1-2）。

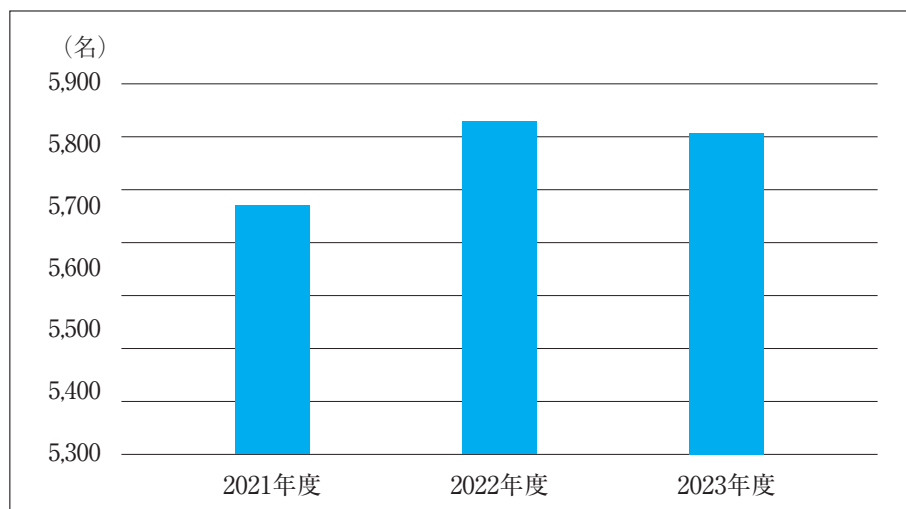


図 I - 1 - 1 総会員数

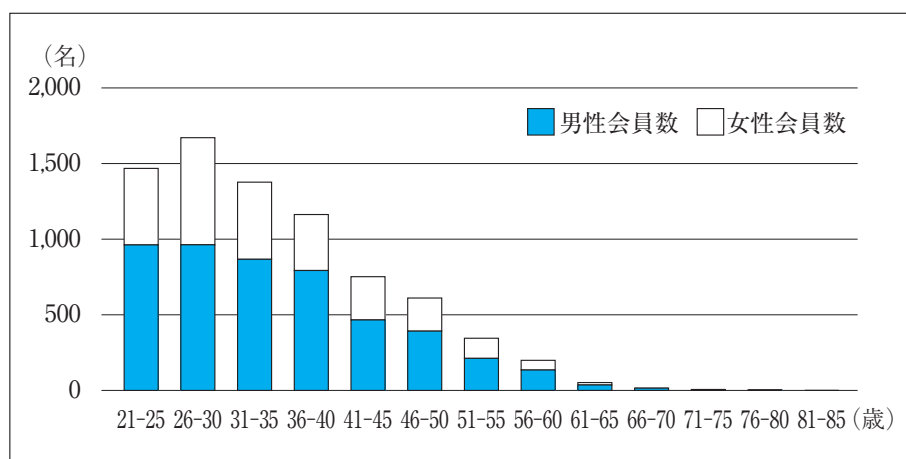


図 I - 1 - 2 2023年度男女・年齢別会員数

3) 活動内容

(1) 通常業務

各部局における事業情報の取りまとめについては、各事業の実施により提出される計画書・報告書等の資料の確認・保管を行っています。

会員情報の管理について、現在は会員の情報はすべて公益社団法人日本理学療法士協会（以下、協会）による一元管理となっており、新入会、異動、休会、退会、会員情報の変

更等の受付についてはすべてウェブ上での手続きとなっています。本会会員の情報を協会より取得して事業運営を行っています。会員動向に関する情報は広報誌（士会ニュース）にも毎回掲載をしています。

郵送文書開封・整理については、各関係機関からの郵便物を開封して整理し、各担当部署への伝達をしています。

公文書の発信・保管については、各関係機関への公文書の発行・郵送、発行した公文書の管理・保管をしています。

会員や関係団体等からの問い合わせ対応については、会員や各関係機関からの電話・郵送等での問い合わせに対応し、必要に応じて各部署への連絡をしています。

会議（理事会、総会等）開催時の資料準備・議事録作成については、隔月で開催される理事会や毎年開催される総会について、会場の手配、出席の確認、理事の委任状の集約、各議題・報告事項について集約をして、当日の資料作成、開催後の議事録の作成を行なっています。理事会は、COVID-19の影響によりWeb会議もしくはハイブリッドでの会議でしたが、2023年度より対面にて開催しています。

(2) 定時社員総会及び施設代表者会議の開催

毎年、6月上旬頃に開催しています。施設代表者会議では、本会や協会の方向性や意向について説明をし、代表者からの意見を直接お伺いする良い機会となっています。

(3) 新入会員オリエンテーションの準備

毎年4月下旬頃に、新入会希望者へのオリエンテーションを実施し本会や協会の活動について説明をしています。総務部が会場などを準備し、生涯学習部により新人理学療法士研修会として開催しています。

(4) 愛知県リハビリテーション専門職三団体協議会の開催

本会、一般社団法人愛知県作業療法士会、言語聴覚士会の3団体で2017年度より協議会を開催しており、3団体で協力可能な事業の検討や今後の3団体の方向性等について例年3回程度開催しています。

4) 3年間の変遷と今後の課題

(1) 事業情報の取りまとめ

事業が年々増加しており、各部局の実施負担が大きくなるとともに事業情報の取りまとめに係る業務負担も増加しています。2020年度より事務局職員を雇用し、事務局への情報の一元化、書類フォーマットの改善などを進めています。

(2) 会員情報の収集

事業が増加していく中、協会からの会員情報のみでは対応が難しい事象が多くなっています。本会独自での会員管理の方法を検討しています。

(3) 新入会員への対応、退会者増加への対応

毎年多くの新入会員があるため、研修会等の情報をスムーズに発信する必要があります。

一方、退会者も例年多くあるため、組織率の維持のために対策が必要となります。

(4)規約等の整備

他団体との事業依頼の増加等により、これまでの規約では想定していなかった事象が増えています。今後も状況も鑑みた規約の整備が必要となっています。

(5)他団体との連携

県からの委託事業・補助事業が継続・拡大されていることや、2026年に開催が決定している第20回アジア競技大会および第5回アジアパラ競技大会の準備委員会への出席もあり、県とのさらなる連携が必要となっています。

また、介護予防分野では愛知県内の作業療法士会・言語聴覚士会だけでなく、栄養士会・歯科衛生士会との連携が必要となっています。

2. 情報管理部

部長 伊藤 直樹

1) 概要

2017年度の組織改編に伴い、調査資料部が発足しました。その後、2019年度に情報管理部と名称を変更し、現在に至ります。会員管理システムの管理、会員へのメール配信システムの整備、各部局が行った事業の記録・データ管理、IT化の促進などの業務を担っています。また、3年に1回発行する愛知県理学療法白書の作成を担当しています。

COVID-19の影響により、各部局が企画した多くの講習会がオンラインで開催されました。情報管理部では、オンラインでスムーズに講習会が開催できるような体制（機器の整備、運用マニュアルの作成）を構築しました。

2) 今後の課題

2021年度から士会運営のさらなるIT化の促進のために、Microsoft365を用いた役員間の情報共有やデータ管理の一元化を図っています。世の中では、生成AIが脅威的な進歩を遂げています。今後も、時代の流れに応じた様々な技術を導入し、会員の利便性の向上や円滑な士会運営を目指していきます。

3. 災害対策部

部長 嶋津 誠一郎

1) 概要

災害対策部の始まりは2011年東日本大震災を契機に、特設委員会として立ち上がり、その後2017年に常設委員会へと移行してきました。2021年には士会組織編成に伴い、災害対策部として位置付けられました。部員は7名で全員がJIMTEF^{*1}災害医療研修を修了していま

す。また3名はJRAT^{※2}としても活動をしています。愛知JRATには登録隊員として50名が登録されており、うちRスタッフ6名、Lスタッフ10名、Dスタッフ4名となっています。

2) 活動状況

当部会の基本的な事業は①災害対策啓発研修会②JRAT研修会③情報伝達訓練④士会BCP^{※3}作成となります。

災害対策啓発研修会は、災害の基本的な内容を知ること、JRAT研修会は災害支援のより実践的な内容について企画を進めてきました。情報伝達訓練につきましては、災害対策本部の立ち上げ訓練と合わせて行うことで、発災時の円滑な支援受援体制の構築に取り組んできました。BCPにつきましては策定中となっています。

3) 今後の課題

南海トラフ地震の予測が難しいと言われるようになりました。過去の大規模災害の経験をもとに、災害リハビリテーションは少しずつ、形になってきました。

災害時に関わらず、地域住民の健康や生活を守るため、士会はJRATと協働し、災害時に活動できる人材の育成と支援体制及び受援体制の構築を目標、今後も継続した啓発活動に取り組んでいきたいと考えています。

※1 JIMTEF (JAPAN INTERNATIONAL MEDICAL TECHNOLOGY FOUNDATION) 公益財団法人国際医療技術財団

※2 JRAT (JAPAN DISASTER REHABILITATION Assistance Team) 一般社団法人日本災害リハビリテーション支援協会

※3 BCP (Business Continuity Planning) 事業継続計画

表 I - 3 - 7 災害対策関連研修 (2021年度～2023年度)

開催日	講演	講師名	所属	参加人数
2021年 11月27日	災害時におけるNPOとリハビリテーション専門職種の協働の可能性	浦野 愛	認定NPO法人レスキューストックヤード 常務理事	53
	災害リハビリテーションの実際～熱海土砂災害における静岡JRATの活動～	浅野 直也	国立病院機構静岡医療センター	
		村岡 健史	常葉大学保健医療学部 作業療法学科	
2022年 2月26日 ※	熱海市伊豆山地区土砂災害における静岡JRATの活動①	村岡 健史	常葉大学 作業療法士	239
	熱海市伊豆山地区土砂災害における静岡JRATの活動②	高橋 博達	浜松リハビリテーション病院 副院長	
	愛知JRATの活動マニュアルについて	中橋 亮平	鶴飼リハビリテーション病院 理学療法士	
	災害医療と地域復興	小早川義貴	国立病院機構災害医療センター 医師	
2022年 10月16日	愛知県地震被害予測調査結果と打3次愛知地震対策アクションプランについて	水谷 泰啓	愛知県防災危機管理課 政策・企画グループ 主査	46
	災害時における自衛隊の活動の概要と医療関係者との連携～元幹部自衛官の言語聴覚士が語る災害時支援の基本的事項～	甘利 秋月	合同会社 KoKoRo企画 代表	
		嶋津誠一郎	公益社団法人愛知県理学療法士会災害対策部部長	
		太田 崇	一般社団法人愛知県作業療法士会災害対策委員会委員長	
2023年 3月4日 ※	愛知JMATの活動とJRATとの連携	細川 秀一	公益社団法人 日本医師会 常任理事	113
	災害時におけるリハビリテーション医療支援	富岡 正雄	大阪医科薬科大学 リハビリテーション医学教室	
	愛知JRATの活動報告2022	塚田晋太郎	豊橋創造大学 理学療法士	
2023年 11月11日	熊本地震～リハビリテーションスタッフはどのようにして自施設、地域を守ったか～	山本 恵仙	医療法人堀尾会 詫麻台リハビリテーション病院 言語聴覚士	67
		西川伸太郎	医療法人清和会 平成とうや病院 理学療法士	
2024年 3月16日 ※	県庁でのロジについて	森 雅大	名古屋掖済会病院 理学療法士	36
	七尾でのロジについて	小出 陸登	済衆館病院 理学療法士	
	奥能登の避難所支援	中橋 亮平	鶴飼リハビリテーション病院 理学療法士	
	1.5次避難所でのロジについて	塚田晋太郎	豊橋創造大学 理学療法士	
	R-L-D-Eスタッフの説明と愛知JRATの現状について	塚田晋太郎	豊橋創造大学 理学療法士	

※愛知JRAT研修会含む

4. ワーク・ライフサポート部

部長 野々山紗矢果

1) 概要

ワークライフサポート部は2017年度に特設委員会として男女共同参画等検討委員会が設置され、2021年度にワーク・ライフサポート部に昇格・名称変更となり、事務局下に組織されています。

活動の目的は大きく以下の3つです。

- ①会員相互が就労環境・働き方・キャリア等について考えるきっかけを作ること
- ②会員が自己の技術を活かせる情報提供を行えるようにすること
- ③仕事と生活をバランス良く形像できるための健康管理を支援すること

2) 活動内容

2021年度から2023年度の活動内容は以下のとおりです。

表 I-4-7

年度	日時	事業	内容	備考
2021年度	10/1 ～11/20	実態調査	働き方に関するアンケート調査（Googlフォーム）	調査結果の報告は2022年2月にホームページ、及びAPTA204号（2022.2号）へ掲載
	12月14日	施設訪問	施設訪問実施（共和病院）	施設訪問の報告は2022年3月にホームページへ掲載
	12月22日	動画配信	第1回ワラサボの部屋レコーディング ゲスト：寺本圭佑先生（中堅PT）	※配信開始は2022年8月8日
	3月3日	セミナー	「メンタルヘルス～ストレスマネジメントについて～」のレコーディング 講師：古井由美子先生（愛知医科大学病院 ころのケアセンター技師長）	動画配信のみ ※配信は2022年7月1日～7月31日、一般公開開始は2023年4月7日
2022年度	8月15日	動画配信	第2回ワラサボの部屋レコーディング ゲスト：川副泰門先生（新人PT）	※配信開始は2023年3月27日
	11月25日	動画配信	第3回ワラサボの部屋レコーディング ゲスト：三宅わか子先生（ベテランPT）	※配信開始は2023年3月27日
	11月28日	セミナー	「メンタルヘルス～ストレスマネジメントについて～中堅・管理職向け」のレコーディング 講師：古井由美子先生（愛知医科大学病院 ころのケアセンター技師長）	動画配信のみ ※配信は2023年2月13日～3月19日、一般公開開始は2023年4月5日
2023年度	6月4日	実態調査	施設代表者に向けたワーク・ライフに関するアンケート（紙面）	部の運営の参考のため結果公開なし
	12月20日	動画配信	第4回ワラサボの部屋レコーディング ゲスト：齋藤広貴先生（中堅PT）	※配信開始は2024年4月24日

3) 今後の課題

ワーク・ライフバランスは理学療法士に限らず課題となる内容です。一般的なワークへの悩みについてやライフでの活動のヒントを提供するとともに理学療法士という専門職ならではの働き方の悩み、キャリア形成において逃れられない男女性差の問題など実際に工夫をしている人やところを参考に情報発信していけたらと考えています。

1) 概要

職能局は、2020年までは「管理業務推進部」「保険業務推進部」「予防事業推進部」の構成で活動していました。2021年度からは6部に再編し、「管理業務部」「医療保険業務部」「介護保険業務部」「小児・障がい福祉事業部」「介護予防事業部」「産業保険事業部」の構成で活動しております。

管理業務部は理学療法士の業務・身分・職域などに関する事柄を扱う部で、管理者の育成を目的とした研修会などの開催しております。職域別の管理者のネットワークの構築に向けての事業や施設代表者会議、指定管理者研修（初級）を実施し、管理者の資質向上や管理者の連携について取り組んできました。

医療保険業務部、介護保険業務部は診療報酬、介護報酬の正しい理解と運用を促進する目的で、説明会や相談会を開催しています。また、愛知県の補助金事業である喀痰吸引研修やチーム医療研修、在宅医療推進研修についても活動してきました。

小児・障がい福祉業務部は障がい福祉サービスの制度の理解を促進するための相談会や制度説明会を開催しています。また、小児分野においては研修会及び交流会を開催し、顔の見える関係作りも行っています。

介護予防事業部は愛知県の委託事業における研修会（地域包括ケア推進リーダー、介護予防推進リーダー導入研修）の開催や地域リハビリテーション専門職介護予防指導者育成事業を作業療法士会、言語聴覚士会と3団体で進め、さらに栄養士会、歯科衛生士会を加えての5団体での活動へと発展しております。市町村における介護予防・自立支援の取組を強化することを目的として、介護予防企画検討会議や地区別研修会を実施しています。また、シルバーリハビリ指導士普及事業でも活動しています。

産業保険事業部は県内の各企業等・医療施設・介護施設等に対して、産業理学療法（理学療法士）の啓発活動を行い、健康経営セミナーや健康づくりの講座に参画しています。また、学術に関しては日本産業理学療法研究会と連携しています。その他にも、腰痛予防出前講座、愛知県理学療法士会YouTube動画を作成し、県士会会員に限らず、企業の方や一般の方も視聴ができるようにしています。

2021年度に再編成し、理学療法士の職域に応じた事業を実施できるように進めています。また、各部が重なる領域もあることから、共同で研修会を開催するなど、連携も強化しています。

2) 活動内容

(1) 管理業務部

- ①施設代表者会議（士会主催マネジメント研修）
- ②職域別管理者ネットワーク事業
 - ・協会指定管理者研修（初級）
 - ・職域別管理者ネットワーク研修会（急性期）
 - ・職域別管理者ネットワーク研修会（回復期）
 - ・職域別管理者ネットワーク研修会（地域包括ケア病棟）
 - ・職域別管理者ネットワーク研修会（生活期）
 - ・職域別管理者ネットワーク研修会（教育）
- ③管理者資質向上研修

(2) 医療保険業務部

- ①在宅医療・リハビリテーション推進研修（愛知県補助金事業）
- ②ADL維持向上等体制加算に関する研修
- ③診療報酬相談研修事業
 - ・診療報酬改定説明会（2022年）
 - ・医療保険に関する相談会

(3) 介護保険業務部

- ①喀痰吸引研修事業2～3回/年（愛知県補助金事業）
- ②介護報酬相談研修事業
 - ・介護報酬改定説明会（2021年）
 - ・介護保険に関する相談会
- ③重症化予防研修（愛知県補助金事業）
- ④訪問リハビリテーション実務者研修（愛知県委託事業）
- ⑤デイケア実務者研修（愛知県委託事業）

(4) 小児・障がい福祉事業部

- ①小児分野の研修会及び交流会（2023年）
- ②障がい福祉事業情報発信
 - ・研修会の開催
 - ・県士会ホームページ及び広報誌での情報発信
- ③障害福祉サービス相談研修事業
 - ・障害福祉サービスに関する相談会（2023年）

(5) 介護予防事業部

- ①地域包括ケアシステム推進リーダー育成事業
 - ・介護予防推進リーダー育成研修
 - ・地域包括ケア推進リーダー育成研修

②地域リハ専門職介護予防指導者育成事業（愛知県委託事業）

- ・介護予防企画検討会議
県内5地区（名古屋・尾張・知多・西三河・東三河）及び全体で合わせて30回程度実施。
- ・アドバイザー養成研修
- ・地区別研修会（名古屋・尾張・知多・西三河・東三河の5会場で開催）
- ・介護予防指導者育成事業全体会
- ・アドバイザーフォローアップ研修

③シルバーリハビリ体操事業

- ・岩倉市シルバーリハビリ体操推進事業（2019年より岩倉市委託事業）

(6)産業保険事業部

①腰痛予防事業

- ・腰痛予防出前（WEB）講座
- ・YouTube動画作成及び配信

②産業保健健康増進事業

- ・企業向け出前講座
- ・一般向けYouTube動画作成及び配信

③アンケート・実態調査事業

- ・産業保健事業に関する認知度アンケート調査
- ・県内会員施設へ産業保健事業の実態調査

3) 今後の課題

この3年間は、COVID-19の感染拡大で活動が一時的に停止することもありましたが、オンライン等の活用により事業を継続して参りました。2021年度に職能局を6部に再編し、愛知県等からの委託事業等の拡大もあり、総合的には事業が拡大した3年間となりました。職能局の役割として、職域や業務範囲の広がる中で更なる質の向上を図ること、各領域でネットワークを構築すること、部局間の連携を強化すること、新たな職域へ展開すること、などが考えられます。目まぐるしい社会の変化に合わせて、私たち自らも変革していく必要があります。委託事業の継続に加えて、他団体との協力体制を作り、県民の健康の維持・向上に貢献していくことも必要であると思います。

会員の皆様には、引き続き活動へのご理解とご協力を頂きますようお願いいたします。また、新しい分野への広がりが進む活動に、より興味を持っていただき、部員としての活動にも参加していただけると有難く思います。これからもよろしくお願いいたします。

1. 管理業務部

部長 齊藤 良太

1) 部局の役割

管理業務部は、理学療法士の管理者を育成し、管理者同士のネットワークを構築することを主な目的とした部門です。現在、多くの業界で外部・内部環境の変化により、管理者が直面する課題は多様化し、ますます複雑になっています。理学療法士の分野も例外ではありません。このような状況において、管理者の能力向上や負担軽減を図ることは、各施設の質の向上に貢献するとともに、理学療法士全体の専門性や信頼性を維持・向上させるために重要です。

そこで私たちは、「管理者育成事業」と「管理者ネットワーク構築事業」の2つを柱として活動を展開しています。これらの取り組みを通じて、理学療法士が社会的に高い信頼とブランド力を維持し続けることを目指しています。また、対象者は現在管理職にある方々に加え、将来の管理職を担う若手リーダー層にも幅広く門戸を開いています。

2) 部局の活動状況

(1)管理者育成事業

この事業では、理学療法士協会が指定する管理者（初級）資格取得を目指す方を対象にした研修会を実施しています。また、初級資格取得後のさらなるスキルアップを目的に、初級・上級管理者ブラッシュアップ研修も行っています。初級・上級管理者ブラッシュアップ研修では、理論の学習だけでなく、現場での実践を意識したワークを取り入れ、学びを現場で活かすことができるよう工夫しています。

(2)管理者ネットワーク構築事業

この事業では、回復期、地域包括ケア、生活期、急性期、教育の5つの領域ごとにネットワークを構築し、年に一度集まれる場として領域毎にワークショップを開催しています。各領域特有の課題に焦点を当て、参加者同士が課題解決のアイデアを共有し、情報交換を活発化させる場となるように開催しています。このネットワークを通じて、管理者間の孤立を防ぎ、知識や経験を共有することを目指しています。また、こうした交流を通じて、参加者の視野を広げるとともに、精神的な負担の軽減にもつながることを期待しています。

これらの研修では、講義形式に加えてグループワークを積極的に取り入れることで、他者の意見から学び、自身の考えを深める機会を提供しています。また、COVID-19感染拡大以降はオンライン形式を導入し、場所に縛られず参加しやすい環境を整えています。

3) 今後の課題

現在の課題は、より多くのリーダーや管理職の方々に研修会やネットワーク活動に参加していただくことです。特に、次世代を担う若手リーダー層の参加は重要です。そのために、

現場の関心やニーズに合わせた内容の企画、広報活動の改善、参加しやすい雰囲気づくりが求められています。また、参加者から高い評価をいただいている研修の成果を活用し、より効果的な広報戦略を立てることで、活動の魅力を多くの方に伝えていく必要があります。

私たちは、管理業務部の活動を通じて、理学療法士全体のスキルアップと、管理者が安心して活躍できる環境づくりを目指しています。引き続き、皆さまからのご意見を参考にしながら、より充実した取り組みを進めてまいります。

表Ⅱ－１－７ 管理業務部事業一覧（講師名 敬称略）

年度	事業	開催日	研修名/テーマ	講師	会場
2021年度	管理者ネットワーク構築事業	7月6日	リハビリテーションをマネジメントするとは ～リハビリテーション会議の必要性～	清水 友章	web開催 (オンライン)
	管理者育成事業	7月31日	協会指定管理者研修（初級） 管理者ネットワーク構築の必要性 EPDCAの考え方とその必要性	星野 茂 熊谷 泰臣	web開催 (オンライン)
	管理者ネットワーク構築事業	9月18日	ADL維持向上等体制加算研修会 急性期でリハビリテーション専門職に求められる役割 ～コロナ禍における新たな働き方～	平澤 純 伊藤 武久 寺谷 章弘 上村 晃寛 平野明日香 半田 一登	web開催 (オンライン)
	管理者ネットワーク構築事業	9月25日	地域包括ケア病棟の運営～全体像とよくある課題～	上野 愛範	web開催 (オンライン)
	管理者ネットワーク構築事業	11月6日	病院機能から考える回復期リハ病棟の組織体制とマネジメント ～マネジメントを4つの視点で考える～	熊谷 泰臣	web開催 (オンライン)
	管理者育成事業	12月12日	初級・上級管理者ブラッシュアップ研修 理論と実践から学ぶ後輩育成のコツ	松山 太士	web開催 (オンライン)
	管理者ネットワーク構築事業	1月16日	ADL維持向上等体制加算研修会 急性期から始めるACP	西川 満則 大城 京子 平野明日香 都築 晃	web開催 (オンライン)
	管理者ネットワーク構築事業	1月22日	新型コロナウイルス患者に対しての リハビリの必要性和継続性を考える	永田 英貴	web開催 (オンライン)
	管理者ネットワーク構築事業	2月26日	卒前教育と卒後教育をつなげる	大塚 圭	web開催 (オンライン)
2022年度	管理者ネットワーク構築事業	7月23日	急性期病棟のリハビリマネジメント ～ヒト・モノ・カネ・情報の管理～	管理業務部	web開催 (オンライン)
	管理者ネットワーク構築事業	9月10日	状況別に考えよう地域包括ケア病棟の運営	上野 愛範	web開催 (オンライン)
	管理者ネットワーク構築事業	10月15日	これからの生活期リハを考える ～地域包括ケア時代とその未来～	藤田 正之	web開催 (オンライン)
	管理者ネットワーク構築事業	11月12日	診療報酬改定からみた回復期リハ病棟運営の戦略と戦術	宮寄 友和	web開催 (オンライン)
	管理者育成事業	12月17日	協会指定管理者研修（初級） 管理者ネットワーク構築の必要性 EPDCAの考え方とその必要性	星野 茂 熊谷 泰臣	web開催 (オンライン)
	管理者育成事業	1月22日	初級・上級管理者ブラッシュアップ研修 学ぶ組織のつくり方 ～組織行動学・コーチング理論からのヒント～	江草 典政	web開催 (オンライン)
	管理者ネットワーク構築事業	2月25日	社会が求める理学療法士とは ～イケてるじゃん私たちの教育～	松本 泉	web開催 (オンライン)
2023年度	管理者育成事業	7月22日	協会指定管理者研修（初級） 管理者ネットワーク構築の必要性 EPDCAの考え方とその必要性	星野 茂 熊谷 泰臣	ウイंकあい ち（対面）
	管理者ネットワーク構築事業	9月9日	知っているようで知らないACP ～急性期から生活期リハへつなぐACP～	萩本 聡	web開催 (オンライン)
	管理者ネットワーク構築事業	10月21日	組織運営を継続・進化させていくための人事戦略	宮寄 友和	web開催 (オンライン)
	管理者ネットワーク構築事業	1月20日	地域包括ケア時代における回復期リハ病棟の在り方	中澤 信	web開催 (オンライン)
	管理者ネットワーク構築事業	2月24日	理学療法教育における卒前卒後のシームレス化 ～卒前卒後をつなぐキュービットはあなた～	三宅わか子	web開催 (オンライン)
	管理者育成事業	3月9日	初級・上級管理者ブラッシュアップ研修 ～管理者としてキャリアについて考えてみる～	上田 周平	web開催 (オンライン)

2. 医療保険業務部

部長 平野 明日香

1) 概要（紹介）

2021年に保健業務推進部から介護報酬を扱う介護保険分野と診療報酬を扱う医療保険分野に分けられ、我々は医療保険業務部として始動しました。診療報酬改定に関する研修や相談会等を通じて医療保険制度の正しい理解と普及を図り、質の高い医療の提供を目的に活動しております。

2) 活動内容

2021年から2023年までの活動状況は以下の通りです。

(1)診療報酬改定に関する事業

診療報酬の正しい理解と普及のため、2021年度には令和2年度の診療報酬改定に合わせた研修会、2022年度には次期診療報酬改定へ向けた座談会の開催と診療報酬に関する各施設の取り組みの実態把握のためアンケート調査を実施しました。アンケート調査の報告は愛知県理学療法学会誌の36巻1号に「令和4年度診療報酬改定に関するアンケート調査報告－愛知県理学療法士会会員施設において－」のタイトルで公開されております。

(2)診療報酬に関する質問相談コーナー

年度毎に年1回開催される愛知県理学療法学会学術大会内で診療報酬に関する質問相談コーナーを開設し、診療報酬における日々の悩み事を個別に相談できる体制を構築しました。

(3)在宅医療リハビリテーション推進研修会

愛知県補助金事業として在宅医療に関わる多職種を対象に、在宅医療におけるリハビリテーションの推進と教育を目的に研修会を年1回開催しました。

(4)ADL維持向上等体制加算研修会

急性期リハビリテーションの充実のため、ADL維持向上等体制加算に関する研修会を開催しました。病棟専従や専任の療法士同士で日々の臨床参加者とグループディスカッションを通じて急性期医療のあり方を様々な視点から検討しました。

3) 今後の課題

診療報酬の正しい理解へ向けた各事業は、管理者にはご理解いただき研修会への参加を通じて質の高い医療に貢献できていると考えています。しかし、若手や中堅等の事業参加は少なく、診療報酬の仕組みを理解いただいていない可能性があります。そこで、若手や中堅等に診療報酬の仕組みを理解いただき、さらなる医療の質の向上が図れるような事業の充実を図りたいと考えております。

表Ⅱ－２－１ 医療保険業務部の活動実績

年度	事業名	開催日	内容	講師・対応者（敬称略）	備考
2021年度	在宅医療リハビリテーション推進研修会	12月12日	COVID-19 に対するリハビリテーション～急性期、回復期、生活期の連携はどうあるべきか～	岩田健太郎 （神戸市立医療センター中央市民病院）他	愛知県補助金事業
	診療報酬改定説明会	3月16日	令和2年度診療報酬改定説明会	鳥山 喜之 （愛知県理学療法士代表理事）	
2022年度	診療報酬に関する質問相談コーナー	5月23日 5月24日	診療報酬に関する個別の相談会	医療保険業務部部員	第30回愛知県理学療法学会学術大会内
	次期診療報酬改定へ向けた座談会	6月21日	疾患別リハビリテーション料の過去と未来～理学療法士はどう行動すべきか～	半田 一登 （日本理学療法士協会会長）	
	ADL 維持向上等体制加算研修会	12月4日	急性期病院の転倒転落対策～セラピストの役割～	安田 耕平 （帝京科学大学）他	
	在宅医療リハビリテーション推進研修会	2月26日	地域医療の要！地域包括ケア病棟の役割と連携の在り方を知る	田中 元規 （刈谷豊田東病院）他	愛知県補助金事業
	診療報酬改定の実態調査		診療報酬に関するアンケート調査	医療保険業務部部員	
2023年度	診療報酬に関する質問相談コーナー	5月14日	診療報酬に関する個別の相談会	医療保険業務部部員	第31回愛知県理学療法学会学術大会内
	ADL 維持向上等加算研修会	10月22日	急性期病院における褥瘡予防と治療－他職種連携でできる適切な離床、ポジショニングを考えよう	吉川 義之 （奈良学園大学）他	
	在宅医療リハビリテーション推進研修会	2月24日	認知症に対するリハビリテーションの実際	植田 郁恵 （国立長寿医療研究センター）他	愛知県補助金事業

3. 介護保険業務部

部長 二井 俊行

①活動状況 ②今後の課題

1) 介護保険事業部の紹介

保険部は2003年（平成15年）に創部し、理学療法及びリハビリテーションに係る保険制度に関することを取り扱い、医療保険や介護保険の変化その他情報の収集と正しい解釈・伝達を行うことを目的に活動してきました。2017年には、倫理保険業務部と名称を変更し、理学療法士・作業療法士法等法令・省令等に関すること、倫理に関することを目的に加え、2021年には、医療保険と介護保険を2つに分け、介護保険業務部として活動しています。介護保険制度の改定などに関する研修や相談会を実施し、保険制度について正しい知識の普及に努め、実践していくことで、介護保険分野での質の高いサービスを実践できることを目指しています。

2) 活動内容

2021年から2023年までの活動状況は以下の通りです。吸引研修、報酬改定後の説明会、重症化予防研修、デイケア研修を実施しました。利用者の自立支援を有効に進めていくには多職種連携が必要です。その中で理学療法士に何を求められているかを中心に研修を行って参りました。

3) 今後の課題

高齢化社会において、介護保険分野での必要な視点を、理学療法士として今後もお伝えできればと思っています。来年度以降は、福祉用具ケアの研修も行っていきます。

表Ⅱ－3－1

年度	事業名	開催日	内容	講師（敬称略）
2021年度	第1回 喀痰吸引研修会	1月24日	喀痰吸引に必要な基礎知識（講義） 喀痰吸引技術研修（実技）	小林 美和 愛知医科大学病院
	第2回 喀痰吸引研修会	2月14日	喀痰吸引に必要な基礎知識（講義） 喀痰吸引技術研修（実技）	小林 美和 愛知医科大学病院
	第3回 喀痰吸引研修会	3月6日	喀痰吸引に必要な基礎知識（講義） 喀痰吸引技術研修（実技）	小林 美和 愛知医科大学病院
	チーム医療研修会	11月8日	リハビリマネジメントの効果的な実践とその工夫	武井 誠司 さとまち
	診療報酬改定説明会	3月27日	令和2年度診療報酬改定説明会	鳥山 喜之 愛知県理学療法士 代表理事
2022年度	第1回 喀痰吸引研修会	9月18日	喀痰吸引に必要な基礎知識（講義） 喀痰吸引技術研修（実技）	小林 美和 愛知医科大学病院
	第2回 喀痰吸引研修会	1月22日	喀痰吸引に必要な基礎知識（講義） 喀痰吸引技術研修（実技）	小林 美和 愛知医科大学病院
	重症化予防研修会	10月18日	重症化予防・自立支援のための機能訓練の方法について	小幡 史 合同会社 Think Body Japan
	デイケア研修会	3月12日	通所リハビリテーションにおける リハビリテーションマネジメント	武井 誠司 さとまち
2023年度	第1回 喀痰吸引研修会 ズーム	7月30日	喀痰吸引に必要な基礎知識（講義） 喀痰吸引技術研修（実技）	小林 美和 愛知医科大学病院
	第2回 喀痰吸引研修会 ズーム	12月17日	喀痰吸引に必要な基礎知識（講義） 喀痰吸引技術研修（実技）	小林 美和 愛知医科大学病院
	重症化予防研修会	11月1日	重症化予防・自立支援のための機能訓練の方法について	二井 俊行 海南病院きらら
	デイケア研修会	9月30日	他職種と福祉用具の活用法を学び、利用者に効果的に活用できるようにする	二井 俊行 海南病院きらら

4. 小児・障がい福祉事業部

部長 鵜飼 宏和

1) 活動状況

(1)小児・障がい福祉事業部事業の目的

近年、少子高齢化への対策として、地域包括ケアシステムが構築され、高齢者、障がい児者が住み慣れた地域で生活していくことの支援が進んでいます。

地域での生活を支える社会保障の一つとして、「障害福祉サービス」があり、この分野で活躍する理学療法士も増えています。

ただ、医療、介護保険分野で就業している理学療法士が多数を占める中、制度が異なる「障害福祉サービス」の分野への理解が十分でないことは否めません。

また、地域生活を支援するにあたっては、医療、保健、福祉、教育、保育、行政など、他分野との連携が必須となり、そのためには当事者を支援する制度の理解が必要になると考えられます。

小児・障がい福祉事業部は、理学療法士に向けて障害福祉サービスに関する情報を発信し知見を得て頂くことを目的に2021年に発足しました。情報を得て他職種との意見交換や患者様の退院後の指導等へ役立てて頂くこと、或いは、現在当該分野で就業されている方同士の情報交換等にも役立てて頂けることを願い、事業を行っています。

(2)事業内容

現在、「情報発信」と「情報交換」を目的として、以下の事業を実施しています。

①研修会

主に、「就労支援」をテーマにして、現場で活躍されている方々から実情の報告や理学療法士の存在意義等を講演して頂いています。

②交流会

「小児分野の理学療法士交流会」として、主に小児分野に関連した現場で就業されている方々に集まって頂き、普段の困りごとや悩みを話す場を作っています。

③県内学会での懇談ブース出展

愛知県理学療法学会大会において設置される部局相談ブースへ出展し、「障害福祉サービス」についての関心を促し、就業中の方からの相談聴取、意見交換、等を行っています。

2) 今後の課題

発足して間もない部であり、事業の認知度もまだまだ低いと考えています。しかし、今後他職種との協業が進むことが推測される中、理学療法士が身に着けておきたい分野であり、少しずつ関心を高められるよう、情報発信に取り組みたいと考えています。

表Ⅱ－４－１ 小児・障がい福祉事業部 実施事業（2021-2023）

年度	事業内容
2021年 (令和3年)	<p><県士会ホームページへの情報発信></p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業の紹介 ・名古屋市総合リハビリテーションセンター自立支援部見学会案内の掲載 <p><研修会></p> <p>開催日：2021年（令和3年）12月12日</p> <p>テーマ「障害者総合支援法、障害福祉サービスについて」</p> <p>講師：江川和郎氏 豊橋市基幹相談支援センター長 松野俊次氏 NPO法人発達を支援する会じゃんぐるじむ代表</p>
2022年 (令和4年)	<p><県士会ホームページへの情報発信></p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉サービス事業の紹介／就労支援について <p><研修会></p> <p>開催日：2023年（令和4年）12月4日</p> <p>テーマ「脳卒中片麻痺者の就労支援における理学療法」</p> <p>講師：大槻徹氏 リハスワーク名古屋みずほ 理学療法士 小木曾将史氏 名古屋市総合リハビリテーションセンター 社会福祉士 三輪芳子氏 名古屋市総合リハビリテーションセンター 理学療法士</p>
2023年 (令和5年)	<p><小児分野の理学療法士交流会></p> <p>開催日：2023年（令和5年）9月10日</p> <p>参加者：32名</p> <p>講演：テーマ「三河青い鳥医療療育センターの紹介・小児リハビリテーションで心得ておきたいこと」</p> <p>講師：愛知県三河青い鳥医療療育センター 理学療法士 山本佳司氏</p> <p><研修会（オンライン）></p> <p>開催日：2024年（令和6年）2月9日</p> <p>テーマ「障がい福祉分野で理学療法士が活躍するために～就労支援事業での経験から～」</p> <p>講師：大槻徹氏 株式会社ハンズオン・キッズエール小牧・犬山 理学療法士</p> <p><愛知県理学療法学会大会相談ブース出展></p> <p>開催日：2023年（令和5年）5月14日</p> <p>内容：障害福祉サービスに関する相談、情報交換、談話の場</p> <p>参加者：0名</p>

5. 介護予防事業部

部長 林 尊弘

1) 介護予防事業部の紹介

介護予防事業部は、2021年度より予防事業推進部から名称を変更し、介護予防に関する事業を主に行っています。介護予防分野では、「介護予防・日常生活支援総合事業」をはじめ、近年では「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」といった制度が開始され、理学療法士の活躍の場が広がっています。当事業部では、より多くの会員が地域での活動に参画できるよう、愛知県庁からの委託事業を始め、さまざまな事業を行っています。

2) 活動状況

2021年度～2023年度の活動状況を表Ⅱ－５－１に示します。

まず、地域包括ケアシステムに関する推進リーダーについて、地域ケア会議推進リーダーおよび介護予防推進リーダー導入研修を、年1回ずつ実施しました。

次に、愛知県委託事業である介護予防指導者育成事業では、年度ごとに全体研修会を1回、地区研修会を5回（名古屋、尾張、知多、西三河、東三河の5地区で各1回）開催しました。全体研修会では、本事業を協働して行っている各団体（理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会、栄養士会、歯科衛生士会）の介護予防への取り組みを紹介するとともに、全国で

介護予防事業を先進的に行っている自治体の先生方をお呼びし、講演を行っていただきました。具体的に2021年度は、介護予防を先進的に進めている埼玉県介護予防事業や人材育成の事例を学びました。2022年度は、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に向けた背景や関連する課題を理解するために、医療や介護データ解析の実例を学びました。2023年度は、埼玉県における一体的実施事業に関連する活動について学びを深めました。

地区研修会では、リハビリテーション専門職の地域への関わり方に焦点をあて、地域課題ならびに社会資源の把握方法を学ぶため、グループワーク形式を中心に実施しました。また、上記の研修会に加え、愛知県栄養士会、愛知県言語聴覚士会、愛知県作業療法士会、愛知県歯科衛生士会が主催する研修会を開催しました。

最後に2018年度から継続しているから、岩倉市の委託事業であるシルバーリハビリ体操指導士養成事業を実施しました。年1回のシルバーリハビリ体操3級指導士養成講座を開催しました。

3) 今後の課題

愛知県委託事業に関する研修会では多くの会員の方に参加をしていただいておりますが、介護予防への携わる機会が少ない急性期および回復期の施設に所属する会員の方の参加が少ない現状があります。そのため、今後は初学者でも介護予防事業に興味を抱くよう講演プログラムを準備することで、病期に関係なくより多くの会員の皆様にご参加いただける事業運営に取り組んでまいります。

表Ⅱ－５－１ 介護予防事業部事業一覧（講師名 敬称略）

年度	事業	日時	場所	内容・テーマ	講師（敬称略）
2021 年度	地域包括ケアシステムに関する推進リーダー導入研修	11月28日	オンライン	地域ケア会議推進リーダー導入研修	星野 茂、都築 晃
		10月31日	JPタワー Nagoya Hall & Conference	介護予防推進リーダー導入研修	林 尊弘、小幡匡史
	介護予防指導者育成事業	12月11日	オンライン	全体研修会	岡持利亘、青木一樹、飛田英樹
		2月19日	オンライン	地区研修会 名古屋ブロック	介護予防事業部部員・他
		2月19日	オンライン	地区研修会 尾張ブロック	介護予防事業部部員・他
		2月26日	オンライン	地区研修会 知多ブロック	介護予防事業部部員・他
		2月26日	オンライン	地区研修会 西三河ブロック	介護予防事業部部員・他
		2月26日	オンライン	地区研修会 東三河ブロック	介護予防事業部部員・他
		1月9日	オンライン	愛知県作業療法士会事業	－
		1月23日	オンライン	愛知県言語聴覚士会事業	－
		1月29日	オンライン	愛知県栄養士会事業	－
		3月3日	オンライン	愛知県歯科衛生士会事業	－
	岩倉市シルバーリハビリ体操推進事業	11月4日～12月16日	岩倉市民プラザ	3級指導士養成講習会	初内真二、佐藤晃嘉・他
		2月2日	岩倉市民プラザ	第2回全国オンラインフェスティバル	初内真二、佐藤晃嘉
2022 年度	地域包括ケアシステムに関する推進リーダー導入研修	10月23日	ウイंकあいち	地域ケア会議推進リーダー導入研修	星野 茂、都築 晃
		11月13日	JPタワー Nagoya Hall & Conference	介護予防推進リーダー導入研修	林 尊弘、小幡匡史
	介護予防指導者育成事業	12月11日	TKPガーデンシティPREMIUM 名駅西口（ハイブリッド）	全体研修会	井手一茂、上野貴之、内海純子
		2月11日	オンライン	地区研修会 名古屋ブロック	介護予防事業部部員・他
		2月11日	オンライン	地区研修会 尾張ブロック	介護予防事業部部員・他
		3月5日	オンライン	地区研修会 知多ブロック	介護予防事業部部員・他
		3月5日	オンライン	地区研修会 西三河ブロック	介護予防事業部部員・他
		3月5日	オンライン	地区研修会 東三河ブロック	介護予防事業部部員・他
		1月22日	オンライン	愛知県作業療法士会事業	－
		1月21日	IMYホール	愛知県作業療法士会事業	－
		2月4日	オンライン	愛知県栄養士会事業	－
		2月16日	オンライン	愛知県歯科衛生士会事業	－
	岩倉市シルバーリハビリ体操推進事業	5月13日	岩倉市保健センター	指導士活動支援事業（総会）	初内真二
		8月31日～10月21日	岩倉市民プラザ	3級指導士養成講習会	初内真二、佐藤晃嘉・他
2023 年度	地域包括ケアシステムに関する推進リーダー導入研修	10月8日	ウイंक愛知	地域ケア会議推進リーダー導入研修	星野 茂、都築 晃
		11月12日	TKP 名鉄名古屋駅カンファレンスセンター	介護予防推進リーダー導入研修	池野倫弘、後藤文彦
	介護予防指導者育成事業	12月10日	TKP名古屋駅前カンファレンスセンター（ハイブリッド）	全体研修会	岡持利亘、各士会担当者・他
		2月25日	TKP名鉄名古屋駅カンファレンスセンター	地区研修会 名古屋ブロック	介護予防事業部部員・他
		2月25日	TKP名鉄名古屋駅カンファレンスセンター	地区研修会 尾張ブロック	介護予防事業部部員・他
		2月25日	TKP名鉄名古屋駅カンファレンスセンター	地区研修会 知多ブロック	介護予防事業部部員・他
		2月11日	愛知県理学療法士会事務局	地区研修会 西三河ブロック	介護予防事業部部員・他
		2月11日	豊橋市民センター（カリオンビル）	地区研修会 東三河ブロック	介護予防事業部部員・他
		1月21日	オンライン	愛知県作業療法士会事業	－
		1月28日	IMYホール	愛知県言語聴覚士会事業	－
		8月6日～12月16日	名古屋通信ビルホール	愛知県栄養士会事業	－
		9月10日	愛知県歯科医師会館内	愛知県歯科衛生士会事業	－
	岩倉市シルバーリハビリ体操推進事業	5月24日	岩倉市保健センター	指導士活動支援事業（総会）	初内真二
		8月29日～10月10日	岩倉市民プラザ	3級指導士養成講習会	初内真二、佐藤晃嘉・他

6. 産業保健事業部

部長 古田 博之

1) 産業保健事業部の概要（紹介）

当事業部は、2021年に創部し、理学療法およびリハビリテーションに係る労働安全衛生法、第14次労働災害防止計画等に関することを取り扱い、産業保健領域における理学療法の普及・啓発・職域の拡大を目的に活動しています。また、産業保健あるいは産業衛生概念における就労者（理学療法士含む）の職業に関連する健康増進と労働災害、職業病などの予防を目的とする実践的領域を補完する活動も目的としています。また、日本産業理学療法研究会とも連携しています。

2) 活動内容（2021～2023年度）

2021年～2023年までの活動状況は以下（表Ⅱ－6－1参照）の通りです。県内の産業保健（産業衛生）事業に関心がある企業・医療施設・介護施設に対して、特に、職業性腰痛予防、労働災害予防等に関する理学療法の知識と技術の普及と啓発に努めています。

3) 今後の課題（展望）

産業保健分野で、労働安全衛生法に基づいた構成員（産業医/歯科医師/看護職/衛生管理者/作業環境測定士/作業主任者/社会保険労務士/労働衛生コンサルタント/心理職など）と活動を進めていく為には、知識と技術、そして医事法の整理も必要である。また、産業保健分野で活動する理学療法士の人材育成（知識・技術の向上）、介入成果（エビデンス構築）、認知度向上等も進めていく必要があります。

表Ⅱ－6－1

年度	事業	日時	内容・テーマ	講師（敬称略）
2021年度	啓発活動	2021年 10月	健康経営 [®] フォーラム2021 産業理学療法について	古田博之
	啓発活動	2022年 2月	中日健康デー 腰痛を考える	古田博之
	YouTube動画投稿 勤労者向け	2022年 3月	職場における腰痛予防対策	古田博之
	YouTube動画投稿 勤労者向け	2022年 3月	看護・介護時の腰痛を予防しよう！ ～移乗介助（理論編）～	榊原和真
	YouTube動画投稿 勤労者向け	2022年 3月	看護・介護時の腰痛を予防しよう！ ～移乗介助（実技編）～	榊原和真
	YouTube動画投稿 勤労者向け	2022年 3月	看護・介護時の腰痛を予防しよう！ ～移乗介助（応用編）～	榊原和真
2022年度	アンケート調査	2022年 9月	産業保健事業に関する認知度アンケート調査	森谷優也
	実態調査	2022年 9月	県内会員施設へ産業保健事業の実態調査	森谷優也
	啓発活動	2022年 11月	健康経営 [®] セミナー 産業保健領域における腰痛と産業理学療法について	古田博之
	腰痛予防出前講座 (JA愛知厚生連 足助病院)	2022年 12月	腰痛講座 e-ラーニングを使用した腰痛教育	榊原和真 太田 倫
2023年度	腰痛予防出前講座 (JA愛知厚生連 足助病院)	2023年 12月	腰痛講座 実地調査	榊原和真

1) 概要

学習局は、2021年度より本会の組織体制が再編で新設され、2020年度までは事務局の管轄であった「生涯学習局」と新たに設置された「卒前教育部」で構成しています。

生涯学習部では、会員を対象とした日本理学療法士協会の生涯教育制度を支援する役割を担い、指定の単位認定や新人オリエンテーション、症例検討会、または生涯学習制度に対する説明会などを開催してきました。また、2022年度から生涯学習制度が大きく改定され、新制度の普及活動も行なっています。

また、卒前教育部は本会では2020年度まで設置されていた「臨床実習指導者講習会運営委員会」の後継として新設されました。卒前教育部は、臨床実習指導者講習会の情報提供とともに、卒前教育における様々な課題に対する調査や支援活動を目的として各養成校の代表者とともにワーキンググループを設置し、活動しています。

2) 今後の課題

現在、日本の18歳人口は年々減少を続けており、理学療法に関わらず教育業界全体に大きな打撃を与えることが予想されています。このような状況下で予測される理学療法士養成校の入学者数の減少や学生の質の低下は、卒前教育のみ留まらず、理学療法業界の発展にとっても大きな問題となります。今後も、理学療法士のキャリアデザインとして、卒前教育の支援と課題解決に向けた事業の強化と、卒後教育の生涯学習制度の普及に向けた事業を展開していく必要があると考えています。会員の皆様には、引き続きご理解とご協力を賜りますよう、宜しくお願い致します。

1. 生涯学習部

1) 生涯学習部の概要

日本理学療法士協会の生涯学習制度に沿った会員の支援事業を行なっています。主な活動は、①愛知県理学療法士会（以下、本会）が主催する研修会ならび愛知県理学会学術大会をはじめとする愛知県理学療法学会が主催する事業における単位認定、②本会の新人オリエンテーションや症例検討会の開催、③士会承認セミナーおよび症例検討会の承認作業、④生涯学習制度に関する説明会・相談会です。

2) 2021～2023年度（令和3～令和5年度）の活動内容

2021年度は、対面での研修はすべて中止となりましたが、旧生涯学習制度の最終年度であったため、新人教育プログラムのテーマA「必須初期研修」の講義と、テーマC「理学療法の臨床」の単位となる症例検討会（発表者25名）をオンラインで開催しました。

2022年度は、新しい生涯学習制度の理解と新制度を活用した生涯学習を促進するため、本会事務局の協力を得てオンラインでの説明会を開催しました（全8回）。また、士会承認セミナーおよび症例検討会について、本会としての指針を定め6月より運用を開始しました。年度内の承認件数は、セミナー251件、症例検討会366件でした。生涯学習部主催の症例検討会をオンラインで開催しました（発表者4名、聴講者61名）。

2023年度は、新制度における本会会員の履修状況を分析し、整理しました。士会承認件数は、セミナー396件、症例検討会280件でした。生涯学習部主催の症例検討会は、2022年度と同様にオンライン開催としました（発表者6名、聴講者71名）。

3) 今後の課題

2022年度の新制度移行に伴って登録理学療法士を取得した場合、2026年度末に更新が必要となります。ひとりでも多くの方が登録理学療法士を更新し、生涯学習を継続できるよう支援する体制の構築が課題です。また、現在の制度下では各所属施設で実施される新人研修や症例検討、勉強会が単位や更新ポイントに認定されますが、その活用は一部の施設に限られています。今後、生涯学習制度に関する広報活動も強化していきたいと考えています。

2. 卒前教育部

部長 近藤 達也

1) 概要

理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則の改訂に伴い、臨床実習指導者の講習会受講が義務化され、愛知県理学療法士会では県下の臨床実習が滞りなく実施されるよう、愛知県の全養成校の代表者とともに計画的な講習会運営を目的とした臨床実習指導者講習会運営委員会が発足されました。その後、県下の指導者も充足し、委員会もその役割を果たしましたが、委員会で構築された養成校との連携を継続させた教育活動を行うことを目的として2021年度の組織改変にて学習局内に卒前教育部として名称が変更し、発足しました。卒前教育部は、事業計画と運営を務める部員と県下の養成校の代表者で構成し、臨床実習指導者講習会運営とともに臨床実習をはじめとする卒前教育に関する研修、調査活動を行なっています。

2) 活動

(1)臨床実習指導者講習会運営支援WG

臨床実習指導者講習会の運営基準の策定と各養成校が実施した情報の共有を行なっています。

(2)卒前教育調査WG

卒前教育における課題の現状把握、課題解決を目的として、会員施設の臨床実習指導者、養成校を対象に調査を実施し、ホームページにて情報公開をしています。

「臨床実習前評価アンケート結果報告」本会ホームページ会員サイトに公開中。

(3)臨床実習前評価WG

卒前教育における課題として、臨床実習前評価にフォーカスし、卒前教育調査班の結果に基づき、愛知県における臨床実習前評価の基準策定に向けた活動を行なっています。2024年12月15日に第13回日本理学療法教育学会モーニングセミナーにて小川祐太副部長が本会の取り組みを紹介しました。

(4)臨床実習指導者育成WG

臨床実習指導者講習会の受講者を対象に継続的育成を目的として「臨床実習指導者のためのBrush up講座 ベーシックコースとアドバンスコース」を開催しています。

- ・臨床実習指導者のためのBrush up講座 ベーシックコース

2023年度：2023年2024年1月13日、2月11日・オンライン形式

2024年度：2024年9月1日、10月27日、12月21日・オンライン形式

講師：大塚圭（愛知県理学療法士会理事）、佐藤貴徳（卒前教育副部長）、平野明日香（藤田医科大学）

- ・臨床実習指導者のためのBrush up講座 アドバンスコース

2024年度：2025年2月9日・オンライン形式

講師：佐藤貴徳（卒前教育副部長）

(5)卒前教育支援WG

各養成校のアーリーエクスポージャー支援を目的として、様々な分野で活躍されている理学療法士を講師として招聘し、県下の理学療法養成校の学生を対象とした「アーリーエクスポージャー&交流会」を開催しています。

- ・2024年度Early Exposure & 交流会

日時・場所：2024年10月6日（日）・東別院会館

講師：安岡直哉（渡辺病院）、吉岡圭祐（井戸田整形外科名駅スポーツクリニック）、山田南欧美（愛知医療学院短期大学）、田中昌史（参議院議員）

3）今後の課題

養成校と連携を図りながら臨床実習指導者講習会の運営支援、臨床実習指導者の継続的な育成、臨床実習前評価の共用化に向けた活動を展開するとともに、卒前教育における様々な課題の解決を図る事業を企画、運営して参ります。

IV 社会局

局長 野々垣 聡

1) 概要

2021年度の部局再編成により、社会局は「社会事業部（旧：健康増進部）」、「スポーツ支援部」、「小児地域保健部（旧：小児福祉部）」、「広報部」の4部局でスタートしました。

各部の事業内容については、それぞれの報告をご参照ください。本報告では、社会局全体で取り組んだ主な事業について説明します。

2) 活動内容

(1) いきいき生活フェスタ

2023年度より、理学療法士の仕事を多くの県民に知っていただくことを目的に、スポーツを通じて健康増進への関心を高めるためのイベント「いきいき生活フェスタ」を開催しました。第1回イベントは名古屋国際会議場で開催され、愛知県士会員66名、出店企業11社が参加しました。第2回は、地球市民交流センター（モリコロパーク）に会場を移して開催予定です。

(2) 名古屋市立中学校体験型職業講話

2023年度より、名古屋市立中学校から職業体験型講話の依頼を受けるようになりました。この講話の目的は、「職業講話と仕事体験を通じて『仕事』や『働くこと』について考えるきっかけを提供すること」です。2023年度は2校からの依頼があり、それぞれの学校が掲げるテーマに応じて適切な部員を派遣しました。

3) 今後の課題

2024年8月に認定スクールトレーナー制度が始まります。当県士会でも、運動器の健康・日本協会と連携しながら、県内での具体的な活動内容を検討していきます。

また、2024年度より、愛知県看護協会が実施する「まちの保健室」事業に参加する予定です。今後は、地区支部ごとに開催できるよう計画を進めていきます。

さらに、社会局では予算が増加する見込みの事業が増えています。そのため、各事業の費用対効果を十分に検討しながら、効率的な運営を進めていきます。

1. 社会事業部

部長 舟橋 茂樹

1) 活動状況

2021年度より社会事業部は、社会局健康福祉部から部名を変更し、活動をしています。

COVID-19の影響もあり、多くの事業の中止を余儀なくされました。そのなかでも①介護予防健康増進キャンペーン ②ウェルフェア ③地域リハビリ推進事業 の 3つの事業を実施しました。

2021年度におきましては、中日新聞社主催の「リアルのススメ」に出展させて頂き、「みんなでパラスポーツのススメ」と題し、参加された方に対してパラスポーツと理学療法士について説明する機会とボッチャの体験をさせて頂きました。2022年度では、中日新聞社主催の「スポーツフェスティバル2022」に出展させて頂き、参加された方への健康相談を行いました。2023年度では、「いきいき生活フェスタ」にてブースを設け、参加された方へのサルコペニアチェックを行いました。

(1)介護予防健康増進キャンペーン (2022、2023)

来場された一般の方に向けてロコモティブシンドロームやサルコペニアのチェックや健康相談を行いました。多くの方が来場され、子供から高齢者と幅広い年齢の方との交流を図る機会を頂きました。

(2)ウェルフェア (2022、2023)

2021年度はCOVID-19の影響を受け中止となりました。2022年は場所を吹上ホールへと変更し、開催することとなりました。開催場所の変更に伴い、内容を一新し開催致しました。2023年度は「いきいき生活フェスタ」と同時開催となり、健康相談を中心とした事業行いました。

(3)地域リハビリ推進事業 (2021、2022)

2021年度は「リアルのススメ」、2022年度は「スポーツフェスティバル」共に中日新聞主催のイベントに参加し、多くの県民の皆さんと関わる機会を頂きました。

◆2021年度

◇中日新聞主催「リアルのススメ」「みんなでパラスポーツのススメ」

開催日：2021年12月19日（日）

場 所：TKPガーデンシティPREMIUM名駅西口

◆2022年度

◇中日新聞主催「スポーツフェスティバル2022」

開催日：2022年4月30日（土）から5月3日（火）※4月30日～5月1日出展

会 場：オアシス21

◇ウェルフェア

開催日：2022年5月26日（木）から5月28日（土）

会 場：吹上ホール

◇介護予防健康増進キャンペーン

開催日：2022年9月24日（土）

会 場：テラスウォーク一宮



◆2023年度

◇ウェルフェア

開催日：2023年5月25日（木）から5月27日（土）

会 場：吹上ホール

◇介護予防健康増進キャンペーン

開催日：2023年12月10日（日）

会 場：テラスウォーク一宮



2) 今後の課題

公益事業を通して理学療法士が県民の皆様のお役に立てるよう尽力させて頂きました。時代の変化に合わせて、部の名称も変更となり、世間からのニーズに合わせた事業を今後も考案、実施していきたいと考えております。

高齢化そして障がいを持っても常に前向きに取り組めるような公益事業（障がい者スポーツ・ウェルフェア・介護予防推進事業等）を通して、理学療法士が県民の皆さんにとってよ

り身近な存在となれるよう、知識・技術・人間性を研鑽し、より多くの場面で活躍できる存在となれるよう尽力して参ります。

また、当部における事業におきましては、士会員の皆様のお力をお借りしなければ達成できない事業が多くあるため、他施設の理学療法士と関わる機会や、他団体と共同するなど様々な場面で活躍する機会を得ることができます。今後におきましてもこれまで以上のお力添えを頂けますようお願い申し上げます。

2. スポーツ支援部

部長 石田 智大

1) 活動内容

スポーツ支援部はスポーツに関わる方の支援を行うことを目的として、2019年度より活動を開始しました。競技のサポート、傷害予防、サポート人材の育成に関わる下記の事業活動を行っています。社会局事業を通して、今後も生涯スポーツから競技スポーツまで幅広いスポーツの分野に対して有益な事業活動を実施していきます。

2) 実施事業

(1)愛知県高等学校野球連盟サポート事業

2010（平成22）年度愛知県高等学校野球連盟（高野連）春季大会から、試合当日のメディカルサポートを実施しています。

(2)傷害予防教室

各地域のスポーツ選手、指導者、保護者等を対象に、スポーツ傷害予防教室を実施しています。各地域のスポーツ事情によってテーマを決め、傷害予防について、座学だけでなく実技も取り入れた内容を展開しています。

(3)競技大会サポート

フェンシング大会サポート

中日本フェンシング選手権大会を中心に、大会での救護サポートを実施しています。

ボッチャ大会サポート

一般社団法人日本ボッチャ協会からの依頼を受け、第24回日本ボッチャ選手権大会よりサポートを実施しています。

(4)東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会サポート

大会サポートスタッフに対して、事前実技研修会を実施しました。

(5)パラスポーツサポート

2022年度より日本パラスポーツ協会公認の中級パラスポーツ指導者養成講習会を開催し、パラスポーツに関わる人材の育成を行っています。

2021年度

①愛知県高等学校野球連盟サポート事業

日時	春季大会	2021年5月1日（土）、2日（日）
	招待試合	2021年6月12日（土）、13日（日）
	夏季大会	2021年7月27日（火）、29日（木）、31日（土）
	秋季大会	2021年10月3日（日）、9日（土）
	秋季東海大会	2021年10月30日（土）、31日（日）、 11月3日（水）、6日（土）、7日（日）

内容 高校生選手のコンディショニング

②傷害予防教室

- ・知多 愛知県立半田東高等学校

日時 2021年7月15日（木）

内容 ケガの予防とカラダ作り、ストレッチ講義と実技

- ・東三河 愛知県立国府高等学校

日時 2021年6月1日（火）

内容 けが予防講習会

愛知県立新城有教館高等学校

日時 2021年10月15日（金）

内容 スポーツ傷害予防 ウォーミングアップとストレッチ
豊橋創造大学公開講座

日時 2021年11月28日（日）

内容 スポーツ傷害予防

③東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会サポート

日時 2020年3月7日（日）

2021年6月27日（日）

内容 実技講習会

2022年度

①愛知県高等学校野球連盟サポート事業

日時	春季大会	2022年5月1日（日）、3日（火）、4日（水）
	春季東海大会	2022年5月21日（土）、22日（日）、24日（火）
	招待試合	2022年6月4日（土）、5日（日）
	夏季大会	2022年7月26日（火）、28日（木）、30日（土）
	秋季大会	2022年10月1日（土）、2日（日）

内容 高校生選手のコンディショニング

②障害予防教室

- ・知多 愛知県立半田東高等学校

日時 2022年7月14日（木）

内容 ケガの予防とカラダ作り、ストレッチ講義と実技

- ・東三河 愛知県立新城有教館高等学校

日時 2022年10月14日（金）

内容 セルフコンディショニング

豊橋創造大学公開講座

日時 2022年11月27日（日）

内容 ケガの予防

③競技大会サポート

フェンシング大会サポート

第61回中日本フェンシング選手権大会

日時 2022年6月11日（土）、12日（日）、26日（日）

内容 救護サポート

ボッチャ大会サポート

第24回日本ボッチャ選手権大会

日時 2023年1月21日（土）、22日（日）

内容 選手のコンディショニングサポート

④中級パラスポーツ指導者養成講習会

日時 2023年1月15日（日）、28日（土）、29日（日）、2月18日（土）、19日（日）

内容 日本パラスポーツ協会のカリキュラムを実施

2023年度

①愛知県高等学校野球連盟サポート事業

日時 春季大会 2023年5月4日（木）、6日（土）

招待試合 2023年6月3日（土）、4日（日）

夏季大会 2023年7月25日（火）、27日（木）、29日（土）

秋季大会 2023年9月30日（土）、10月1日（日）

交流試合 2023年11月11日（土）、18日（土）、25日（土）

内容 高校生選手のコンディショニング

②障害予防教室

- ・知多 愛知県立半田東高等学校

日時 2023年6月29日（木）

内容 スポーツ傷害予防

・東三河 愛知県立国府高等学校

日時 2023年6月6日（火）

内容 けがの種類と対策

愛知県立新城有教館高等学校

日時 2023年10月13日（金）

内容 ストレッチ講習会

豊橋創造大学公開講座

日時 2023年11月25日（土）

内容 腰痛予防トレーニング、スポーツと腰痛

③競技大会サポート

フェンシング大会サポート

第62回中日本フェンシング選手権大会

日時 2023年6月10日（土）、11日（日）、7月1日（土）

内容 救護サポート

高円宮杯フェンシングワールドカップ大会

日時 2023年12月8日（金）、9日（土）、10日（日）

内容 救護サポート

④中級パラスポーツ指導者養成講習会

日時 2023年7月30日（日）、8月5日（土）、12日（土）、13日（日）

内容 日本パラスポーツ協会のカリキュラムを実施

3. 小児地域保健部

部長 深谷 佳希

1) 小児地域保健部の紹介

小児地域保健部は、主に障がいのある子どもたちの地域生活を支援することを目的に活動しています。

2) 活動状況

(1)こどもの福祉機器展 ～チャレンジドフェア～

本事業は、障がい児・者やそのご家族のための福祉機器（車椅子・姿勢保持具・歩行器・コミュニケーション機器・食品・食器・衣服・寝具・介護用リフト・スロープなど）の展示会です。例年、あいち健康プラザ（東浦町）を会場とし、30社ほどの企業の協力を得て、土・日の2日間の開催で延べ1000～1500人が来場します。県士会員スタッフが付き添って会場をまわり、機器選定のアドバイスをする取り組みも行っています。

2007年に愛知県理学療法士会の主催でスタートした本事業は、2017年度から愛知県作業

療法士会、愛知県言語聴覚士会との3士会共同事業となりました。

2019～2021年度はCOVID-19の感染拡大を受け、開催を中断しましたが、2021年度には一部の福祉機器の紹介動画を作成し、チャレンジドフェアHP (<http://challengedfair.com/index.html>) で配信しています。2022年度には感染対策をして現地開催を再開しました。2023年度には来場者が1000名を超え、以前の活気を取り戻しています。

(2)小児領域の地域リハビリテーション公開講座

障がい児・者の特性を理解し、支援方法を学ぶことを目的に、年2～3回の講座を開催しています。参加者は理学療法士や看護師などの医療職種、教師、保育士、福祉職と多職種にわたります。2020～2021年度は、COVID-19の感染拡大を受けてオンライン配信で開催し、2022年度からは会場参加（対面）とオンラインのハイブリッド方式で開催しました。県内外から毎回100人ほどのオンライン参加がある一方で、ハイブリッド開催となってからの会場参加者は10～20名程度にとどまり、COVID-19が拡大する以前の70～80人程度には及ばない状況です。

(3)学校保健事業

理学療法士が地域の学校・保育園などでお子さんの運動発達や発育のサポートできるよう、学校・保育園との関係性構築の機会や理学療法士の研修を企画しています。2022年度、乳幼児期の理学療法に関するリーフレットを作成し、2023年度には名古屋市子ども青少年局保育運営課を通じて、名古屋市内の保育園長会にて配布しました。

3) 今後の課題など

(1)こどもの福祉機器展 ～チャレンジドフェア～

出展を希望する企業の増加と会場の混雑を考慮して、2025年度以降に会場を変更予定です。会場面積の拡大だけでなく、より広い地域からのアクセスの向上も見込んでいます。福祉車両などの展示も検討しています。

(2)小児領域の地域リハビリテーション公開講座

小児リハビリテーションに関わる医療機関や訪問看護事業所、福祉事業所が増加している中、小児に対する理学療法士や療育関係者の質を担保する必要性があると思われます。現場のニーズに沿った研修・講座の企画を目指します。

(3)学校保健事業

理学療法士が地域の学校で児童生徒に対して保健指導的な役割を果たし、運動器の疾患・障害に関する予防教育を行い、心身の健全な成長と発達を支援することを目的として、公益財団法人「運動器の健康・日本協会」がスクールトレーナー制度®を構築中です。一方で、理学療法士が以前から関わっている障がい児療育に関しては、依然として医療と教育の連携が十分になされているとは言い難い状況です。

いずれに関しても、学校における課題やニーズに対して、理学療法士が的確な知識・技能を提供できるように研鑽を積む必要があると思われます。

(4)その他

愛知県理学療法士会ホームページに掲載されてい“こどものリハビリ施設ガイド”の情報更新を計画しています。

表Ⅳ－３－１ 小児地域保健部が主催した研修会（2021～2023年度）

【小児領域の地域リハビリテーション公開講座】

年度	開催日	講演名・講師（敬称略）	開催形式
2021年度 (令和3年度)	2022年 2月6日	講演『障がいとスポーツのある生活 ～競技スポーツからレクリエーションまで～』 講師：藤田 紀昭（日本福祉大学 スポーツ科学部 学部長） 北村麻衣子（愛知県青い鳥医療療育センター 理学療法士）	オンライン
	2022年 2月27日	講演『訪問リハと外来通所リハそれぞれの意義・適応と現場の対応力 ～重度身体がいのお子さんへの対応は？ 発達性協調運動障害のお子さんへの対応は？～』 講師：安井 隆光（株式会社Loving Look 代表取締役／ こども訪問看護ステーションじんおかざき 理学療法士） 伊藤 亜木（名古屋市西部地域療育センター 理学療法士）	オンライン
2022年度 (令和4年度)	2023年 1月29日	講演『姿勢と運動の成り立ち ～運動機能獲得の支援について再考する～』 講師：江藤 隆夫（九州小児療育相談所「楽塾」代表／理学療法士）	ハイブリッド (対面＋ オンライン)
	2023年 2月19日	シンポジウムテーマ『子どもの発達・将来像とそのサポート ～保育士、教員、PTそれぞれの視点で～』 講演①「生活に溶け込む子育て支援 ～子どもの方から見ると～」 シンポジスト：丹羽 陽一（NPO法人ひろがり 代表理事／元 県立特別支援学校教員） 講演②「重い障がいのある子どもたちへの支援について ～豊田市こども発達センターたんぼの役割～」 シンポジスト：吉川 幸（豊田市こども発達センターたんぼ 施設長／保育士） 講演③「理学療法士が障がい児・者と関わる場所と期間、そして関わりの中身」 シンポジスト：深谷 佳希（あそびと発達リハビリクリニック 理学療法士）	ハイブリッド (対面＋ オンライン)
2023年度 (令和5年度)	2023年 11月5日	講演『障がいや疾患のあるお子さんとその両親や兄弟・姉妹への支援 ～家族の体験や思いに寄り添う～』 講師：林 由紀（大府あおぞら有床クリニック 看護師）	ハイブリッド (対面＋ オンライン)
	2024年 1月21日	講演会テーマ『NICUからの地域移行 ～地域の病院や訪問ステーション、児童発達支援事業との連携の模索～』 講演①「NICUを卒業したお子さんの発達特徴」 講師：神谷 猛（豊橋市民病院 理学療法士） 講演②「NICUでの父母へのかかわり（心理士の視点から）」 講師：鳥居まさ美／喜多 苑美（豊橋市民病院 公認心理師）	ハイブリッド (対面＋ オンライン)
	2024年 2月18日	講演『脳性麻痺児への整形外科手術後の理学療法と地域復帰への取り組み ～三河青い鳥医療療育センターでの取り組みを中心に～』 講師：高橋 秀平（愛知県三河青い鳥医療療育センター 理学療法士）	ハイブリッド (対面＋ オンライン)

【学校保健事業】

年度	開催日	講演名・講師（敬称略）	開催形式
2021年度 (令和3年度)	2021年 10月15日	講演『学校スポーツトレーナーの今までとこれから ～学校スポーツトレーナーとして6年前から始まった豊橋でのチャレンジ～』 講師：神谷 秀明 (株式会社Performance Reha 理学療法士／アスレチックトレーナー／鍼灸師)	オンライン



4. 広報部

部長 後藤 亮吉

広報部では、理学療法（士）の啓蒙・啓発を目的に、以下のような事業を実施しています。

1) デジタルコンテンツを活用した情報発信

愛知県理学療法士会が主催するイベントや研修会等の案内や活動報告をホームページで行っています。また、会員に向けた情報配信サービス（メール通信）を行っています。さらに、養成校の学生向けにLineを用いた情報配信サービスを2022年度より開始しました。

2) 愛知県理学療法士会ニュースの発行

士会ニュースは年間4回発行しています。3年間で計12刊（2022年5月1日発行201号～2024年2月1日発行212号）を発行しました。士会ニュースは会員施設分の発行にとどめ、デジタル化したものを士会ホームページで閲覧していただけるよう、ホームページ内の掲載場所を変更しました。そして、今後はデジタルのみの発行にしていきます。士会ニュースの主な内容は、代表理事のコラム、特集記事（部局紹介や委員会の紹介など）、地域で活躍している理学療法士や新人の理学療法士の紹介をしています。愛知県理学療法士会とその活動を多くの皆様に関心を持っていただけるよう工夫しています。

3) いきいき生活フェスタ

2023年5月27日（土）～28日（日）の2日間、名古屋国際会議場にて「いきいき生活フェスタ2023」を開催しました。広報部は理学療法紹介パネルを設け、県民のみなさんに理学療法士をPRしました。2日間で約700名の来場者があり、医療や介護、理学療法士の養成や派遣にいたる様々なご相談やご質問を頂きました。

4) 広報誌の発行（ぴたっ！とあいち）

ぴたっ！とあいちは年間で1回の発行となっています。配布先は愛知県内の高等学校、市町村、保健所、保健センター、社会福祉協議会へ配布しています。広報誌はデジタル化し、士会のホームページにも掲載しています。理学療法士を目指したいと思っている方々に興味を持っていただけるよう、病院や施設、訪問などで働く理学療法士はもちろん、オリンピックなどの国際的なスポーツの場面で活躍している理学療法士のインタビューを掲載しています。

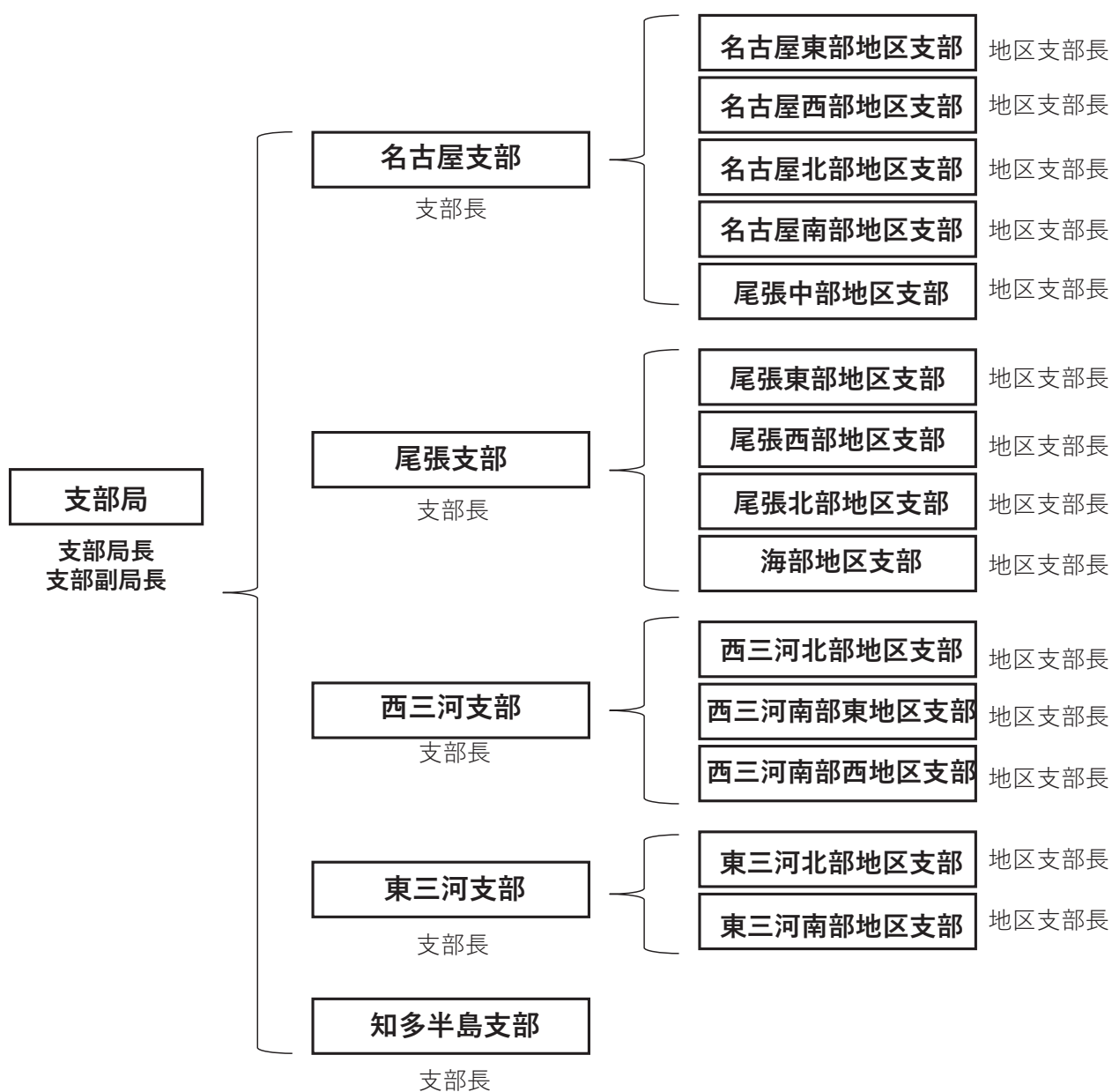
上記の他に、広報部では高校生を対象にした進路相談会の開催や社会局行事の取材など幅広く活動しています。

1) 支部局 目的

- ・ 支部および地区支部内生涯学習支援
- ・ 支部および地区支部内会員の交流・ネットワーク形成支援
- ・ 支部および地区支部内会員と他団体との交流支援

2) 組織

医療圏域ごとに支部長をおき分類し、地区支部を14おき組織しています。



3) 支部局 主な業務内容

- ・支部局の方針決定
事業計画立案および予算編成
- ・支部長会議の開催
情報伝達や情報収集を行い、各支部の支援を行う
- ・有事への対応
緊急時に支部長を介し、情報伝達や情報収集を行う

4) 現状と課題

2021年6月より組織編成を行い、医療圏ごとに支部をおき二次医療圏ごとに地区支部を設置しブロック局から支部局となりました。

しかし、組織再編と同年にCOVID-19感染拡大に伴い、対面での活動が軒並み中止となりオンラインでの活動が主となりました。

その結果、ミクロ視点での活動が減少しオンラインを使用したマクロの活動が増加し、支部および地区支部内での交流が停滞した時期でもありました。

今後はオンラインのメリットを享受しつつ、地区支部内で自身の地区の理学療法士と関係資本の構築を行い、皆さまが力を発揮しやすい環境を整えたり、自地区の課題を地区で考え市区町村単位での活動が活発になるような体制構築を推し進めていきたいと考えています。

また、我々が必要とされたときに地域の窓口として地区支部が機能出来るよう、整備を進めてまいります。

1. 名古屋支部

支部長 上原 徹

1) 概要

名古屋東部地区

名古屋東部地区支部 地区支部長 尾田 篤彦

地区支部委員 4名

構成市区町村：千種区、昭和区、天白区、瑞穂区、名東区

名古屋西部地区

名古屋西部地区支部 地区支部長 中橋 亮平

地区支部委員 3名

構成市区町村：中村区、熱田区、中川区、港区

名古屋南部地区

名古屋南部地区支部 地区支部長 加藤 正樹

地区支部委員 6 名

構成市区町村：南区、緑区

名古屋北部地区

名古屋北部地区支部 地区支部長 上原 徹

地区支部委員 3 名

構成市区町村：東区、北区、西区、中区、守山区

尾張中部地区

尾張中部地区支部 地区支部長 上原 徹

地区支部委員 2 名

構成市区町村：清須市、北名古屋市、豊山町

2) 活動内容（表V-1-1）

COVID-19の感染・蔓延防止による移動制限や研修会の集合研修が禁止されたため、地区支部単位での事業実施が困難となりましたが、Zoom等を用いたオンラインでの活動を活用することで、地域で働く理学療法士のスキルアップに貢献できるよう、地区支部委員間で密に連携し、名古屋支部全体で研修会および症例検討会を複数回開催する方針としました。研修会では、専門家による講演の機会を設けることで、更なるスキルアップが期待できると考え、日常臨床業務に加え、臨床研究に多く携わっている若手から中堅の理学療法士を講師に迎えました。また、新生涯学習システムの導入により、症例検討会での発表や参加が義務付けられ、名古屋支部研修会の開催にあわせて症例検討会を開催しました。名古屋支部内では、担当症例について上司や先輩に十分かつ適切な指導を受けられない、いわゆる「ひとりPT」の施設も数多く存在します。症例検討会の開催は、名古屋支部内の専門的知識をもった経験ある理学療法士から、症例を通して指導が受けることができ、また、多岐にわたる領域の症例について考える機会となり、名古屋支部内の若手PTのスキルアップに貢献できたと考えています。

3) 今後の課題

オンラインを使用した研修の開催が増え、研修会への参加の敷居が下がった一方で、対面による研修で参加者同士の交流が少なくなり信頼関係やネットワーク作りが難しくなりました。

COVID-19の収束に伴い、対面での研修会を開催することができるようになってきたため、今後は地域のつながりを再構築し、顔の見える交流を増やしていくことが必要となります。

オンラインとオフラインのハイブリッド形式で研修やミーティングを実施したり、地区支部単位での小規模な対面研修を企画し、参加の敷居を下げながらも、顔を合わせる機会を確保した取り組みが必要であると考えています。

表V-1-1 名古屋支部活動実績

年度	日時	会場	事業	内容	講師	参加人数
2021年度	3月6日	オンライン	研修会	『脳卒中患者の歩行練習とロボットリハビリテーション』	牧 芳昭 (鶴飼リハビリテーション病院)	301名
			症例検討会	症例検討演題5題		
2022年度	11月20日	オンライン	研修会	『明日から実践できる！腰椎疾患の評価・治療・脊椎骨盤アライメントの概要と臨床から派生した新しい腰痛予防策の紹介』	山田 翔太 (名古屋市立大学医学部附属西部医療センター)	386名
			症例検討会	症例検討演題3題		
	3月26日	オンライン	研修会	『大腸癌患者における周術期リハビリテーション』	柳澤 卓也 (総合上飯田第一病院)	263名
			症例検討会	症例検討演題3題		
2023年度	11月19日	オンライン	研修会	『リハ職種のための疼痛のみかた』	藤原 光宏 (豊橋創造大学)	251名
			症例検討会	症例検討演題1題		
	3月23日	オンライン	研修会	『脳卒中患者の歩行再建と能力向上に向けた理学療法』	山田 将成 (鶴飼リハビリテーション病院)	262名
			症例検討会	症例検討演題3題		

2. 尾張支部

尾張支部 支部長 宮原 利博

尾張支部は、この3年はCOVID-19の影響、地区支部長の交代にて、なかなか活動ができないうこと多く、また、WEB開催が慣れないこともあって、なんとか2022年度には支部全体としての研修会を行うことができ、2023度はやっと地区支部ごとの研修会や地区の意見交換等が行えました。この3年間はいろいろと戸惑う事多く、十分に活動できなくて地域の会員の皆様には、申し訳なく思っていました。

尾張支部は地域的に広く、現在、海部、西部、中部、東部の4つの地区支部に分かれて活動しています。その各地区支部内でもなかなか交通の便が悪かったりもして、士会員間の交流が難しいのが現状です。活動にあたりいろいろ難しい面も多いのですが、今後も各地区の士会員の協力を仰ぎ各地区支部長、運営委員が協力し、士会各部局とも、地区の会員のための事業を行っていく所存です。

尾張東部地区

尾張東部地区支部 地区支部長 阿部 司

1) 概要

尾張東部地区は、瀬戸市・尾張旭市・長久手市・日進市・東郷町・豊明市で構成されています。

尾張東部地区支部の活動内容は、施設間ネットワークの維持・更新・追加や、研修会・症例検討会の企画・運営などを行っています。

2) 活動内容（表V-2-1）

COVID-19の影響から長く十分な活動が出来ておりませんでした、2023年から対面での研修会を再開しました。

3) 今後の課題

尾張東部ブロックでは地域ケア会議や地域住民と関わるイベント等にも積極的に参加しています。また構成地区の範囲が広く、対面での会に参加しにくい会員もいることから、Web開催も柔軟に活用し会員のニーズを踏まえつつ地域や行政等の要望に合わせた活動を行うことが課題であると考えています。

表V-2-1

年度	日時	会場	事業	内容	講師
2023年度	9月16日	愛知医科大学病院	研修会	講演 「職場の心理的安全性を高め、本音が出せるチームになる話し合いをしてみませんか」	深見 太一 (オンラインフリースクール エンパワー・ハブ主宰)
	10月7日	豊明市共生プラザ カラット			

尾張西部地区

尾張西部地区支部 地区支部長 小塚 康之

1) 概要

尾張西部地区支部は、一宮市、稲沢市の2市で構成されています。

施設数ならびに会員数は69施設496名となっております（2024年4月12日時点）。

2021年度～2023年度に関してはCOVID-19の影響により、活動自体を行うことができませんでした。2024年度からは地域でのコミュニティ強化を促進していきながら尾張西部地区支部の活動を行っていきたいと存じております。

2) 今後の課題

尾張西部地区支部の会員の交流・ネットワーク形成支援は COVID-19の影響で、連携強化の体制を進めることが十分にできなかったため、今後は会員が協力・連携できる体制を整えていくことが第一の課題です。加えて、研修会や症例検討会などで地区支部内での生涯学習支援を行ったり、他団体との交流支援を行ったりして、尾張西部医療圏の様々な活動の支援をしていきたいと考えております。今後も、支部長並びに運営委員一同、いっそう頑張っていく所存です。

1) 概要

尾張北部地区支部は犬山市、岩倉市、春日井市、江南市、小牧市、大口町、扶桑町の計5市2町の地域から構成されています。

当地区支部における施設数ならびに会員数は2024年4月現在で100施設602名となっており、地区支部運営委員は計10名で組織されています。

2) 活動内容

直近3年間における当地区支部での活動内容は下表の通りとなります。

2021年度および2022年度についてはCOVID-19の影響により積極的な活動には至りませんでしたが、2023年度より対面形式での症例検討会を中心に活動を行ってまいりました。

症例検討会では参加者をグループに振り分けた「グループワーク形式」にて実施することにより、お互いの立場や経験年数にとらわれず活発なディスカッションがなされ、発表者にとっても有益なフィードバックへと繋がりました。

3) 今後の課題

当地区支部に限ったことではありませんが、直近の活動内容でもお示したようにCOVID-19の影響により、特に若手療法士にとっては卒前・卒後の学習や発表機会がCOVID-19以前までと比較し損なわれている状況と思われます。

当地区支部では今後も対面形式での症例検討会を継続していくなかで「明日の臨床から活かせる知見の獲得」はもちろん「顔の見える関係作り」を通じて「各施設間における情報交換（情報収集）」へと繋がるネットワークの構築にも尽力してまいります。

表V-2-2

年度	日時	会場	事業	内容	参加人数
2021年度	—	—	—	—	—
2022年度	—	—	—	—	—
2023年度	11月5日	小牧勤労センター	症例検討会	症例検討演題9題	会 員：37名 非会員：4名
	3月24日	小牧勤労センター	症例検討会	症例検討演題9題	会 員：36名 非会員：2名

1) 概要

構成市区町村：津島市・愛西市・あま市・弥富市・大治町・蟹江町・飛島村（4市2町1村）。海部地区支部は、39施設、及び個人会員で構成されています。

2) 活動内容（表V-2-3）

(1)研修会・症例検討会

発表経験の少ない療法士の卒後教育目的及び施設間を超えた連携と地域に貢献するためのシステム作りを目的に実施しています。

(2)意見交換会

会員同士の繋がりを構築・継続する目的で実施しています。

3) 今後の課題

海部地区支部は、他のブロックと比べ小規模な地区となり、対面での研修会や症例検討会を以前は行っていましたが、COVID-19のためR3年度は活動ができませんでした。R4年度より徐々に活動を再開してまいりました。オンラインでの研修会や症例検討会が増えている中、小規模な地区という特徴を活かして、今までの関係性の継続とさらなる新しい絆や輪を大切にして、施設間を超えた連携と地域に貢献するためのシステム（チーム）作りを目的に活動を継続していきます。

表V-2-3

年度	月日	会場	事業	内容	講師（敬称略）	参加人数
R4年度	2022/5/20	WEB及び 海南病院講堂	意見交換会	支部局の役割について	都築 晃 宮原利博	会 員：25名 非会員：1名
R5年度	2023/11/26	海南病院会議室	症例検討会	演題 3台		会 員：17名
R5年度	2024/2/11	海南病院講堂	研修会・意見交換会	海部地区における理学療法 の地域との連携を考える	二井俊行 前川修希	会 員：11名

3. 知多半島支部

知多半島支部は大府市・知多市・東海市・常滑市・半田市・阿久比町・武豊町・東浦町・美浜町・南知多町にわたる5市5町により構成されており、現在70施設以上、会員数400名以上が在籍しております。

知多半島支部の活動内容としては、研修会、症例検討会をはじめ、各団体との関りを持ちながら、イベントへの参加を主な活動としております。現在10名の支部委員で行っています。しかしながら、2021年度～2023年度はCOVID-19の影響により、活動自体を行うことができません

んでした。2024年度からは地域の会員とのつながりを大切にしながら、知多半島支部の活動を行っていきたいと考えております。

1) 今後の活動について

(1)研修会

年に2回程度開催、愛知県内で活躍されている理学療法士を招聘し、知多半島支部会員の知識・技術の研鑽を図る。

(2)症例検討会

年2回開催、臨床の場で難渋した症例や経験した症例に対する疑問や問題点等の発表を通して、出席者の意見を聞き解決できる場として経験年数の浅い理学療法士も気軽に発表できるような形式で行っている。

(3)各団体とのイベント開催

看護協会との「まちの保健室」へ参加して、知多半島5市5町の市民、町民へ理学療法士としてアドバイスを行い、健康のお役に立てるよう尽力していきます。

(4)市・町リハビリネットワークとの関係強化

現在各市町村で行われている、リハビリネットワークと連携し、行政との関係性を構築しながら、理学療法士の活躍の場を増やしていきます。

2) 今後の課題

(1)今までは学術支援を目的に活動してきましたが、今後は学術支援と地域支援を中心に活動目的を変更していきます。そのための様々な課題を支部の会員みんなで協力しながら達成していきたいと思っています。

(2)公益事業への積極的な参加：地域のスポーツ傷害予防事業、介護予防事業等を通して理学療法士としての専門性を発揮し地域貢献すると同時に、理学療法士の認知度と高めていきたいと思ひます。

(3)症例発表での単位取得を奨励し、支部内で行われる症例検討会を通じて知識、技術の向上を進めていきたいと思ひます。

(4)当支部の会員数も年々増加しており、横のつながりが希薄化しているため、各事業を通して、顔の見える関係づくりを行っていききたいと思ひます。

4. 西三河支部

西三河支部 支部長 村田 元徳

1) 概要

西三河支部は、西三河北部地区支部 西三河南部東地区支部 西三河南部西地区支部で構成されている。

活動内容は、西三河支部研修会・症例検討会の企画運営を3地区支部合同で行っております。年度別の活動は下記の通りである。

他に地区支部内で活動しているネットワーク事業活動支援を行っている。

2) 活動内容

(1)研修会、症例検討会

(2)ネットワーク活動支援

3) 今後の課題

COVID-19が広がった2020年以降、西三河支部研修会・症例検討会はオンライン形式による開催となっている。オンライン形式は移動の必要がないため参加しやすい特徴がある。特に西三河支部は会員が広範囲に広がっているためその傾向がより強く、実際に西三河支部研修会はオンライン形式となってから、毎回100名を超える参加者となっている。一方で、オンライン形式は対面形式と比べ臨場感に乏しく、質疑応答が淡泊になってしまう傾向にある。さらに、会員間交流が難しく、機能分化が進む医療・介護業界では地域連携の重要性が指摘される中で、「顔の見える機会」が少なくなっていることへの懸念がある。

COVID-19の対策が進んだら、対面形式の研修会・症例検討会の開催も復活させたい。

表V-4-1

2021年度	11月14日	研修会 症例検討会	夜間肩痛に対する見方と理学療法 ～拘縮を中心に～	赤羽根良和 (さとう整形外科)
2022年度	3月19日	研修会 症例検討会	骨粗鬆症性圧迫骨折の病理理解と運動療法	赤羽根良和 (さとう整形外科)
2023年度	12月9日	研修会 症例検討会	認知症の社会背景と最新の知見について ～高齢者の自立支援を促す効果的な方法～	島田 裕之 (国立長寿研究センター)
2024年度	12月14日	研修会 症例検討会	スポーツ外傷・障害のリハビリテーション ～トヨタアスリートサポートセンターにおける 取り組み～	坂田 淳 (トヨタアスリートサポートセンター)

西三河北部地区

西三河北部地区支部 地区支部長 鬼頭 有子

1) 概要

地区支部長 1 名 地区支部委員 4 名

西三河北部地区支部は、2 市（豊田市・みよし市）内の施設と個人会員で構成されています。

活動内容は、西三河支部研修会・症例検討会の企画運営を他 2 つの地区支部委員と合同で行っております。他に地区支部内の豊田市療法士会、みよし市療法士会の活動支援を行っております。

2) 活動内容

- (1)研修会、症例検討会
- (2)ネットワーク活動支援

3) 今後の課題

地域医療構想によると、西三河北部医療圏は回復期における医療資源に乏しい現状にあります。今後高齢化がますます進む中、在宅医療・介護の充実と、介護予防への取り組みが必要になってきます。そのような中、行政が進める地域ケア会議、健康アドバイザー、介護予防体操（自主グループ支援）等に協力しています。

豊田加茂医師会では、「住民が幸せに暮らすことができる地域づくり」として、ウェルビーイングネットワーク研修会の取り組みを進めています。急性期から回復期、生活期に関わる多くの専門職が一堂に会し、地域内の課題解決に向け取り組んでおり、リハビリテーション専門職の団体として、多くの会員の方が参加できるようにしていきます。

他の団体と協力して、地域医療・介護事業に寄与できるように進めていきます。

西三河南部東地区

西三河南部東地区支部 地区支部長 井内 勲

1) 概要

地区支部長 1 名 地区支部委員 2 名

西三河南部東地区支部は、岡崎市、額田郡幸田町の 2 地区の施設と個人会員で構成されています。活動は西三河支部における研修会・症例検討会の企画運営を他 2 地区支部委員と合同で行うほか、県士会からの依頼を受け当地区における地域貢献事業の調整、参加等を行っております。

2) 活動内容

(1)研修会、症例検討会

(2)ダイハツ工業安全運転講座の講師調整 2022年、2023年

3) 今後の課題

西三河支部全体としての課題が支部長より示されています。当地区支部としても研修会、症例検討会の在り方を他の西三河地区支部の方々と再考していきます。

ご承知のように地区研修会等に限らずですがCOVID-19以降は様々な情報収集や連携、関係づくりにおいてオンライン形式や、SNSの活用を利便とする時代となる中、特に中堅や若手理学療法士においてもそれを重要なメリットとしている人が多くいます。支部や地区支部の活動では、そのような会員同士が連携をはかっていく際に「時代に沿った」方法を活かしながらも、「顔の見える」関係の良さをマッチングしていく事が非常にむずかしい課題であると考えます。その為にもいかにして多くの声を集積する事ができるかは重要であり、支部長や地区支部長、役員の働きかけのみならず、地域に既存するリハビリテーションをはじめとする様々なネットワークや団体とも協力しながら支部活動する必要があります。これらを鑑みて活動方針を検討する事も課題となります。

比較的、地区支部や支部単位での活動は小規模でいろいろな導入としては容易と考えられるかもしれませんが、しかしながら、この単位で方針を踏み外す事があれば組織全体の脆弱化を招く可能性も懸念されます。従いまして、地区支部としても会員にとって魅力的な活動を模索し続ける必要があります。

西三河南部西地区

西三河南部西地区支部 地区支部長 野原 聡

1) 概要

地区支部長 1 名 地区支部委員 6 名

西三河南部地区支部は、6市（安城市・刈谷市・高浜市・知立市・西尾市・碧南市）の施設、及び個人会員で構成されています。

活動内容は、研修会および症例検討会の西三河支部合同での企画・運営、講師依頼時の調整を行っています。

2) 活動内容

(1)研修会、症例検討会

(2)ダイハツ工業安全運転講座の講師調整

3) 今後の課題

多くの市においてリハビリテーション専門職ネットワーク（以下リハネットワーク）が構築され、行政や各団体からの依頼や総合事業・介護予防事業の実績が蓄積されつつあります。今後、少子高齢化、生産年齢人口減少が加速していく中、地域医療構想・地域包括ケアシステムの構築・継続に対応すべく、各市の実情に見合ったりハ専門職の活動について模索していくことが求められると考えます。

地区支部としては、各市におけるリハネットワーク活動についての情報交換や、顔の見える形での症例報告会等の機会を設け、会員皆さまの地域での活動の発展を支援できるよう、取り組みを進めていきたいと考えています。

5. 東三河支部

東三河支部 支部長 内藤 貞子

1) 概要

東三河支部は北部地区支部（新城市、設楽町、東栄町、豊根村）、南部地区支部（豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市）で構成されています。以前から各市町村や地区ごとの研修会や広域医療圏での研究会が開催されてきました。この既存の連携や地域との繋がりを活かした活動をしています。

2) 活動内容（表V-5-1）

以下の4事業を中心として活動しています。

(1) 症例検討会

発表経験の少ない療法士の卒後教育目的で実施しています。年1回は他職種（OT・ST）との合同開催にて行います。

(2) 研修会

会員の知識・技術の研鑽、講師の発掘を目的に実施しています。講師はできるだけ東三河圏域の会員に依頼しています。

(3) 交流会

会員同士の繋がりを構築・継続する目的で実施しています。所属長懇談会のように単独で開催するほか、症例検討会・研修会時等にも会員同士交流がもてるよう企画しています。

(4) 地域住民向け健康講座への講師派遣

地域住民への知識・技術の還元はもちろん、講師経験を積みたい会員に対し、講師の機会提供、講座内容のサポートを目的として実施しています。

3) 今後の課題

感染症の流行を境にオンラインでの活動が増え、対面ならではの繋がりが希薄になったと感じています。当支部が重視してきた「顔の見える関係づくり」に立ち返り、オンライン・

対面の各利点を活かした事業を企画すること、事業に参加するメリットを伝えること等を通じ、会員がより良い療法士活動を実施できるようにしていきたいと考えます。

表V-5-1

年度	月日	会場	事業	内容	講師（敬称略）	参加人数
2021年度 (R3年度)	10月15日	オンライン (Live配信・オンデマンド配信)	研修会	学校スポーツトレーナー活動の紹介 ※小児地域保健部との合同研修会	神谷秀明先生 (株式会社 Performance Reha)	■Live配信 会員63名 ■オンデマンド配信 会員45名 会員外：5名
	1月29日	オンライン	症例検討会	演題数：9題		会 員：37名 会員外：10名
	1月29日	オンライン	交流会	東三河支部のリハビリテーション専門職 の交流・情報交換		会 員：24名 会員外：1名
2022年度 (R4年度)	9月13日	まちなか 図書館 (豊橋市)	講師派遣	知らなきゃ損！運動の効果	内藤善規先生 (豊橋市民病院)	一般市民：14名
	12月2日	オンライン	研修会	今さら聞けない！新生涯学習制度～活用 しよう！自分が選ぶ教育システム～	松田文浩先生 (藤田医科大学)	会 員：74名 会員外：0名
	12月2日	オンライン	交流会	東三河支部のリハビリテーション専門職 の交流・情報交換①		会 員：15名 会員外：0名
	12月13日	まちなか 図書館 (豊橋市)	講師派遣	人生を豊かにする睡眠の技術	提髪賢充先生 (きよし整形外科)	一般市民：12名
	1月21日	オンライン	症例検討会	演題数：12題		会 員：45名 会員外：20名
	1月21日	オンライン	交流会	東三河支部のリハビリテーション専門職 の交流・情報交換②		会 員：24名 会員外：4名
2023年度 (R5年度)	7月4日	オンライン	交流会	所属長懇談会「所属長のネットワーク作 りませんか？」		会 員：13名 会員外：4名
	8月4日	オンライン	交流会	ババママPT懇談会「どんな工夫をしてい ますか？仕事・家庭・自分のバランス」		会 員：9名
	8月30日	オンライン	交流会	3年目PT懇談会「集まれ！PT3年目～ 東三河地域の同期と繋がろう！～」		会 員：1名
	9月12日	まちなか 図書館 (豊橋市)	講師派遣	「自律神経とは？自律神経を整えるための 運動、生活習慣等について」	本塚貴裕先生 (はしら整形リハビ リクリニック)	一般市民：19名
	10月19日	オンライン	交流会	サブリーダーPT懇談会「どうする？こ うする？中間管理職の悩み」		会 員：11名
	11月15日	オンライン	研修会	「忙しくても大丈夫！気軽にできる臨床研 究の方法」	森嶋直人先生 (豊橋市民病院)	会 員：85名
	12月12日	まちなか 図書館 (豊橋市)	講師派遣	「良い姿勢とはどのような姿勢か？どのよ うにすれば良い姿勢になるかについて」	成瀬亮祐先生 (とも整形外科リハ ビリクリニック)	一般市民：12名
	1月25日	オンライン	交流会	30後半PT懇談会 「そろそろ中堅卒業です！」		会 員：4名
	2月10日	オンライン	症例検討会	演題数：8演題 ※ポイント認定あり5演題		会 員：98名 会員外：10名

1) 概要紹介

2015年度愛知県医療介護総合確保基金補助事業として開始しました。愛知県作業療法士会及び愛知県言語聴覚士会の協力を得ながら、愛知県内のリハビリテーション施設情報の取りまとめを行うとともに、専用のホームページを立ち上げ県民に向けた情報発信を行うとともに、リハビリテーション専門職や行政機関向けの情報も併せて発信しています。愛知県内各市区町村にリハビリテーション専門職のネットワークの整備も行い、各地域のリハビリテーションに関わる情報の集約も行なっています。

愛知県内リハビリテーション専門職の活用を目的に、様々な勤務形態による求人情報の公開を行い在宅医療・介護予防などの人材確保に関わる情報発信も行っています。

また、情報発信のみならず、専門職からの就労相談、研修情報、行政機関などからの専門職の活用方法などの相談も行っています。

2) 活動内容

(1)ホームページ事業

リハビリテーション情報センター単独のホームページを作成し、リハビリテーション実施期間の情報検索や求人情報・イベント、研修情報などの公開を行うとともに、会員（理学療法・作業療法・言語聴覚療法各会員）向けページには、介護予防に関わる資料の共有を行なっています。

URL：www.aichi-reha-info.jp/

(2)市区町村支援事業

愛知県内各市区町村にリハビリテーション専門職のネットワーク作りをサポートし、各市区町村におけるリハビリテーション専門職の顔の見える連携活動を推進するとともに、毎年希望する市区町村のネットワークに活動支援費の付与を行い、介護予防活動の推進に後方支援を行っています。

(3)求人情報の公開

愛知県内における常勤、非常勤などさまざまな就労形態による求人情報を公開することにより、リハビリテーション専門職を様々な形で在宅医療・介護に活動できるよう支援を行っています。尚、掲載については無料で行っています。

(4)相談業務

専門職からの求人情報や就業に関わる相談、研修などのキャリアアップに関わる相談を受け、その場で相談に答えています。また、随時メールによる相談も受け付けています。

3) 今後の課題

愛知県内の様々な地域で地域包括システムが適切に機能するため、理学療法士に求められる社会的役割は多様化しています。限られた人材で求められた役割を担うためには、県士会会員や行政との情報共有システムの改善が今後の課題になると考えています。

1) 概要

当委員会は、2021年度に組織委員会から組織・事業検討委員会に名称変更して活動しています。当委員会の活動は、代表理事の諮問機関として、主に士会組織に関すること、定款・定款細則に関することにおいて、変更・再編・増設など様々な課題に検討を要する際に、その資料の収集や関連団体の動向調査および新たな立案など、代表理事の判断事案の参考となる材料を提示することにあります。

また、外部機関との連携が増え、法人の安定運営が近々の課題となっているため、組織及び事業の発展を目的として、検討事項提案機関としての役割も担っていきます。忌憚のない意見・提案及び議論を行い、理事会への答申を行っていきます。

2) 活動内容

(1)2021年度

①2022年2月15日 組織・事業検討委員会会議

- ・収益事業の展開について
- ・理学療法士会地域支援拠点推進について
- ・県士会と協会のデータベース共有及びホームページのリンクについて
- ・理事選出の方法について

(2)2022年度

①2022年10月19日 組織・事業検討委員会会議

- ・部長及び部員の選定時期スケジュールについて
- ・会費割引制度について
- ・常勤役員及び非常勤専務理事の報酬について
- ・スポーツ支援（特にアジア競技大会）の組織化について

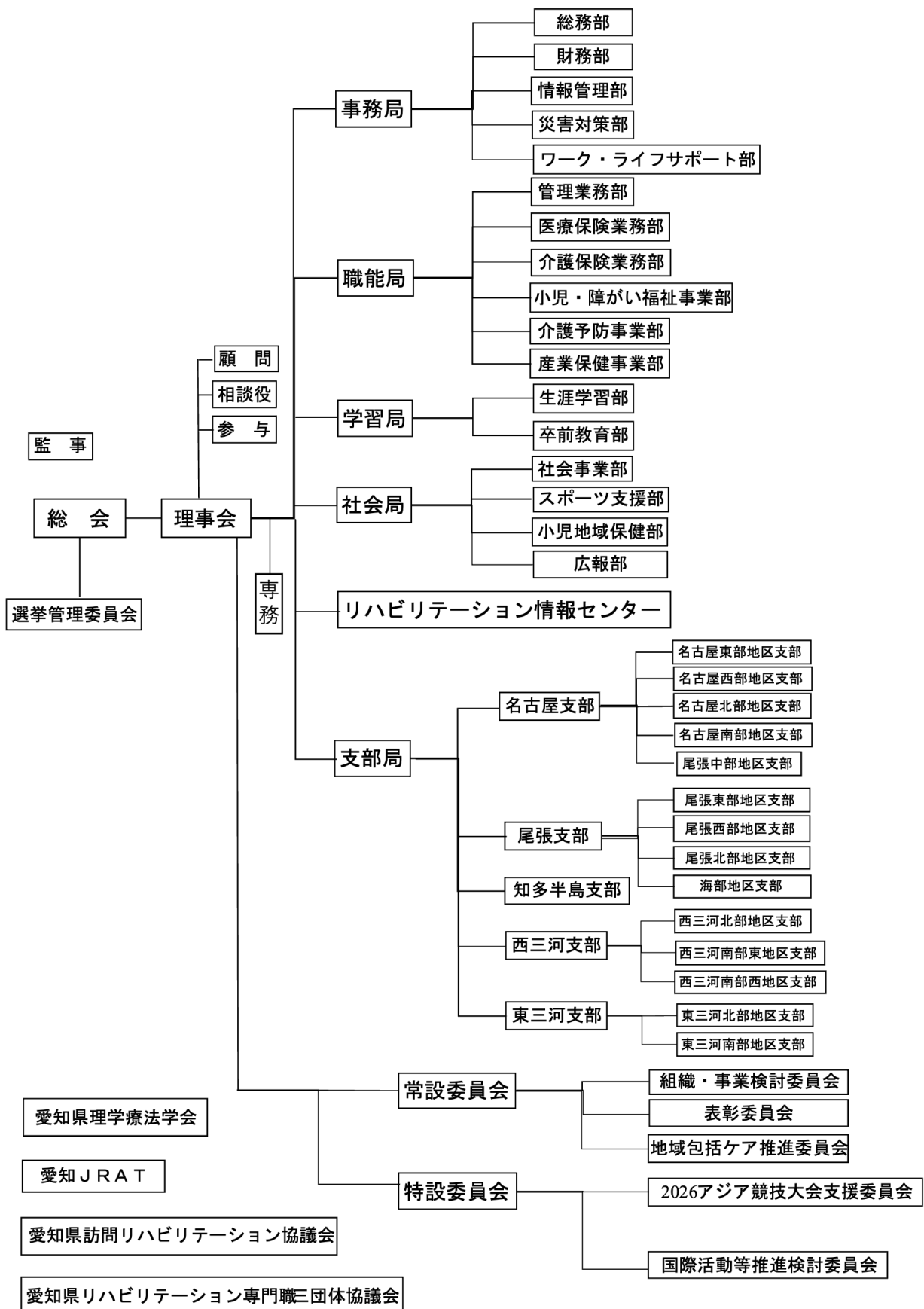
(3)2023年度

①2023年10月4日 組織・事業検討委員会会議

- ・新卒入会者の割引制度について
- ・常勤役員選出における常勤役員審査委員会の詳細について
- ・愛知県理学療法士会のミッション・ビジョン・バリューを策定について
- ・臨床実習指導者育成に関する他士会との連携について
- ・本委員会の委員の選出について

②2023年12月11日 組織・事業検討委員会会議

- ・常勤役員選出における常勤役員審査委員会の詳細について
- ・当委員会の委員の補充について



図Ⅶ－１ 2021－2022年度 公益社団法人 愛知県理学療法士会 組織図

1) 概要（紹介）

表彰委員会では、各規定に基づき「愛知県表彰」、「医療功労賞」、「公衆衛生事業功労者に対する愛知県知事表彰」、「愛知県理学療法士会功労賞」、「公衆衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰」、「公衆衛生事業功労者に対する日本公衆衛生協会表彰」、「日本理学療法士協会賞」等の候補者選考を行っています。

2) 受賞履歴

2021年度～2023年度に受賞された方々は次の通りです（表Ⅷ－1）。

受賞された方々の功績は、理学療法士という職業の重要性と価値を社会に示す素晴らしい例となっています。心よりお祝い申し上げますとともに、今後のさらなるご活躍を祈念いたします。

表Ⅷ－1 国際活動等推進検討委員会事業一覧

年 度	賞 種	氏名（敬称略）
2021年度	愛知県表彰	青木 一治
	医療功労賞	山本 佳司
	公衆衛生事業功労者に対する愛知県知事表彰	松野 俊次
	愛知県理学療法士会功労賞	岸川 典明
		星野 茂
		小川 智也
		三宅わか子
2023年度		熊谷 泰臣
	公衆衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰	森本 和宏
	公衆衛生事業功労者に対する日本公衆衛生協会表彰	星野 茂
	日本理学療法士協会賞	鳥山 喜之

1) 目的

- ・ 会員と士会組織の地域包括ケアシステム構築や推進の支援
- ・ 会員と士会組織の介護予防に資する人材育成
- ・ 関連団体や行政等との情報交換、協力、事業実施

2) 組織

(1)特設委員会として設置

(2)委員構成 地域包括ケアに関する領域経験者から委員、担当理事、関連部局数名により構成

3) 業務内容

(1)会議（2021年度～2023年度 オンライン中心にて）

(2)愛知県庁健康福祉部との愛知県地域リハビリテーション専門職介護予防指導者育成事業に関する県内全大会（年1回）、地区会（年5回）、地区別研修検討会（30回）の方向性、全体企画設計等

(3)療法士介護福祉技術向上研修会（年1回）企画、検討支援

(4)市町村ネットワーク活動支援 情報センター業務との連携支援

(5)愛知県作業療法士会、愛知県言語聴覚士会、愛知県栄養士会、愛知県歯科衛生士会との関連協議、企画立案、事業設計支援

(6)愛知県介護予防市町村アドバイザー（関連4団体選出者含め）と介護予防推進に関わる進捗共有、課題整理、アドバイザー人材育成、愛知県研修内容への関連づけ企画や実践支援

(7)県内自治体の自立支援型地域ケア会議の推進支援、会議準備、会議の質評価、自治体担当者への介護予防事業進捗アンケートの作成、進捗共有、課題分析、改善提案支援

(8)愛知県健康福祉部担当者との県内自治体の介護予防進捗と自治体担当者からの実態アンケートに基づく自治体支援計画の設計、実行支援、課題抽出支援

4) 総括と今後の方向性

愛知県庁から2015年より委託事業として本会会員並びに関係団体に対し、地域包括ケアの推進に資する企画、実践、評価を繰り返し事業拡大してきました。今後も相互発展の中で変化を先取りし地域包括ケアの更なる推進と会員活動拡大、県民の声に応えていきたいです。

X 2 アジア・アジアパラ競技大会支援委員会

委員長 平野 佳代子

1) 概要

2026年に開催されるアジア競技大会、アジアパラ競技大会への理学療法士の支援を見据えて、「国際競技大会支援のための研修プログラム」を計画・実施している。大会終了後においてもスポーツに関わる全ての人々へ還元するための知識・技能を習得する機会となるよう準備し、順次、開催しています。

2) 活動内容

2023年より特設委員会として「2026アジア・アジアパラ競技大会支援委員会」が設立（表X-1）され、準備することになりました。

表X-1 2026アジア・アジアパラ競技大会支援委員会

担当理事：飯田博己

役職	氏名	所属
委員長	平野佳代子	井戸田整形外科名駅スポーツクリニック
委員	岡戸 敦男	トヨタ自動車（株）リコンディショニングセンター
委員	岡村 幸枝	ハイパーパフォーマンスプロジェクト
委員	加藤 真弓	愛知医療学院短期大学
委員	北村麻衣子	愛知県青い鳥医療療育センター
委員	水田 洋平	伊藤整形外科
委員	宮下 浩二	中部大学
アドバイザー	鳥居 昭久	東京保健医療専門職大学

アジア・アジアパラ競技大会は、OCA（アジア・オリンピック評議会）の監督の下、大会組織委員会が運営されています。理学療法士は、大会組織委員会の依頼を受け、活動することになります。活動内容については、過去大会や2021年に開催された東京オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、東京2020大会）参考にすると、いくつかの役割が想定されます。一つ目は、選手村内診療所における活動で、理学療法サービスとして来所された外国人アスリート、スタッフへ対しての理学療法の実践、二つ目は、競技会場にける活動で、医師、看護師と協働しての救急対応や、競技前後における理学療法の実践です。

東京オリパラ大会と同等数と考えるならば約500名もの理学療法士が、一定レベルの質を担保した上で理学療法を提供する必要があります。

そこで、東京2020大会を参考に、「国際競技大会支援のための研修プログラム」を計画しました。内訳は、入門編、特別編、基礎編、応用編、実技トレーニング、現場実習、事前研修の構成です。2023年度から表X-2のとおり研修プログラムをはじめ、関連行事を開催しました。

表X-2 国際競技大会における支援活動にむけての行事

日時	行事名	場所
2023年5月14日（日）	第31回愛知県理学療法士会学術大会 スポーツ支援に関する質問・相談コーナー	名古屋コンベンションホール
2023年7月15日（土）	キックオフミーティング	ウイルあいち
2023年11月23日（祝・木）	研修プログラム入門編	ウインクあいち
2024年2月4日（日）	研修プログラム特別編	名古屋国際会議場
2024年5月19日（日）	第32回愛知県理学療法士会学術大会 愛知・名古屋2026アジア・アジアパラ競技大会のプロモーション ①組織委員会と共同でのブース出展 ②参加者への説明	ウインクあいち
2024年6月9日～16日	研修プログラム入門編	オンデマンド配信
2024年6月23日（日）	研修プログラム基礎編 1日目	愛知医療学院短期大学
2024年6月30日（日）	研修プログラム基礎編 2日目	愛知医療学院短期大学

今後、2025年3月～7月にかけて応用編、その後に実技トレーニングや現場実習、2026年度に事前研修を予定しています。

国際活動等推進検討委員会 2021-2023

1) 概要

当委員会は2021年4月の愛知県理学療法士会組織改編に伴い発足しました。

設立の目的は、「身近な国際交流から県レベルの国際活動に対して、士会としてどのように関与できるかを検討し、それらの活動に愛知県理学療法士会員（以下、会員）が参加するための支援を考える」ことです。近年、国際活動を経験される会員が増える一方で、興味を持ちながらも一步を踏み出せない会員も多い状況です。当委員会は、経験者の知見を共有し、未経験者の関心を繋げることで、国際活動への参加を促進することを目指しています。また、臨床現場では日本語を母国語としない患者さまと接する機会が増え、対応に困難を感じる声も聞かれます。委員会では、これらの課題に対する支援策を模索し、実践的な学びの場を提供することで、会員が安心して対応できる環境を整えることを目標としています。さらに、2026年のアジア競技大会を見据え、海外選手との交流や支援への不安を軽減し、国際的な対応力を高める活動を進めています。

2) 活動内容

2021年は初年度として、月1回のオンラインミーティングを開催し、今後の活動の方針を話し合いました。また、会員に対して国際活動の経験や意識に関するアンケート調査を実施し、会員が求める支援の方向性を検討しました。

(1)研修会事業（年1回）

海外経験を持つ会員の理学療法士を講師として招聘し、オンラインまたは対面形式で研修会を開催しています。これにより、会員同士の経験共有や交流の促進を図っています。

(2)YouTube動画作成事業（年3本程度）

愛知県理学療法士会の公式YouTubeチャンネルにおいて、会員の海外での活動経験や、英会話講師による臨床現場ですぐに使える英会話を紹介する動画を公開しています。

3) 今後の課題

当委員会は設立してから間もないため、活動内容が会員に十分認知されていない状況です。今後は、海外経験者や国際活動に関心のある会員の把握に努め、ニーズに応じた研修会や動画コンテンツの作成を進めていきたいと考えています。

表XI－7 国際活動等推進検討委員会事業一覧

【動画作成（2024.3月時点）】

年度	動画撮影日/公開日	内容	講師	閲覧数
2022	2022.10.9/2022.11.30	理学療法士が臨床で今日使える 英会話レッスン腰痛 #1 問診	Darian Gore WIZ English Academy	1418回
	2022.10.9/2023.4.28	理学療法士が臨床で今日使える 英会話レッスン腰痛 #2 評価	Darian Gore WIZ English Academy	1500回
	2022.10.9/2023.9.18	理学療法士が臨床で今日使える 英会話レッスン腰痛 #3 治療	Darian Gore WIZ English Academy	572回
2023	2023.11.29/2024.2.7	元JICA海外協力隊 理学療法士に聞いてみた ～ホンジュラス～ #1 派遣準備編	濱田 光佑 愛知医療学院短期大学 リハビリテーション学科	380回
	2023.11.29/2024.3.12	元JICA海外協力隊 理学療法士に聞いてみた ～ホンジュラス～ #2 活動編	濱田 光佑 愛知医療学院短期大学 リハビリテーション学科	228回
	2023.11.29/2024.4.25	元JICA海外協力隊 理学療法士に聞いてみた ～ホンジュラス～ #3 帰国後編	濱田 光佑 愛知医療学院短期大学 リハビリテーション学科	156回

【研修会】

年度	開催日	場所	内容・テーマ	講師（敬称略）	参加人数
2022	12.18	オンライン	日本理学療法士協会が提供するJOPTEP/国際活動についての紹介。 JICAを通じてグアテマラ共和国で活動された会員による現地での活動報告。	永田健太郎 公社 日本理学療法士協会 嶋中 大祐 訪問看護ステーションえん	39名
2023	2024.1.13	TKP名古屋駅前 カンファレンスセンター	国際学会参加・発表者の実体験を通して、2025年東京開催のWorld Physiotherapy Congressへの参加へのきっかけ作り。 国際活動に興味がある会員同士の交流。	川村 皓生 国立長寿医療研究センター 星野 高志 刈谷豊田総合病院	16名



1) 概要

公益社団法人愛知県理学療法士会（以下、士会）およびNPO法人愛知県理学療法学会（以下、学会）の役員選挙は2年毎に実施されます。これに伴い、選挙の実施事項を取りまとめ、会員へ選挙の告示や投票方法を周知しています。また、公益社団法人日本理学療法士協会の代議員・役員候補者および分科学会運営監事選挙についてもサポートしています。

2) 活動内容

活動は6名の選挙管理委員が担っています。

2022年度には「2023・2024年度士会役員選挙」および「2023・2024年度学会役員選挙」を実施しました。2023年1月5日に選挙告示を行い、立候補者受付の結果は以下の通りでした。

士会役員選挙

理事：11名立候補（定数10名）

監事：立候補者なし（定数2名）

学会役員選挙

理事：7名立候補（定数10名）

監事：立候補者なし（定数2名）

士会役員選挙は立候補者が定数を上回ったためWeb投票による選挙を実施しました。投票期間は2023年3月6日から3月19日に設定して、即日開票を行いました。その結果、投票者数は858人（前回比215名増）、投票率は14.1%（前回比+3.4ポイント）でした。一方、学会役員候補は定数通りで無投票当選となりました。

3) 今後の課題

Web選挙の導入により投票率は向上したものの、依然として十分とは言えません。今後はさらに投票率を高め、会員が積極的に参加できる選挙プロセスの実現を目指します。これにより、組織運営への会員の関与を深め、より強固な組織基盤の構築を図ります。

1) 概要

一般社団法人 日本災害リハビリテーション支援協会（JRAT: Japan Disaster Rehabilitation Assistance Team）は、東日本大震災リハビリテーション支援10団体（2011年4月設立）の活動経験を基に、新たにリハビリテーション関連3団体が参画し、2013年7月に、来る災害に備えて「大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会」として再結成を行いました。そして2015年9月栃木・茨城を襲った関東・東北豪雨災害をはじめとして、2016年4月の熊本地震災害では全国規模で約3,000人が支援活動を行い、また2018年7月の西日本豪雨災害、またその後の度重なる豪雨災害に対しても、DMATやJMATなどとの強固な連携の下で支援活動を行っています。JRATは都道府県に分けられた地域JRATが設立されブロック単位における情報共有を実施し、愛知JRATもJRATの活動に参画しております。

2) 活動内容

愛知JRATは①愛知JRAT隊員の体制管理②他団体、行政との調整③定款、マニュアルの見直し④研修会の企画・運営、広報活動など行いました。また、愛知県理学療法士会含めた3士会災害対策委員会と活動内容の確認、調整を行いました。

表XIII-1 愛知JRATが実施した2021～2023年度の研修実績

	講演	講師	所属・職種	参加者数
2021年 2月6日	愛知JRATの活動①	津金慎一郎	鶴飼リハビリテーション病院 医師	57
	愛知JMATの活動とJRATとの連携	細川 秀一	医療法人細川外科クリニック 理事長	
	これからのJRAT	近藤 国嗣	東京湾岸リハビリテーション 院長	
	愛知JRATの活動②	浅野 直也	国立病院機構東名古屋病院 理学療法士	
2022年 2月26日	熱海市伊豆山地区土砂災害における静岡JRATの活動①	村岡 健史	常葉大学 作業療法士	239
	熱海市伊豆山地区土砂災害における静岡JRATの活動②	高橋 博達	浜松リハビリテーション病院 副院長	
	愛知JRATの活動マニュアルについて	中橋 亮平	鶴飼リハビリテーション病院 理学療法士	
	災害医療と地域復興	小早川義貴	国立病院機構災害医療センター 医師	
2023年 3月4日	愛知JMATの活動とJRATとの連携	細川 秀一	公益社団法人 日本医師会 常任理事	113
	災害時におけるリハビリテーション医療支援	富岡 正雄	大阪医科薬科大学 リハビリテーション医学教室	
	愛知JRATの活動報告2022	塚田晋太郎	豊橋創造大学 理学療法士	

3) 今後の課題

南海トラフ地震はもしかしたら明日にも起こるかもしれません。南海トラフ沿いで異常な現象が観測されず、南海トラフ地震発生の可能性の相対的な高まりについてお知らせする「南海トラフ地震臨時情報」の発表がないまま、突発的に南海トラフ地震が発生することもあります。そのため、「日頃からの地震への備え」を実施することが大切です。今後起こり得る南海トラフ地震に備え愛知JRATはさらなる組織の発展、組織の継続性が必要と考えます。そのため①組織体制の強化②定款、マニュアルの改変③研修会、訓練の企画・運営④愛知JRAT隊員登録システムの確立と隊員登録の増員⑤他団体、行政との調整の継続などが必要になります。

①概要 ②活動内容 ③今後の展望

1) 概要

理学療法士が在宅に訪問して理学療法等を提供できる制度は、医療保険と介護保険があります。その多くは介護保険での訪問リハビリテーションであり、病院・診療所・介護老人保健施設等から出向く訪問と訪問看護ステーションから出向く訪問があり、どちらも利用者の生活機能の維持・改善を図る上で重要な資源であります。

3年ごとの介護保険改定の内容からも、社会情勢の変化やニーズに柔軟な対応が求められています。より適切なリハビリテーション供給体制を作ることを目指し、日本理学療法士協会の下部組織として訪問リハビリテーション復興委員会（現：復興委員会）が設置され、その時点から、全国で適切な訪問リハビリテーションを提供できる人材育成のために、全国47都道府県において質が統一された研修会の開催を年に1回以上実施しています。

愛知県訪問リハビリテーション連絡協議会は愛知県理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会の下部組織として2009年度に設立し、構成員は3士会の会員となっています。

第6回からは、地域医療介護総合確保基金に基づく愛知县委託事業として実施しています。

2) 活動内容

2021年から2023年まで行った研修内容は以下の通りです。この3年間は、COVID-19の影響により、ZOOMを用いたオンラインでの研修と対面研修を実施しました。

3) 今後の展望

今後も愛知県理学療法士会、愛知県作業療法士会、愛知県言語聴覚士会の地域リーダーたちと協力し、実務者研修会の企画・運営を通じて、訪問リハビリテーションに関する情報提供を幅広く行うことで、地域リハビリテーションの拡充と、地域で活躍できるセラピストの育成を図っていきたいと思っています。

表XIV-7

年度	開催日	内容（テーマ）	
2021年度	12月5日	地域包括ケアシステムと地域共生社会 ～リハビリテーション専門職種のあるべき姿を自ら示そう～	山下 智子 愛知県福祉局
2022年度	11月21日	訪問リハビリテーションとゴール設定	張本 浩平 株式会社gene
	1月23日	在宅生活のアセスメント ～リハビリテーションのあり方とPT・OT・STの専門性～	土井 勝幸 せんだんの丘
2023年度	10月15日	訪問リハビリテーションって何だ？ ～医学モデルと社会モデル～	大浦 智子 奈良学園大学
	2月26日	訪問リハビリテーションの教育について ～DESIERI制度の説明～	村瀬 文康 ジェネラスはたる

愛知県リハビリテーション専門職三団体協議会について報告します。

愛知県リハビリテーション専門職三団体協議会は一般社団法人愛知県作業療法士会、一般社団法人愛知県言語聴覚士会、公益社団法人愛知県理学療法士会の三団体の協議会で2017年から活動を開始しております。これは2015年5月に地域包括ケアシステム構築をはじめとしたりハビリテーション推進協力に関する協定書を締結したことから、実際の3団体での事業が開始され、定期的な会議を開催しております。

年に3回をめぐりに開催され、内容については、各士会の活動状況の報告、3団体が協力して行う事業についての協議、愛知県からの委託事業についての協議が主な議題となっております。協力して開催する事業については、こどもの福祉機器展（チャレンジドフェア）が主な事業となっております。

愛知県からの委託事業については、介護予防に関する市町村支援事業（アドバイザー派遣）、地域リハビリテーション専門職介護予防指導者育成事業、訪問リハビリ実務者研修の事業となっております。いずれの事業も年数を重ねるごとにブラッシュアップされておりますが、継続すべきこと、改変すべきことの協議を繰り返し、実際に活動が円滑に進むように進めております。また、名古屋市からの委託事業（サロン派遣等）も開始され、そこにおいても3団体の協力は不可欠なものになってきております。

2019年に始まりましたCOVID-19の感染拡大からは、オンラインでの協議会の開催になり、顔をあわせての会議は減少しておりますが、オンラインとはいえ、協議会の継続は重要なことと考えております。

2021年度2022年度とも3回開催、2023年度は2回開催し、各士会長が意見交換を行う重要な機会となっております。今後も県民へ貢献できるように協力して活動することが、お互いの発展につながるものと考えております。

簡単ではありますが、この3年間の総括とさせていただきます。

第二部 特定非営利活動法人 愛知県理学療法士会の 現状と課題

理事長総括

理事長 石田 和人

愛知県理学療法学会 2021-2023年度 総括

2008年、本学会は現在の形である「特定非営利活動法人愛知県理学療法学会」としてスタートし、設立以来、愛知県の理学療法学術活動に特化した専門団体として、①学術大会の開催、②学術誌の発行、③各種研修会活動という3つの柱を基盤に活動を展開してきました。近年においては、これらに加え、研究局を中心とした、④研究活動の活性化を第4の柱として構築するという重要な進展が見られました。これまで本学会は、愛知県下の多くの理学療法士が築いてきたご努力を基に、着実な成長を遂げています。そして、以下の通り2021年度から2023年度にかけての総括として具体的な活動内容について振り返ります。

学術大会の開催

2021年度から2023年度において、次の3つの学術大会を開催しました。

- ・第30回愛知県理学療法学術大会は、2022年4月23日と24日の2日間、名古屋国際会議場において岸川典明大会長のもと、第30回記念大会として実施されました。この大会では「30回の歩みと未来への挑戦 – 時代が求める理学療法科学の探究 –」をテーマに掲げ、これまでの本学会の歴史を振り返りつつ、未来を担う若手理学療法士の育成に焦点を当てました。記念大会にふさわしい盛大な開催となり、参加者からも多くの賛同と意見を得ることができました。
- ・第31回愛知県理学療法学術大会は、2023年5月14日、名古屋コンベンションホールにおいて、對馬明大会長のもと開催されました。テーマは「理学療法士による予防最前線」とし、理学療法士が担う予防医療の重要性と役割について深く議論しました。この大会では最新の研究成果や実践知識が共有され、理学療法のさらなる発展を目指す契機となりました。
- ・また、第38回東海北陸理学療法学術大会が、2022年10月29日と30日の2日間、オンライン形式で開催されました。本大会は「臨床や地域の現場にこそ本当がみえる – 技術と科学のクオリアを求めて –」をテーマに掲げ、臨床現場や地域における理学療法の真髄を探求する場となりました。石田和人大会長のもと、理学療法士や医療関係者が学術的な交流と研鑽を深め、オンライン開催ながらも活発な議論と成果発表が行われました。

学術誌の発行

本学会の学術誌である「愛知県理学療法学会誌」を、この3年間に、第33巻1号から第35巻2号までの計8冊が発行しました。この期間に掲載された論文数は合計33本にのぼり、会員の研究意欲を支える重要な媒体としての役割を果たしました。また、査読体制の強化により、投稿論文の質がさらに向上し、信頼性の高い学術誌としての地位を確立しています。電子化を活用し、より多くの読者に研究成果を届ける仕組みも拡充されています。

各種研修会活動

研修会活動については、2018年度から2020年度と同様のペースで実施され、年間を通じて様々なテーマで理学療法士のスキル向上を図る場を提供しました。COVID-19の影響を経験してきた運営側としての学びから、オンライン形式を活用することも検討しながら各種の研修会を継続的に開催することができ、多くの参加者から好評を得ました。

研究活動の活性化

2021年度以降の特筆すべき進展として、研究局を中心に研究活動の活性化が挙げられます。これにより、従来の3本の柱に加え、研究活動が第4の柱として本格的に位置付けられることとなりました。研究助成制度の導入や、学会主導による大規模研究プロジェクトの推進が始まり、会員の研究意欲を高める取り組みが数多く実施されています。また、若手研究者の育成にも力を入れており、これらの活動は理学療法学の進歩に寄与する重要なステップとなっています。

おわりに

本学会は、学術大会、学術誌の発行、研修会活動、研究活動活性化の4つの柱を基盤としながら、さらに充実した活動を展開してきました。この3年間にわたり、各部の部員、また会員の諸氏による献身的な努力は、学会の基盤を強固なものとし、愛知県の理学療法士の学術的成長に大きく寄与しました。これからも、本学会は時代の変化に応じた新たな取り組みを模索しながら、さらなる飛躍を目指して活動を続けていきます。

特定非営利活動法人愛知県理学療法学会事務局（2021年度～2023年度）

1) 概要

事務局は総務部・財務部・情報管理部・広報部の4部体制により運営をしています。学会運営はもとより、事務局職員の労務管理・他団体・行政機関・企業等との連携調整も担っています。今期は本会のメイン事業の一つである愛知県理学療法学会大会が30回の記念大会を実施したことが大きな活動成果でありました。感染症対策を講じながらの事業運営を行い、またCOVID-19により大きく変化した社会活動に順応した学術活動を展開調整してまいりました。しかしながら財政的には支出方法が大きく変化し困惑した3年間でありました。広報活動においても6,000名の会員に対していかに情報を届け、専門職の責務でもある生涯学習と研究活動など最新知識・技術の習得を周知していくかに大きな課題を残しました。

2) 課題

前巻の白書発行時にも課題として挙げられた組織率の低下は本会においても大きな継続課題として残っております。何とか会員数減少傾向にはまだ至ってはおりませんが以前のような右肩上がりの会員数の増加はなく横ばい状態の維持というのが精一杯の結果でした。今後の事業運営にも費用・活動人員・理学療法士としての資質担保という点からも大きな課題となっています。

また、医療専門職としての責務である生涯学習をいかに推進している態勢を気づいていくかが今後の大きな課題となっています。

1. 広報部

部長 後藤 亮吉

広報部では、以下の2つの業務を行いました。

1) NPO法人のホームページの運営管理

PT協会が主催する研修会や学会、NPO愛知県理学療法学会が主催する研修会や等の案内をホームページで行っています。

2) メール通信の配信

会員に向けた情報配信サービス（メール通信）を行っています。メール通信は、日本理学療

法士協会のマイページに登録されているメールアドレス宛に2回/月のペースで配信しています。

2021年より愛知県理学療法学会の広報部は、愛知県理学療法士会の広報部が業務を兼務して行っています。

Ⅱ 事業局

局長 壹岐 英正

1) 概要

特定非営利活動法人愛知県理学療法学会の組織改編にともない、2020年度（令和2年度）より「学術大会局」から「事業局」へ名称変更し、「学術大会部」と「渉外連携部」を管轄する部局になりました。

2) 活動内容

学術大会部は、大会長選出、学術大会の運営補助、学術大会賞・新人賞の表彰が主な業務です。学術大会は愛知県理学療法士会が主催する第1回目の学術大会は、それ以前から開催されていた愛知県・岐阜県・三重県による「東海理学療法士学会」を引き継ぐかたちで、1989年度の1990年3月に「愛知県理学療法学会」として開催されました。その後、第18回から「愛知県理学療法学術大会（以下、県学術大会）」と名称が変更になり、2022年度に第30回の記念大会が開催されました⁽¹⁾。2024年の第32回大会ではCOVID-19が5類感染症となり、対面開催で1,000名以上が参加されました。

渉外連携部は、一般社団法人日本理学療法学会連合に属する各法人学会や研究会と愛知県理学療法学会の連携を図ることが主な業務です。各法人学会等の啓発や研修会等を企画し、愛知県理学療法学会に属する理学療法士の学術活動推進を図っています。

具体的な活動内容は各部の報告をご覧ください。

3) 今後の課題

働き方改革の導入で時間外に研究活動を行うことが難しい社会状況になっています。またCOVID-19の影響で臨床現場での臨床実習を十分行えなかった理学療法士が多く存在し、十分な臨床スキルアップの機会を持てないまま実務に追われ、やりがいを感じないまま離職することも懸念されます。主に若手理学療法士の学術活動や教育の機会を提供し、理学療法士としてのスキルアップとやりがいにつながる事業を展開することが今後の課題と考えています。

参考文献

(1)村上忠洋：愛知県理学療法白書あいち2021－多様化する社会情勢に応じた理学療法士の役割とその責任－. 公益社団法人愛知県理学療法士会,2022,pp68-69.

1. 学術大会部

部長 矢澤 浩成

1) 活動状況

学術大会部の主な活動としては、学術大会長の選出、学術大会の運営補助、学術大会における表彰を行っています。年1回開催される愛知県理学療法学術大会（以下、学術大会）は、その運営を3つの地区ブロックが輪番制で担当し、名古屋→尾張→知多・三河（知多、西三河、東三河で順番）の順で企画・運営に携わっています。表Ⅱ－1－1に2021～2023年度に開催された学術大会の詳細を示します。（2021年度以前の学術大会の詳細は、過去の「愛知県理学療法士白書 あいち」をご参照ください。）なお、第30回学術大会以降の学術大会は、4月または5月開催に開催時期が変更となりました。

2022年に開催された第30回学術大会は、「30回の歩みと未来への挑戦－時代が求める理学療法科学の探究－」をテーマに、30回という節目の記念大会として2日間開催となりました。2020年から続くCOVID-19の影響を鑑み、現地とライブ配信（一部オンデマンド配信）のハイブリッド開催となりました。また新しい試みとしてMeet the Mentorを開催しました。これは、各分野の臨床や研究で活躍する匠（たくみ）と直接語らい、匠のこれまでの経験や思考過程に触れるとともに、参加者の疑問や課題解決を相談する機会として企画しました。なお、第30回学術大会以降、Meet the Mentorは継続して企画されています。当日の学術大会参加者は、演者、司会、座長、聴講者、運営者（準備委員および運営委員）など453名、Web参加（学生含む）571名、総数1024名となり、久々の対面での活発な議論が展開されている光景を目にし、現地開催での学術大会の良さを再認識しました。

2023年に開催された第31回学術大会は、「理学療法士による予防最前線」をテーマとし、COVID-19の第5類移行化を見据えて準備を進め、完全対面で開催することができました。現地参加者（学生含む）の総数は975名となり、現地開催ならではの人のつながりの大切さを実感する学術大会となりました。

学術大会部では、2008年度の第18回学術大会から、優れた研究資質を有する士会員を顕彰することを目的に優秀演題を選出し「学術大会賞」を授与しています。また2016年度からは会員歴5年以内の新人を対象とした「新人賞」も授与しています。2021～2023年度における「学術大会賞」と「新人賞」の受賞者を表Ⅱ－1－2に示します。（2021年度以前の表彰に関する詳細は、過去の「愛知県理学療法士白書あいち」をご参照ください。）

2) 今後の課題

愛知県理学療法学術大会のあり方のひとつとして、全国規模の学会や専門分科会等での発表に向けた研鑽の場となるべく、研究マインドを持った若手理学療法士を育成する機会であると考えております。学術大会部では、研究活動を通じてよりよい理学療法を提供するため

の基盤となるよう、研究発表を推進する環境作りや学術大会に関する適切な情報提供を行う必要があると考えております。

表Ⅱ－１－１ 学術大会の概要

	開催日	担当ブロック	学会長	テーマ	演題数	会場
第30回	2022年4月23・24日	記念大会	岸川典明	30回の歩みと未来への挑戦－時代が求める理学療法科学の探究－	99	名古屋国際会議場
第31回	2023年5月14日	尾張	對馬 明	理学療法士による予防最前線	77	名古屋コンベンションホール

表Ⅱ－１－２ 学術大会表彰演題

<学術大会賞>

* 筆頭演者とその所属

	演題名	氏名
第30回	当院外傷性頸髄損傷不全四肢麻痺者における移乗動作達成の実際調査	曾我 大*（中部労災病院）、杉山 統哉、野崎 和哉、本村聖也、犬飼 恵美、廣江 将之、江口 雅之、原田 康隆、田中 宏太佳
第31回	8～12歳の小学校児童における身体機能と健康関連の生活の質の関係	夏目健太郎*（名古屋大学大学院）、伊藤 忠、橋原 翔、伊藤祐史、高橋大樹、杉浦英志

<新人賞>

	演題名	氏名
第30回	脳卒中後遺症者に対するACSIVEを併用したトレッドミル練習の効果—シングルケースデザインを用いた検証—	向 涼太*（鶴飼リハビリテーション病院）、細井雄一郎
第31回	低身体機能を有する血液透析患者の重症低栄養状態は透析中運動療法による身体機能の改善効果に影響を及ぼす	高橋 蓮*（偕行会城西病院）、矢部 広樹、石川 英昭、日比野 貴志、森下 沙友美、森山 善文、山田 哲也
	高次脳機能障害を呈した脊髄梗塞不全麻痺患者に対し、補填的・代償的治療介入で移乗動作獲得に至った一症例	寺本 圭吾*（中部労災病院）、原田 康隆、杉山 統哉、野崎 和哉、廣江 将之、犬飼 恵美、曾我 大、本村 聖也、桂 理、三重野 瑛里

2. 渉外連携部

部長 平野 明日香

1) 概要（紹介）

渉外連携部は日本理学療法学会連合の各学会・研究会との連携強化を図り、愛知県における各専門分野の理学療法研究の推進を目的に2021年度（令和3年度）に新設された部です。各学会・研究会の活動に参画して最新の知見を得ることや、自らエビデンス構築をすることで、対象者へ質の高い医療を提供することを目指しております。部員には愛知県理学療法士会会員かつ各学会・研究会の理事にご協力いただくことで、情報収集や連携を容易にしております。本部会の活動を軌道にのせるために、学術活動へ参画する人が増えるような広報に力を入れて活動を開始しました。

2) 活動内容

2021年から2023年までの活動状況は以下の通りです。

(1) 日本理学療法学会連合の学会・研究会と連携の検討

日本理学療法学会連合の各学会・研究会とどのような連携ができるか、部員同士で検討を重ねました。そこからまずは学会・研究会が発足したことを知っていただくための活動

から開始することになりました。

(2)法人学会に関する質問コーナー

年1回開催される愛知県理学療法学会学術大会内で各学会・研究会の活動を周知するために法人学会に関する質問コーナーを開設し、学会参加者に積極的にチラシの配布を通じて、学会・研究会の存在や会員制度、活動内容の広報を展開しました。

(3)しゃべり場の開催

各分野で従事する理学療法士同士で顔の見える関係を構築し、愛知県内における各学会・研究会の専門分野の発展を目的に「しゃべり場」を開催しました。2022年度は神経理学療法のしゃべり場を、2023年度には小児理学療法のしゃべり場を実施しました。

(4)コンテストの開催

学術活動をより身近なものに感じて理学療法士が学術活動への興味が深まるような川柳を募集し、コンテストを開催しました。対象は愛知県在住の方であれば誰でも可能とし、優秀賞と参加賞を設定し、応募を促進しました。

結果発表

〔理学療法士の学術活動を楽しもう〕

第1回 コンテスト ～川柳編～

たくさんのご応募ありがとうございました。

今回は、39件（32名）の力作の中から選考委員会により優秀賞の3つが選ばれました。

優秀賞

新発見 学び続けて 増える夢 げきから さん

学びの場 行きたび進む もう一步 クラブウエル さん

準備終え 向かう車窓は 旅気分 むちむち さん

参加賞

学会で 友の演題 探しがち	Fむら さん
知識溜め 新たな仲間と ひつまぶし	おみさまる さん
初対面 仲間意識の 演者席	ななこにむ さん
画面越し 熱い議論に 胸躍る	きんぎょ さん
子連れでも 新たな知見 学べる場	ママPT さん

愛知県理学療法学会渉外連携部



特定非営利活動法人
愛知県理学療法学会
The Aichi Society for Physical Therapy

図Ⅱ-2-1 コンテストの結果

3) 今後の課題

部が発足したことで各学会・研究会の活動の広報を進めることができたと考えております。今後は愛知県内で各学会・研究会の活動が活発になるような仕組みづくりを検討していく予定です。

表Ⅱ－2－1 渉外連携部の活動実績

年度	事業名	開催日	内容	講師（敬称略）
2021年度	日本理学療法学会連合の学会・研究会と連携の検討	年 3 回	部会を開催し検討	渉外連携部部員
2022年度	日本理学療法学会連合の学会・研究会と連携の検討	年 8 回	部会を開催し検討	渉外連携部部員
	法人学会に関する質問コーナー （第30回愛知県理学療法学会学術大会内）	5月23日 5月24日	法人学会に関する個別の相談会	渉外連携部部員
	あいち神経理学療法学のしゃべり場	9月9日	神経理学療法の悩みごと、 やりたいことをシェアしよう	平野明日香 （藤田医科大学病院） 他
2023年度	日本理学療法学会連合の学会・研究会と連携の検討	年 7 回	部会を開催し検討	渉外連携部部員
	法人学会に関する質問コーナー （第31回愛知県理学療法学会学術大会内）	5月14日	法人学会に関する個別の相談会	渉外連携部部員
	あいち小児理学療法学のしゃべり場	12月15日	小児理学療法の悩みごと、 やりたいことをシェアしよう	富田秀仁 （豊橋創造大学）
	第 1 回コンテスト	9－11月	理学療法の学術活動を楽しもう ～川柳編～	渉外連携部部員

1) 概要

学術局は、2021年より教育研修部と学術誌部の2部門の構成で、会員のキャリア形成の支援と学術活動の推進を目的に運営しています。

2) 活動内容

(1)研修会の企画運営

教育研修部では、理学療法士のリカレント教育に準じた研修事業の企画と運営を通じて、会員のキャリア形成の支援を行っています。この研修会では登録理学療法士の更新や認定・専門理学療法士の取得に必要なポイントを取得することができ、会員は無料で参加することができます。

(2)講習会の開催支援

教育研修部では、日本理学療法士協会ならびに愛知県理学療法学会が主催する理学療法講習会の開催支援事業を通じて、開催者に講習会運営のノウハウを学んで頂くとともに、愛知県における講習会活動の活性化に寄与しています。

(3)愛知県理学療法学会誌の発刊

学術誌部では、年2回のオープンアクセスジャーナル（以下、OAJ）愛知県理学療法学会誌の発行と愛知県理学療法学会大会の学会プログラム・抄録集の発行をしています。また、OAJの投稿論文については、2022年の第34巻1号から日本理学療法士協会の指定する論文・著作の業績申請の対象論文となっています。会員にとって初めて論文投稿の機会になることも多いため、教育的視点で査読や論文編集など論文掲載に至る修正過程の支援を行い、会員の学術研鑽の機会を提供しています。

3) 今後の課題

以上のように、学術局では教育研修部と学術誌部が協力して、会員に研鑽の機会を提供し、キャリア形成と学術活動の推進と支援を行っています。しかしながら、昨今の情報社会の進展と情報技術の発展、多様化するコミュニケーションツールなど、時代の潮流を踏まえて、動画コンテンツやWebinarなどを活用した会員の利便性やニーズに即した方法で、専門性の高い良質な学びの機会を提供すること、SNSなどを用いた情報発信によるアクセシビリティの向上が今後の課題と考えています。また、NPO法人愛知県理学療法学会は、日本学術会議の協力学術研究団体でもあるため、社会還元の視点を持ち、更なる学術活動の推進を目指す必要があると考えます。これらの活動を通じて会員の皆様にとって魅力ある学会と認知頂けるように努めていきます。

1. 教育研修部

部長 瀧 昌也

1) 教育研修部の役割

教育研修部の役割は、理学療法士講習会、県学会講習会・研修会を通して、会員の卒後教育、学術技能の向上、より専門性の高い認定・専門理学療法士の取得など会員のキャリア形成を支援するために学習機会を提供することである。

2) 2021～2023年度（令和3年度～令和5年度）の活動概要（表Ⅲ－1－1）

理学療法士講習会では、日本理学療法士協会主催の理学療法士講習会（基本編（理論、技術）・応用編）の開催申請受付を行っています。教育研修部は、愛知県で開催される理学療法士講習会（基本編・応用編）の申請を受付し、愛知県理学療法士会および愛知県理学療法学会の理事会にて承認審議を受けています。

県学会講習会は、愛知県士会会員より公募し、年間5回（1日）、理論、技術に関する講習会を開催者主体で企画、運営を行いました。広報は、県士会ホームページ、理学療法士協会ホームページに掲載され、理学療法士会員、他職種からの応募を募りました。

県学会研修会は、年3回（半日）を原則とし、広報は県士会ホームページ、理学療法士協会ホームページに掲載され、理学療法士会員、他職種からの応募を募りました。

3) 今後の課題

2021年度より教育部と研修部が統合し、新しく教育研修部として活動しました。会員の卒後教育、学術技能の向上を目的とし企画、運営しています。また、県学会講習会では、講習会事業のサポートを行い、開催者のスキルアップ向上に寄与しています。

時代の潮流に即した専門性の高い良質な情報を会員に提供できるよう、またこれらの事業を通して会員の皆様にとって魅力ある学会、魅力ある学術組織と認知いただけるよう努めていきます。

表Ⅲ－１－７ 教育研修部における2021～2023年度（令和3～令和5年度）の活動概要

2021年度（令和3年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法士講習会 <ul style="list-style-type: none"> (1)開催日：2021年（令和3年）6月4日 テーマ：「新生児期から赤ちゃんの発達と家族を支援するリハビリテーション」 講 師：神谷 猛（豊橋市民病院）など (2)開催日：2021年（令和3年）6月4日 テーマ：「脳卒中者の予後予測」 講 師：澤島 佑規（偕行会リハビリテーション病院）など (3)開催日：2021年（令和3年）8月7日 テーマ：「脊椎疾患の包括的な理学療法アプローチ」 講 師：竹中 裕人（あさひ病院）など (4)開催日：2022年（令和4年）2月16日 テーマ：「第4回産業保健理学療法 基礎講座（総論）」 講 師：加藤芳司（大同病院）など ・県学会研修会 <ul style="list-style-type: none"> (1)開催日：2021年（令和3年）6月27日 テーマ：「第1回研修会 大腿骨近位部骨折の高齢者に対するリハビリテーション キュアとケアの融合」 講 師：村上忠洋（城見整形外科クリニック） (2)開催日：2021年（令和3年）9月5日 テーマ：「第2回研修会 脳血管障害に対する理学療法評価と治療 ー急性期から回復期までー」 講 師：國枝洋太（順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター） 木村鷹介（関東学院大学） (3)開催日：2022年（令和4年）1月30日 テーマ：「第3回研修会 新人教育」 講 師：高木綾一（株式会社Work Shift） ・専門・認定理学療法士取得相談会 開催日：2022年（令和4年）4月23日、24日
2022年度（令和4年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・県学会講習会 <ul style="list-style-type: none"> (1)開催日：2021年（令和4年）7月10日 テーマ：「新生児期から赤ちゃんの発達と家族を支援するリハビリテーション」 講 師：神谷 猛（豊橋市民病院）など (2)開催日：2021年（令和4年）9月11日 テーマ：「脳卒中者の予後予測」 講 師：澤島 佑規（偕行会リハビリテーション病院）など (3)開催日：2021年（令和4年）11月6日 テーマ：「脊椎疾患の包括的な理学療法アプローチ」 講 師：竹中 裕人（あさひ病院）など ・理学療法士講習会 <ul style="list-style-type: none"> (1)開催日：2023年（令和5年）2月18日 テーマ：「第5回産業保健理学療法 基礎講座（総論）」 講 師：加藤芳司（大同病院）など ・県学会研修会 <ul style="list-style-type: none"> (1)開催日：2022年（令和4年）6月26日 テーマ：「理学療法におけるリスク管理の実践」 講 師：山上潤一（藤田医科大学病院） 河尻博幸（愛知医科大学病院） 鳥居 亮（中部リハビリテーション専門学校） (2)開催日：2022年（令和4年）10月2日 テーマ：「第2回研修会 整形外科疾患の画像所見」 講 師：浅野昭裕（中部学院大学） 熊谷國晃（三重厚生連松阪中央総合病院） (3)開催日：2023年（令和5年）2月12日 テーマ：「第3回研修会 脳血管疾患と循環器疾患の画像所見と応用について」 講 師：柴田賢一（名古屋ハートセンター） 澤島佑規（偕行会リハビリテーション病院）
2023年度（令和5年）	<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法士講習会 <ul style="list-style-type: none"> (1)開催日：2023年（令和5年）8月26日 テーマ：「新生児期から赤ちゃんの発達と家族を支援するリハビリテーション」 講 師：神谷 猛（豊橋市民病院）など (2)開催日：2023年（令和5年）9月3日 テーマ：「脳卒中者の予後予測」 講 師：澤島 佑規（偕行会リハビリテーション病院）など (3)開催日：2023年（令和5年）10月15日 テーマ：「脊椎疾患の包括的な理学療法アプローチ」 講 師：竹中 裕人（あさひ病院）など (4)開催日：2023年（令和5年）11月12日 テーマ：「若手理学療法士による疾患別呼吸理学療法オンラインセミナー」 講 師：柳田頼英（長崎大学）など (5)開催日：2024年（令和6年）3月10日 テーマ：「第6回産業保健理学療法 基礎講座」 講 師：加藤芳司（名古屋女子大学）など

2. 学術誌部

部長 越智 亮

1) 概要

学術誌編集部は、年2回のオープンアクセスジャーナル（以下、OAJ）愛知県理学療法学会誌の発行と愛知県理学療法学術大会の学会プログラム・抄録集の発行をしています。学会誌の論文は、各分野の専門家によるピアレビューが行われ、査読者とのやり取りや、論文を修正する過程を通して論文の質を高め、会員の学術研鑽となるように努めています。

学術誌部の目的を以下に記します。

- ①理学療法及び関連領域における研究報告・実践報告として公開の場を提供すること
- ②理学療法士の卒後継続教育の奨励（教育的な論文の掲載）
- ③理学療法の臨床・研究および教育に有益な社会的・学術的情報の提供

2) 活動内容

(1)論文査読活動

学術誌部は現在、部長1名、副部長1名、部員8名で運営をしています。各部員はそれぞれ専門分野を持ち、新規投稿論文の内容に応じてピアレビューを行います。投稿論文の専門内容や、部員の査読論文数等の状況に応じて部員外の先生に査読をお願いすることもあります。

査読に関しては、論文投稿が初めての方も多く、慣れない論文執筆作業のため査読員からの指摘が多く、その後の修正に苦慮したり時間を多く要したりすることもあります。査読者や学術誌部からの著者へのコメントは批判的意見よりも建設的な意見を中心とした教育的配慮を加え、具体的に指示をするようにしています。

(2)愛知県理学療法学会誌の刊行

年度毎に研究報告、症例報告、短報、総説を数編、そして寄稿を1編掲載してOAJとしています（表Ⅲ－2－1）。また、第30回、第31回の愛知県理学療法学術大会の学会プログラム集・抄録集を大会特別号として掲載しています。

例年、愛知県理学療法学術大会において座長推薦による学術大会賞のノミネート演題を本学会誌に論文投稿して頂いており、同論文の中から大会賞が選抜され、各巻2号の巻頭論文に大会受賞論文として掲載されています。

2022年4月1日から開始された、日本理学療法士協会が指定する論文・著作の業績申請において、愛知県理学療法学会誌掲載論文が申請対象となるよう学術誌部で取り組んで参りました。現在、愛知県理学療法学会誌は日本理学療法士協会に論文・著作として申請できる論文の対象になっています。申請手続きに必要な事項を満たすため、2022年の第34巻1号から、論文掲載日が追加されるようになりました。

3) 今後の課題

2022年の第34巻1号から日本理学療法士協会の指定する論文・著作の業績申請の対象論文となってから、さらに新規投稿論文も増えて参りました。投稿論文の査読に関しては、複数回の査読を行い、論文の質を担保できるように心がけていますが、投稿論文数が増えることで掲載論文の質の低下が懸念されるかもしれません。

本学会誌が持つ教育的な観点からの論文掲載という目的を損なうことがないように努めて参ります。ただし、これまでに、報告されたデータの信頼性が著しく低いと思われる内容、あるいは症例報告においても愛知県理学療法学会誌の主な読者である県内理学療法士にとって有益になりにくいと判断される内容については、編集部からの理由を添えた上で「不採用」の判定をすることもありました。

また今回、研究局研究者育成開発部との連携事業として、研究論文・症例報告の執筆方法と愛知県理学療法学会誌への論文投稿の方法を紹介する「愛知県理学療法学会誌論文投稿のすすめ ～規定には書けない論文投稿のマナー～」と題した講演を学術誌部で実施しました。今後も愛知県理学療法学会誌の発展につながるよう、研修事業にも力を入れて取り組んでいきたいと考えています。

表Ⅲ－２－１ 掲載論文内訳（過去3年間、抄録集を除く）

	研究報告	症例報告	総説・寄稿
		短報・その他	
2021年度	11	7	1
2022年度	8	2	1
2023年度	10	11	1
計	29	20	3

1) 概要（紹介）

愛知県理学療法士学会研究局は、県内理学療法士の研究活動を推進し、科学的根拠（エビデンス）の構築を通じて地域医療および福祉の向上に寄与することを目的として活動しています。研究局は2つの事業部、「研究推進事業部」と「研究事業部」から構成され、それぞれの専門性を活かして研究者の育成、研究支援、エビデンス構築に取り組んでいます。

研究推進事業部は、理学療法士の研究能力向上を目的とした助成制度や研修事業を展開し、研究者の育成に注力しています。一方、研究事業部は、地域課題に即した重点的な研究を学会主導で進め、理学療法士の役割拡大を目指した活動を行っています。この2つの事業部が相互に連携し、愛知県理学療法士学会全体の研究活動を支えています。

2) 活動内容

(1)研究推進事業部の取り組み

①研究推進助成事業

公募制により研究者を募り、1年間で完結する研究に助成金を交付しています。2022年度採択課題は、2024年度の愛知県理学療法学術大会で発表され、論文化も進められました。この助成事業は、県内理学療法士の研究基盤強化に大きく寄与しています。

②研究基礎研修事業

平日夜間にWeb形式で研究基礎知識を学ぶ研修会を実施しました。2023年度には200名を超える参加者が集まり、会員の研究に対する関心の高さが示されました。参加者の声を反映し、実践的でニーズに応じた内容の提供を続けています。

③大学院連携事業と研究相談事業

学術大会の場を活用して大学院担当者と会員の面談機会を提供するほか、研究に関する疑問や課題について専門家が直接相談に応じる事業を展開しました。

④情報発信

学会ホームページに「理学療法研究を学べる大学院紹介」ページを設置し、会員が大学院情報に容易にアクセスできるよう取り組んでいます。

(2)研究事業部の取り組み

①特別指定研究推進事業

愛知県理学療法士学会として取り組むべき研究を厳選し、公募制で研究課題を募集しています。本事業は以下の2種類で構成されています。

- ・多施設連携臨床研究事業：県内施設間の連携を促進し、研究活動の活性化を図る。
- ・状況対応型臨床研究事業：COVID-19、医療・介護連携、リハビリ日数制限などの状

況に応じた研究課題を実施。

2022年度採択課題は、第32回愛知県理学療法学術大会での発表に加え、論文化も達成されました。

②循環器病対策研究の推進

「第2期愛知県循環器病対策推進計画」を背景に、循環器および神経領域のエビデンス構築に注力。理学療法士の介入が健康寿命延伸や循環器病の死亡率減少に寄与することを目指しています。

③新規事業の立案

循環器病に続く研究テーマの検討に向けて、パブリックコメント制度を活用し、広く会員の意見を収集する取り組みを計画しています。また、会員内研究者データベースの構築も進行中です。

3) 今後の課題

(1)研究推進事業部の課題

助成金応募者が特定の施設に偏る現状を改善するため、広報活動を強化し、県内会員全体への情報周知を徹底する必要があります。SNSやメール配信など多様な手段を活用して、応募数の増加を目指します。

研修会の参加予約数は多いものの、当日参加率の低下が課題です。平日夜間開催のメリットを活かしつつ、参加しやすい仕組み作りを進めます。

研究相談事業および大学院連携事業では当日相談が多い現状があり、広報方法の改善が求められます。

「理学療法研究を学べる大学院紹介」ページのアクセス数が低調であり、情報発信方法の再検討が求められます。SNSやメール配信を活用し、会員への積極的なアプローチを行う必要を感じています。

(2)研究事業部の課題

2024年度は特別指定研究推進事業への応募がなく、事業実施に至らなかったため、事業方針の再検討が必要です。特に、「循環器病対策研究」を新規事業として立案し、県内理学療法士による重点的なエビデンス構築を推進します。

おわりに

研究局は、2つの事業部の活動を通じて、理学療法の科学的根拠構築と地域課題への対応を推進しています。今後も、愛知県会員の研究活動を支援し、理学療法の質の向上に貢献することを目指します。引き続き、会員の皆様と共に、理学療法の未来を切り拓いていきます。

1. 研究者育成開発部

部長 会津 直樹

1) 活動状況

研究者育成開発部では、愛知県の理学療法士会員に対して研究者への育成を図る目的に活動しています。主な事業としては、(1)研究者に対して助成金を交付し、研究推進を支援する研究推進助成事業、(2)研究に関する基礎的な内容を学ぶ研修会を実施する研究基礎研修事業、(3)大学院進学を考える際の相談会を開催する大学院連携事業、(4)研究における疑問を相談によって解決する研究推進相談事業を実施しています。

(1)研究推進助成事業

研究推進助成で公募する研究期間は1年（4月1日～翌年度3月31日）です。具体的には、前年度7月～9月に公募を開始し、研究目的、方法等を記載する調書を受付ます。受け付けた調書は、愛知県理学療法士学会に所属する審査委員による厳正な審査（1つの調書につき審査員3名）を受け、審査結果は3月頃に公表されます。採択された研究課題は、1年間の研究実施後に報告書が提出され、本会ホームページにて公開されます。また、翌年度の愛知県理学療法学会学術大会にて口述発表を行なってもらっています。2022年度に採択された課題は2024年度の第32回愛知県理学療法学術大会において「研究局セッション」として、助成研究は、論文化されており、本事業が愛知県における理学療法研究を推進し始めていることを実感しています。

(2)研究基礎研究事業

本事業では、研究に関する基礎的な研修に参加し易い時間を考慮し、平日の業務終了後の時間帯にオンライン形式にて実施しています。2022年度から開始されたこの事業は2022年度では参加者数が100名を超え、2023年度では200名を超え、会員のニーズにあった研修会が実施できています。毎回、研修会後に参加者よりアンケートを取得し、講習会内容のニーズや自施設における研究環境についての情報を得るようにし、集計結果を基に次の研修会の内容を決定するようにしています。会員が抱える研究に関する悩みを解決できるように研修会企画を考えて実施しています。

(3)大学院進学を考える際の相談会事業として大学院連携事業

愛知県理学療法学術大会の会場の一角を借用し、愛知県下の理学療法を学べる大学院の担当者が来場者と直接面談を行い、大学院の紹介・相談を行うスペースを設けています。参加校は、星城大学、中部大学、豊橋創造大学、名古屋大学、藤田医科大学（五十音順）です。愛知県の医療施設で働く会員が、学べる環境を直接担当者に聞ける機会は他になく、さらに、希望する研究を学べる最適な環境を比較することもできます。

(4)研究相談事業

愛知県理学療法学術大会会場の一角を借用し、研究における疑問を研究者育成開発部部

員が直接気軽に相談できる事業を実施しています。相談者には、「研究実施において疑問点があるけれど、どこに相談すれば良いのかわからない。」といった声や「研究データを取得しているがどのような統計を行ったら良いのか」といった具体的な内容も含まれます。相談内容は、相談前に秘匿することを誓約し、研究アイデアが漏洩しないように留意しています。

他にも、愛知県理学療法学会のホームページに「理学療法研究を学べる大学院紹介」サイトとして、愛知県下で理学療法を学べる大学院（星城大学、中部大学、豊橋創造大学、名古屋大学、藤田医科大学）のホームページに簡単にアクセスできるようにページの管理を行っています。

2) 今後の課題

研究推進助成事業では応募施設の偏りが認められており、今後、メールやSNSを用いて広く情報を発信し、愛知県の会員に広く周知し、応募数を増やしていきたいと考えていきます。採択者数を増すことができれば愛知県の研究の更なる推進に繋がると考えています。

研究に関する基礎研修会は平日の業務後の時間帯を設定しているため、参加者が予約数よりも大幅に減る現象が認められています。要因として、平日業務の延長や参加費が無料のための予約の気軽さ等が挙げられています。参加者から得た参加後アンケートでは、休日よりも平日夜間の講習会の方が参加しやすいという結果を得ています。当日の不参加は認められていますが、参加者数が100名を超えていることから平日の業務後の開催含めて開催時間の検討をする余地があると考えています。

大学院及び研究相談事業については、両者とも事前予約制で実施していますが、当日予約なしでの相談者が多いことです。相談事業についての情報発信をメールやSNSを用いて継続的に発信していきます。加えて、気軽に相談できる環境を作ることも意識しています。大学院側からは「大学院の広報をする場がないため、この場は貴重な機会である」との発言があります。

「理学療法研究を学べる大学院紹介」サイトはアクセス数が少なく、会員に向けたメール配信に紹介を行ってもアクセス数が伸びていません。情報発信方法について検討する余地があると考えています。

表Ⅳ－１－１ 研究基礎研修事業

		開催日	テーマ	講師	参加者数
2022年度	第1回	8月28日	研究に一步踏み出すためのセミナー	石田 和人（名古屋女子大学）、村上 忠洋（大同病院）	会員 121名
	第2回	12月13日	規定には書けない論文投稿のマナー	越智 亮（星城大学）	会員 112名
2023年度	第1回	8月7日	シングルケースデザインの基礎	久保田 雅史（金沢大学）	会員 202名
	第2回	10月11日	シングルケースデザインの解析方法	久保田 雅史（金沢大学）	会員 233名

* 研究に関する基礎研修会は2022年度から開始された事業のため2021年度は行われていない。

表Ⅳ－１－２ 2021-2023年度 研究推進助成事業採択研究一覧

2021年度	氏名	所属施設	交付額(円)	研究タイトル
	丹 洸貴	西澤整形外科クリニック・藤田医科大学大学院	100,000	脊髄損傷者用歩行補助ロボットの適切な足底接地時期の指標化に関する予備的検討
	平野 航士	いえだ整形外科リハビリクリニック	50,000	結帯動作時の肩甲上腕関節と肩甲胸郭関節の関係性について－治療戦略の基礎的データの構築－
	竹中 裕人	あさひ病院	49,000	腱板断裂症例に対する新たな肩外転筋力テストの考案
2022年度	氏名	所属施設	交付額(円)	研究タイトル
研究推進助成	田中 伸弥	名古屋大学医学部附属病院リハビリテーション部	300,000	人工股関節全置換術患者の術前サルコペニア重症度と臨床転帰に関する研究
研究スタートアップ助成	伊藤 翔太	藤田医科大学病院リハビリテーション部	100,000	痙縮評価機器の神経生理学的妥当性の検証と抗痙縮薬の効果判定への応用
	今井 皓大	おがわ整形外科リハビリテーション部	20,000	高校硬式野球部における体幹筋力の腹圧の変化、静的・動的姿勢安定性への関与、またそれらの野球パフォーマンスへの影響の検討
	井澤 翔	藤田医科大学大学院保健学研究科	100,000	老化促進マウスを用いた振盪運動による海馬シナプス長期増強の可能性
2023年度	氏名	所属施設	交付額(円)	研究タイトル
研究推進助成	西田 崇人	愛知県済生会リハビリテーション病院リハビリテーション科	235,000	大腿骨転子部骨折患者における小転子転位が股関節屈曲筋力の回復に与える影響
	井澤 翔	藤田医科大学大学院	300,000	運動の種類の違いによる認知機能低下の予防効果～PGC1- α /FNDC5/irisin/BDNF経路に基づいて～
研究スタートアップ助成	夏目 健太郎	名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻	100,000	赤外線カメラを用いた三次元画像から算出した脊椎矢状面アライメントの妥当性の検証

* 2022年度から「研究推進助成」と「研究スタートアップ助成」という申請枠が新たに設置された。

2. 研究事業部

部長 長谷川 隆史

1) 活動状況

研究事業部は、愛知県理学療法学会として取り組むべき研究推進事業を公募により実施し、愛知県における学術研究の発展と医療・福祉の向上に貢献する特別指定研究推進事業に取り組んできました。

特別指定研究推進事業は以下の2種類があります。

- ①多施設連携臨床研究事業：県内の他施設連携を推進し、愛知県における研究活動を活性化するための事業
- ②状況対応型臨床研究事業：COVID-19、医療・介護連携、リハビリ日数制限など、昨今の状況を鑑みた愛知県理学療法学会として取り組むべき事業

両事業とも、愛知県の理学療法士会員から研究課題を公募し、県内の研究実績豊富な3名の審査委員による厳正な審査により採否を決定します。採択課題には研究事業部が必要に応じて実施をサポートします。研究費は①が1課題につき最大60万円、②が最大30万円です。

2022年度採択課題は2024年度の第32回愛知県理学療法学会において「研究局セッション」として発表され、会員への広範な情報発信を実現しました。また、論文化も達成され、理学療法研究の推進が確認されています。

2) 今後の課題

2022年度、2023年度は公募により事業を実施しましたが、2024年度は応募がなく実施できていません。応募件数が期待値を下回っており、事業方針の見直しが必要な状況にあります。

研究事業部は設立趣旨である「愛知県の理学療法士にとって有益なエビデンスの構築」に立ち返り、重点的に取り組むべき研究課題の再検討を行っています。特に、第2期愛知県循環器病対策推進計画において理学療法士によるエビデンスが不足しており、循環器領域と神経領域における理学療法士によるエビデンス構築が急務となっています。

このため、関係各位との協議を踏まえ、「愛知県の循環器病に関連する循環器領域と神経領域の理学療法士によるエビデンス構築推進事業」を新規事業として立案・実施することを検討しています。

今後は、循環器に続くテーマについて愛知県理学療法士会との合同理事会で検討課題の情報共有を図るとともに、会員を対象としたパブリックコメントの実施も検討します。また、愛知県理学療法士会・愛知県理学療法学会の事業等に活用するため、会員内研究者データベースの構築を進める必要があると考えています。

1) 概要

NPO組織・事業検討委員会は、NPO愛知県理学療法学会（本会）における定款・規定等の改定に関する事、組織編成に関する事、新規事業に関する事について、理事会にて新規あるいは継続審議となった課題等について理事会の指示により適時委員会を開催し、組織（部署）横断的に検討し意見を集約して、その結果を理事会に答申する役割があります。

2) 委員名簿（2023年5月～）

担当理事／委員長	上原 徹（NPO理事・公社名古屋支部長）
担当理事	小川智也（NPO副理事）
委 員	宮寄友和（公社理事・公社組織事業検討委員会委員長）
委 員	矢澤浩成（NPO学術大会部部長）
委 員	後藤亮吉（公社・NPO広報部部長）
委 員	伊藤直樹（公社・NPO情報管理部部長）

3) 活動内容

2023年11月16日（木）（Zoomによるオンライン会議）

参加者：担当理事/委員長 上原 徹、担当理事 小川智也、委員：宮寄友和、矢澤浩成、後藤亮吉、伊藤直樹

【議題1】学術大会運営に関する事項：学会長選考の方法

【議題2】NPO法人（士会含む）運営に関する事項：会員の減少および復会への対策

4) 今後の展望

会員数が6,000名近くとなった本会は、若手会員の比率の高い組織となりました。そのため、本会における様々な課題に若手会員の意見を取り入れることで新しい視点やアイデアが生まれ、組織内の多様性が向上する可能性が考えられます。今後は、委員会内に若手会員の意見が取り入れられるような仕組みづくりが必要になると考えています。

概要)

愛知県理学療法学会では功労賞・感謝状・各団体からの表彰者対象推薦者の選定を行っています。本会は日本学術会議協力団体に登録されており、こちらからの表彰推薦も行っております。2022年度に愛知県理学療法学会大会は30回に記念大会を開催し、これを記念しまして下記の方々を愛知県理学療法学会功労賞の表彰を行いました。

功労賞（順不同・敬称略）

米澤久幸 小林孝誌 森本和宏 岡西哲夫 八木幸一 飯田文彦 松野俊次 村上忠洋
森嶋直人 坂口勇人 小川智也 山田和政 細江浩典 肥田朋子 酒井元生 横地正裕
金井 章 小山 樹

第三部 会員の現状

I 目的

この調査は、公益社団法人愛知県理学療法士会（以下本会）に所属する理学療法士（以下会員）の現状について、会員のみならず地域住民並びに関係者の方々にも広く知っていただくため、本会が主催して行いました。

II 対象

調査対象は、2025年1月27日現在、本会に入会している理学療法士7,355人（休会含む）を対象としました。

III 方法

調査は公益社団法人日本理学療法士協会が所有する登録情報のうち、愛知県内の公益社団法人愛知県理学療法士会に所属する会員に関する情報を用いて行いました。なお個人情報の保護に関する法律（平成29年5月30日施行）に基づき、個人情報を特定できない様、匿名化してデータ抽出を行いました。

IV 調査項目

会員属性として会員数、会員所属先、年代別会員数（男女別）、資格取得後年数、二次医療圏別会員数、市町村別会員数を、所属機関の状況として会員数別施設数、所属機関別の会員数および施設数を、会員の生涯教育状況として最終学歴別会員数、公益社団法人日本理学療法士協会主催の登録理学療法士取得状況、認定理学療法士取得状況、専門理学療法士取得状況を調査しました。

1. 会員属性

1) 会員数

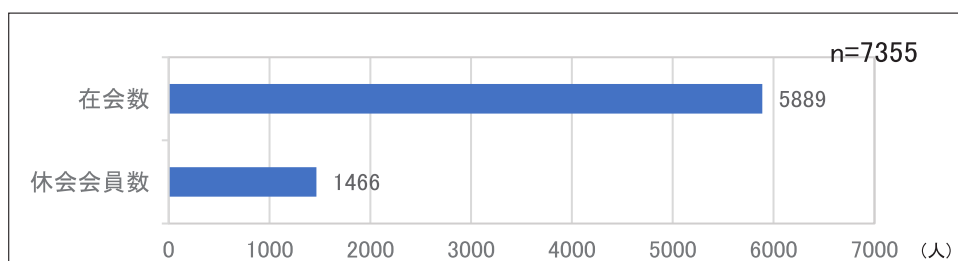


図1 会員数

2) 会員所属先

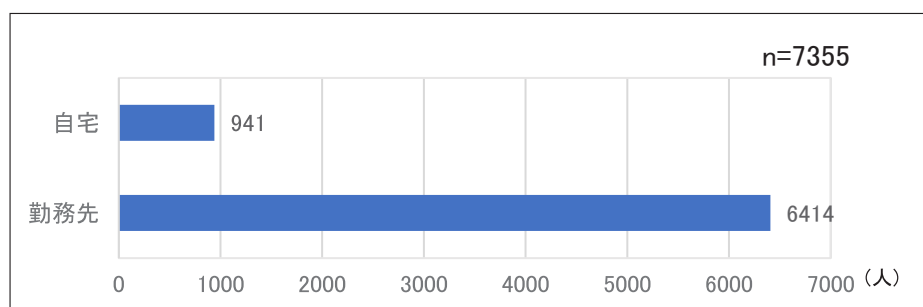


図2 会員所属先

3) 年代別会員数

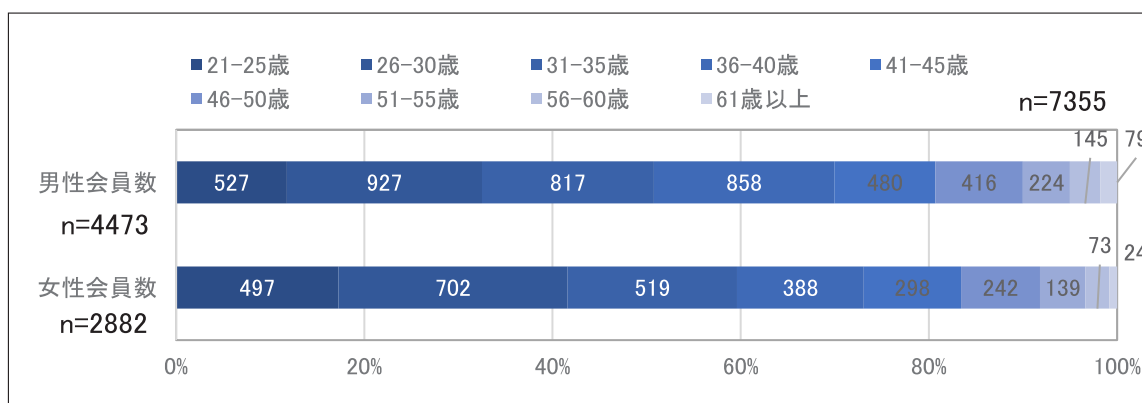


図3 年代別会員数 (男女別)

4) 資格取得後年数割合

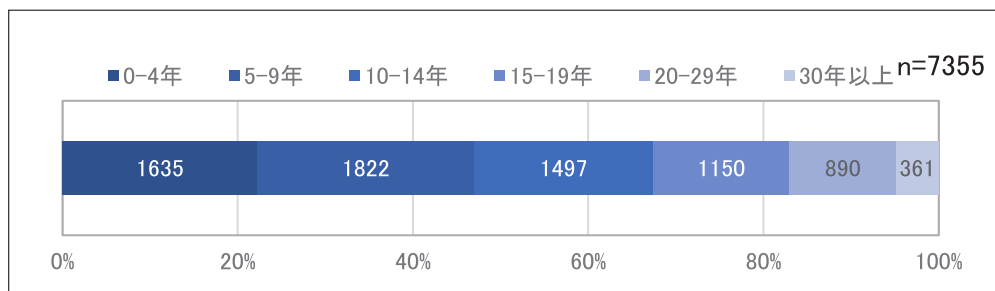


図4 資格取得後年数割合

5) 二次医療圏別会員数

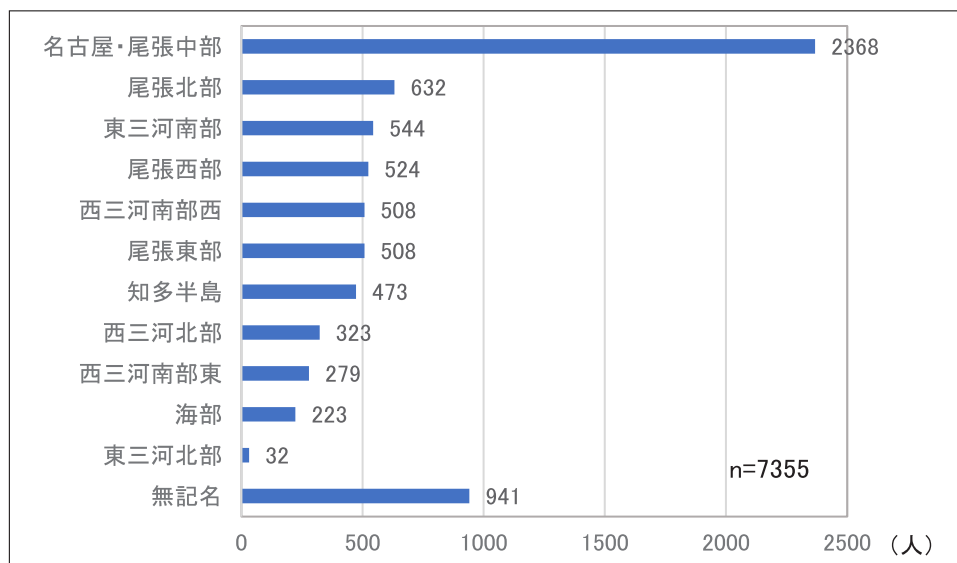


図5 二次医療圏別会員数

6) 市区町村別会員数

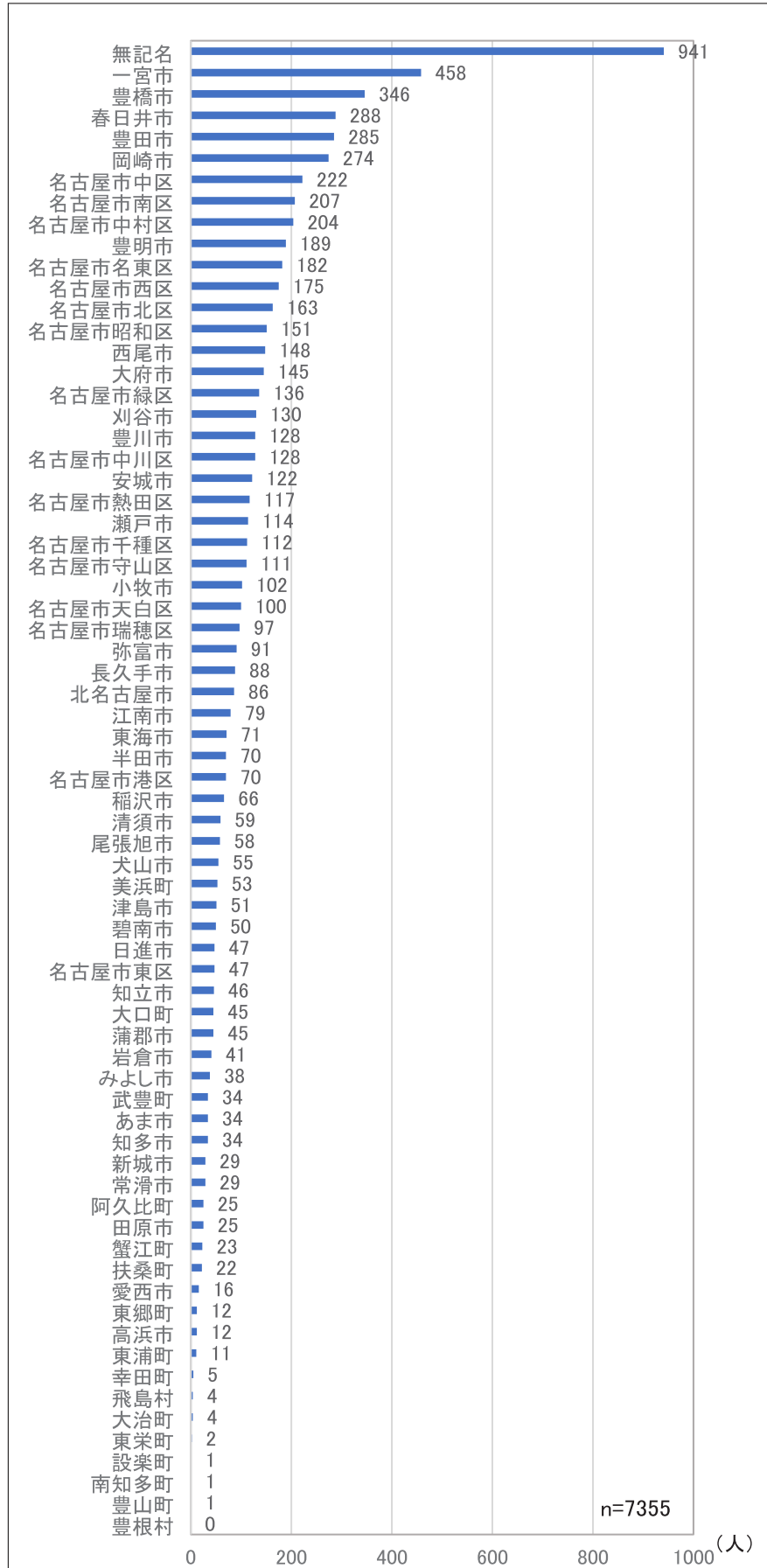


図6 市区町村別会員数

2. 所属機関の状況

(注：会員数は会員個人が主となる施設を登録し、施設数は施設代表者がすべての施設を登録するため、会員数より施設数が多くなる場合があります)

1) 会員数別施設数

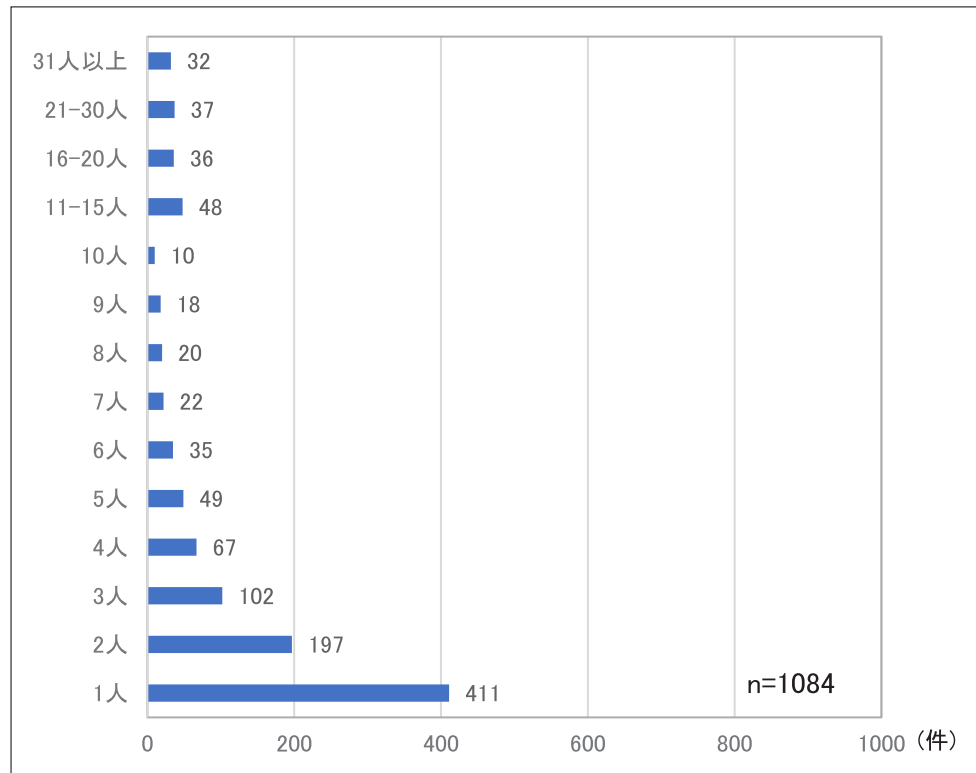


図7 会員数別施設数

2) 所属機関別会員数および施設数 (医療施設 病院)

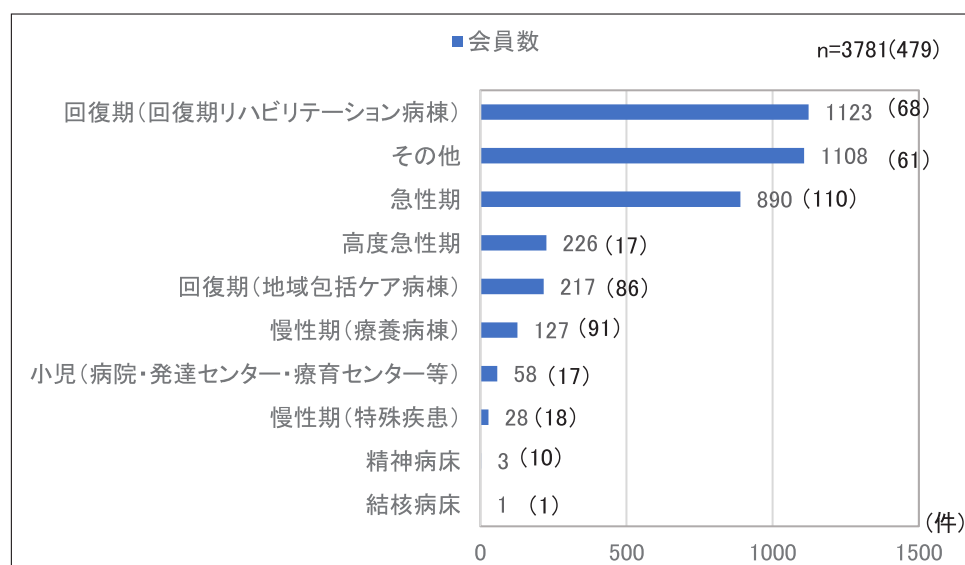


図8 所属機関別会員数および施設数 (医療機関 病院)

3) 所属機関別会員数および施設数（医療機関 診療所）

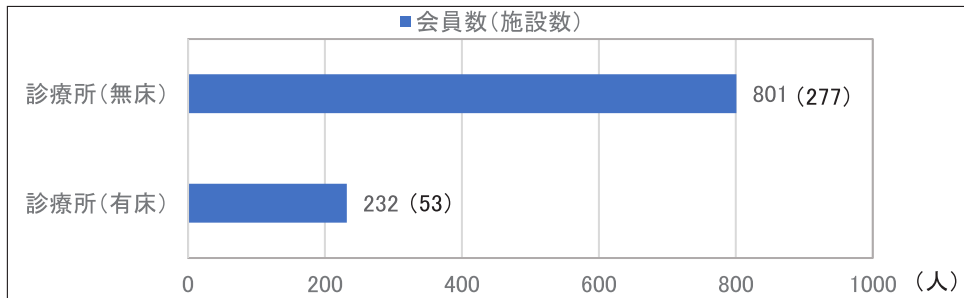


図9 所属機関別会員数および施設数（医療機関 診療所）

4) 所属機関別会員数および施設数（介護施設等）

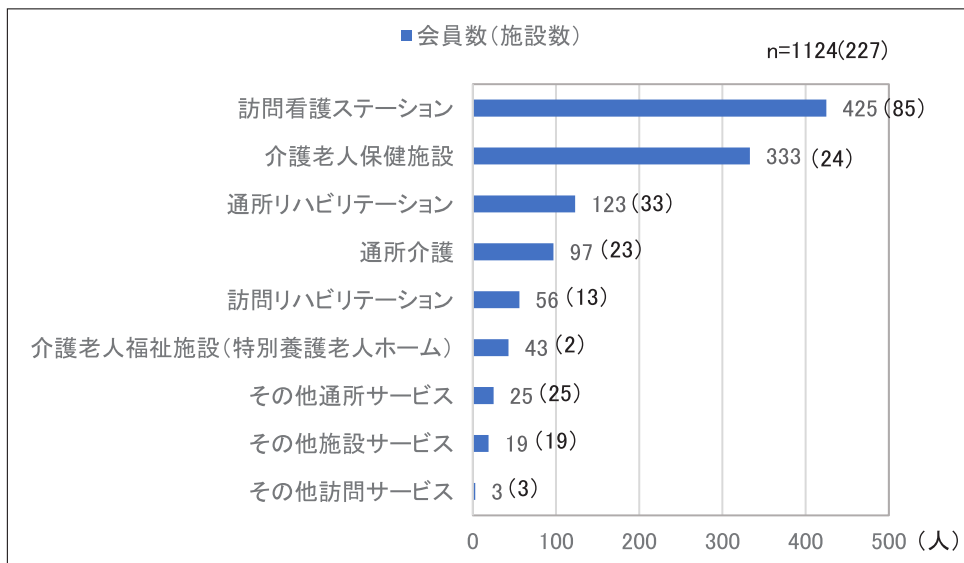


図10 所属機関別会員数および施設数（介護施設等）

5) 所属機関別会員数および施設数（養成校および研究施設）

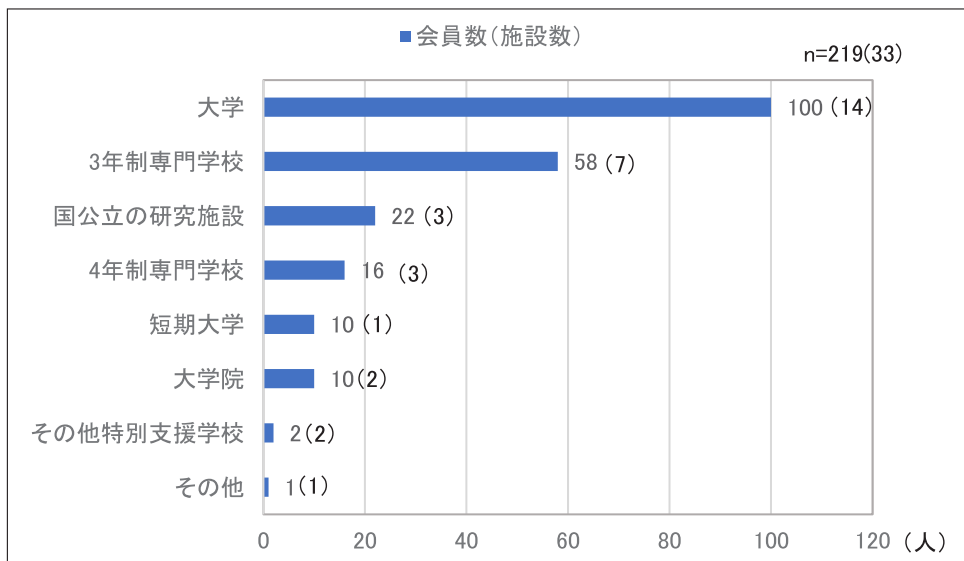


図11 所属機関別会員数および施設数（養成校および研究施設）

6) 所属機関別会員数および施設数（障がい者施設等）

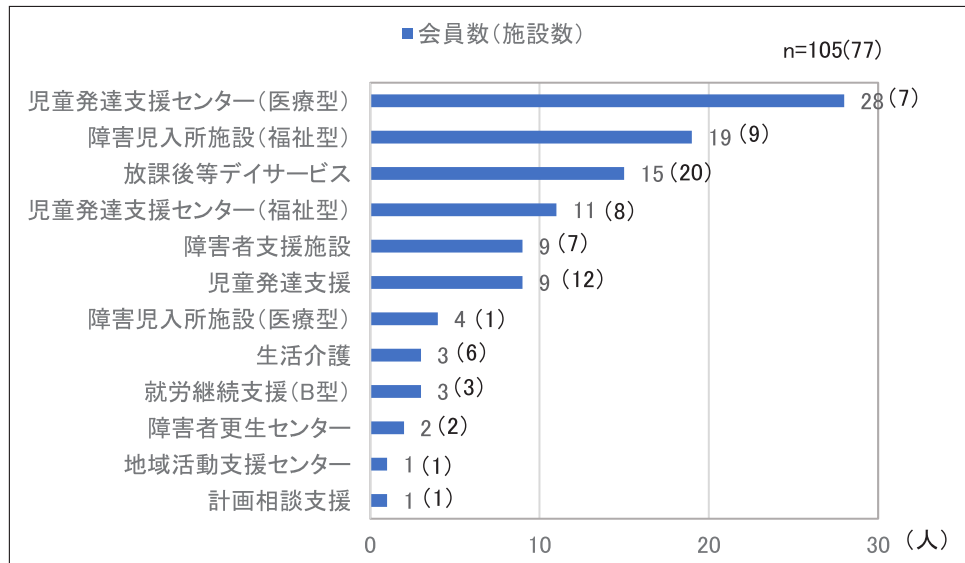


図12 所属機関別会員数および施設数（障がい者施設等）

3. 会員における生涯教育の状況

1) 最終学歴別会員数

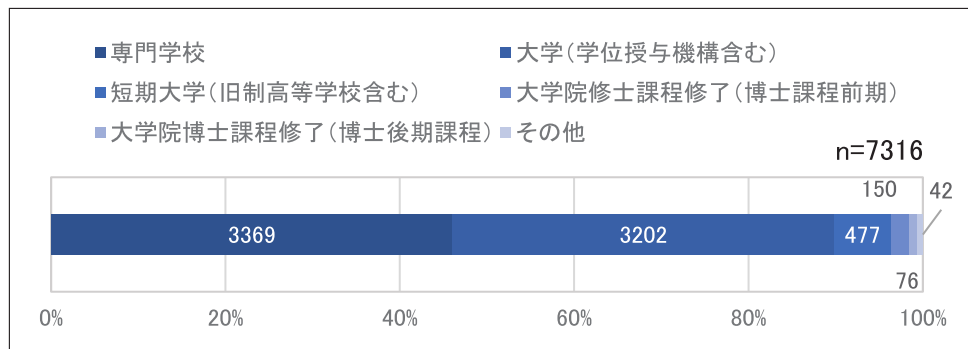


図13 最終学歴別会員数

2) 登録理学療法士履修状況

（注：登録理学療法士の初回更新が2027年のため、後期研修修了者数と登録理学療法士数が一致します。）

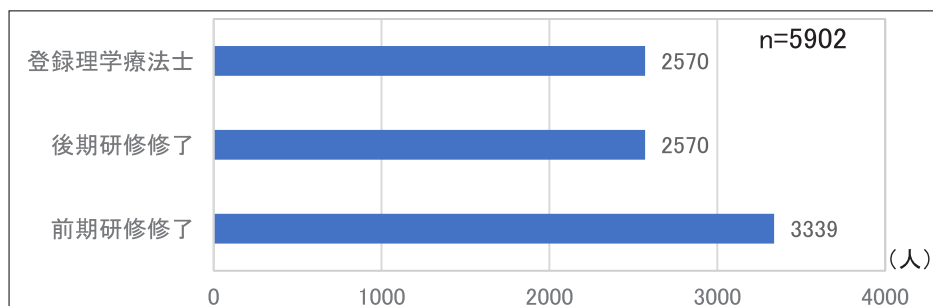


図14 登録理学療法士履修状況

3) 認定理学療法士所得者数

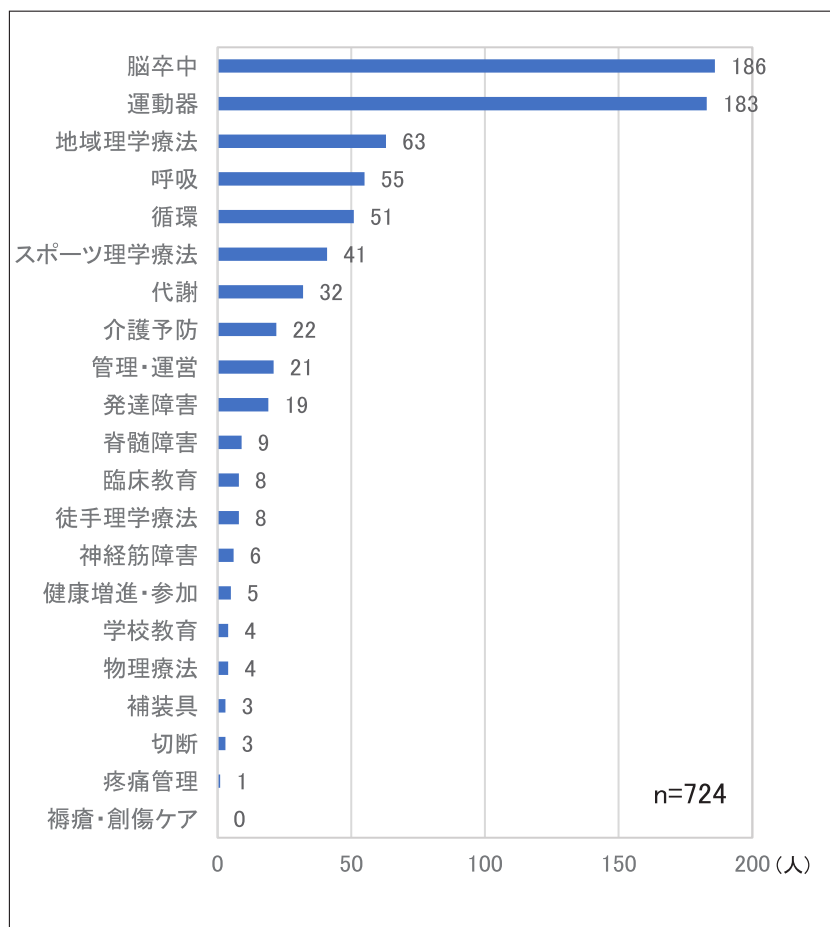


図15 認定理学療法士所得者数

4) 専門理学療法士所得者数

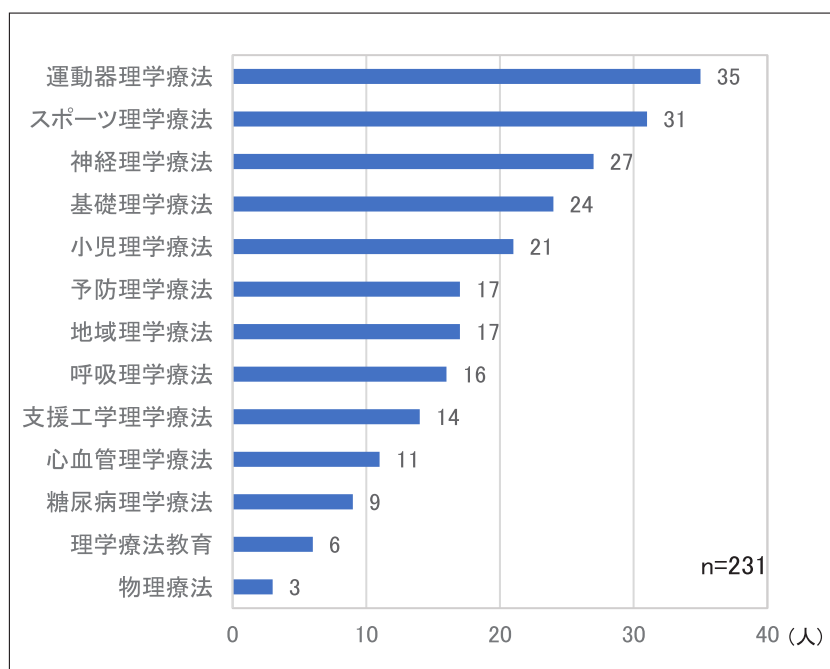


図16 専門理学療法士所得者数

第四部 医療・介護におけるリハビリテーションの 現状と課題

I 目的

このアンケートは、公益社団法人愛知県理学療法士会（以下本会）の会員が、どのような施設で、どのような活動を行っているのかについて、会員のみならず地域住民ならびに関係者各所にも広く知っていただくことを目的に本会が主催して行いました。施設の状況や県内の理学療法サービスの分布、会員によって行われている地域住民に対する活動状況などについてWebアンケート形式で調査しました。

II 対象と方法

調査対象は、2024年11月1日現在、本会に所属している1085施設とし、2024年12月9日から2025年1月20日までの間にWebアンケート形式の調査を行いました。施設ごとにID、パスワードを付与することによって、情報セキュリティの保全を心がけました。集計はそれぞれの質問に対し、有効な回答のみを抽出しました。アンケート内容の詳細はV資料の1.アンケートサイトをご参照ください。なお、Webアンケートの作成、維持・管理、集計は株式会社Volitionに委託しました。

III 調査項目

調査項目は、前回発行した愛知県理学療法白書2021(2022年発行)より引用改編しました。「診療報酬、介護報酬に関する状況」として、医療機関においては、リハビリテーションの実施内容、対応している疾患、提供体制、取得している施設基準、職場環境などを調査しました。介護保険施設においては、その規模やサービス提供時間、LIFE（科学介護情報システム）導入状況などを調査しました。また「地域包括ケアシステムに関する状況」や「理学療法士の養成と教育」、「新型コロナウイルス感染症による影響」についても調査を行いました。

IV 結果

(1)回収率

474施設から回答があり、回収率は43.7%でした。

(2)回答結果

各設問に対する回答結果をグラフにて示します。

I. 診療報酬、介護報酬に関する状況－算定している項目、施設基準等の実施状況
【全体】

1. 貴施設（事業所単位で）の実施内容で該当するものすべてを選んでください。

1) 病院または診療所

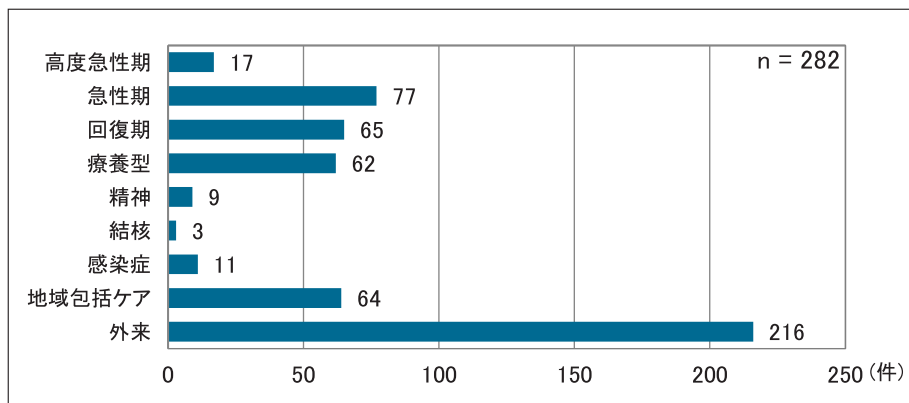


図1

2) 介護保険事業

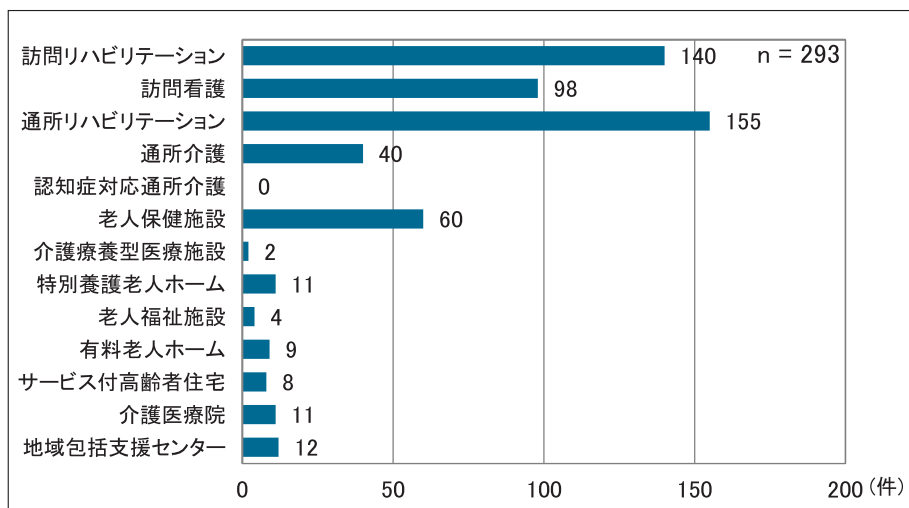


図2

3) その他

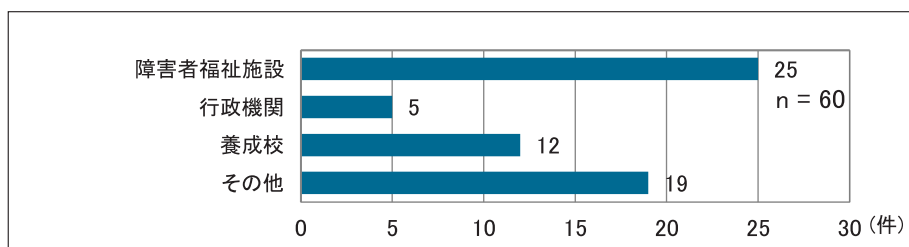


図3

2. 貴施設の対応している疾患に該当するものをすべて選んでください。

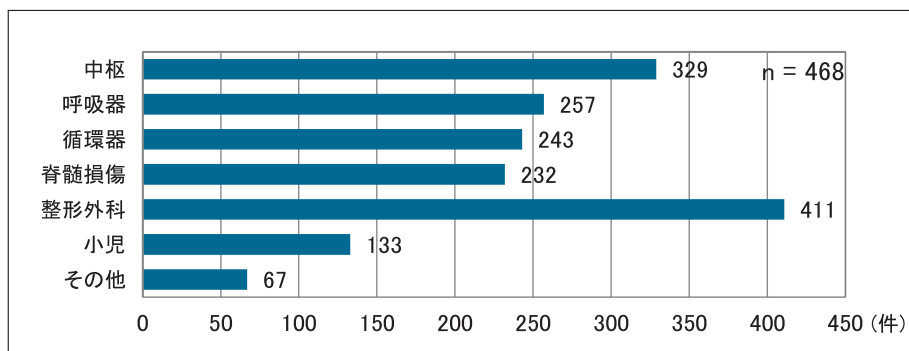


図4

3. 貴施設での提供体制で該当するものをすべて選んでください。

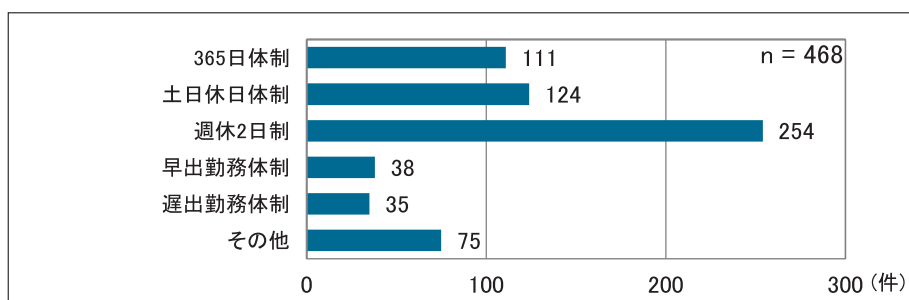


図5

4-1. 貴施設は、女性が育児休業をとりやすい環境だと思いますか。

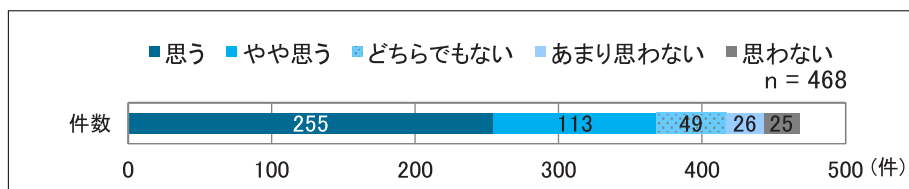


図6

4-2. 貴施設は、女性が育児休業取得後に復帰しやすい環境だと思いますか。

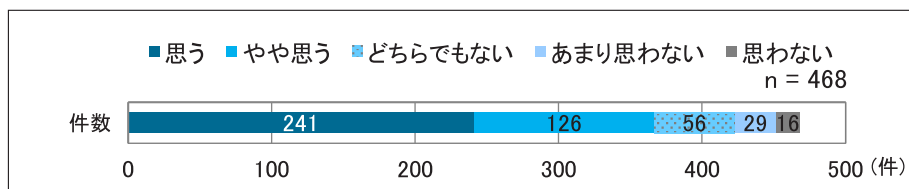


図7

4-3. 貴施設は、男性が育児休業をとりやすい環境だと思いますか。

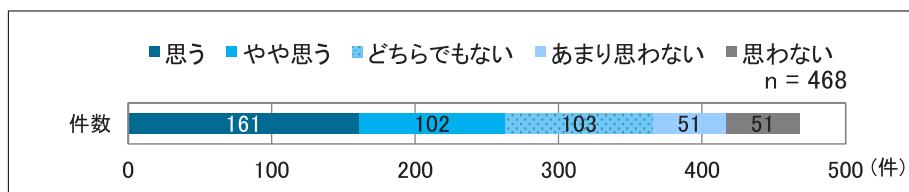


図8

4-4. 貴施設は、男性が育児休業取得後に復帰しやすい環境だと思いますか。

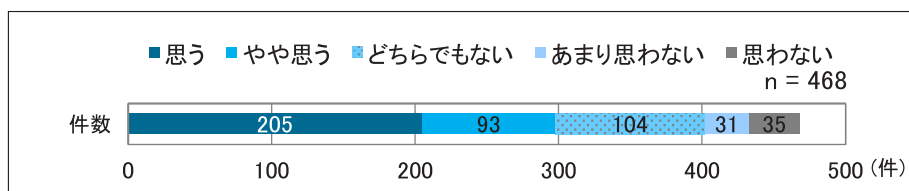


図9

【病院・施設】

1. 貴施設が取得している施設基準・病棟基準について、該当するものをすべて選んでください。

1) 入院基本料・特定入院料

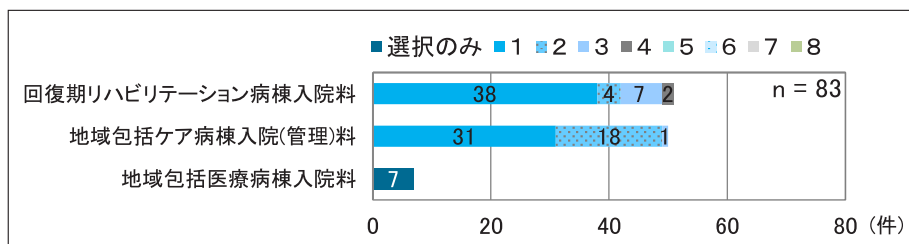


図10

2) 施設基準

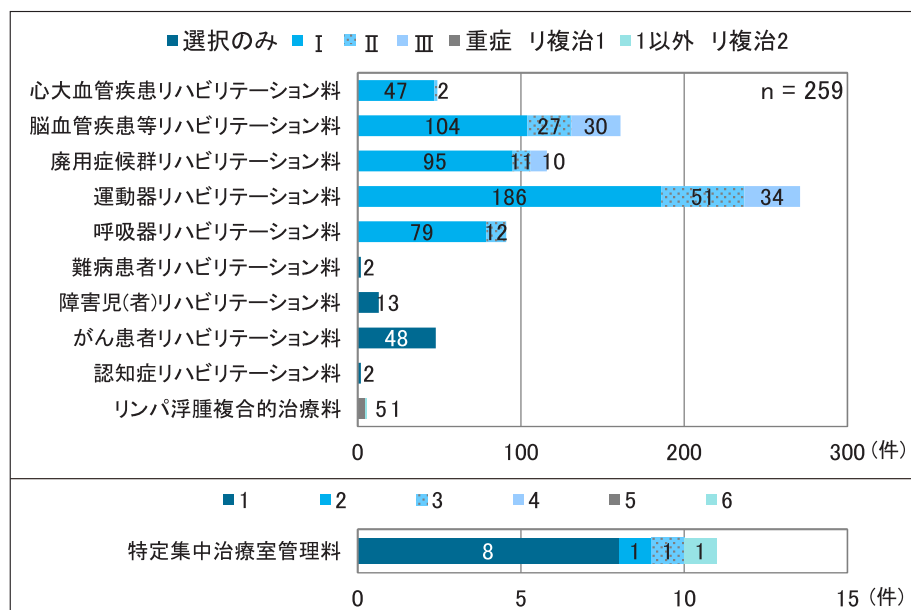


図11

2. 加算状況について、貴施設で算定している加算をすべて選んでください。

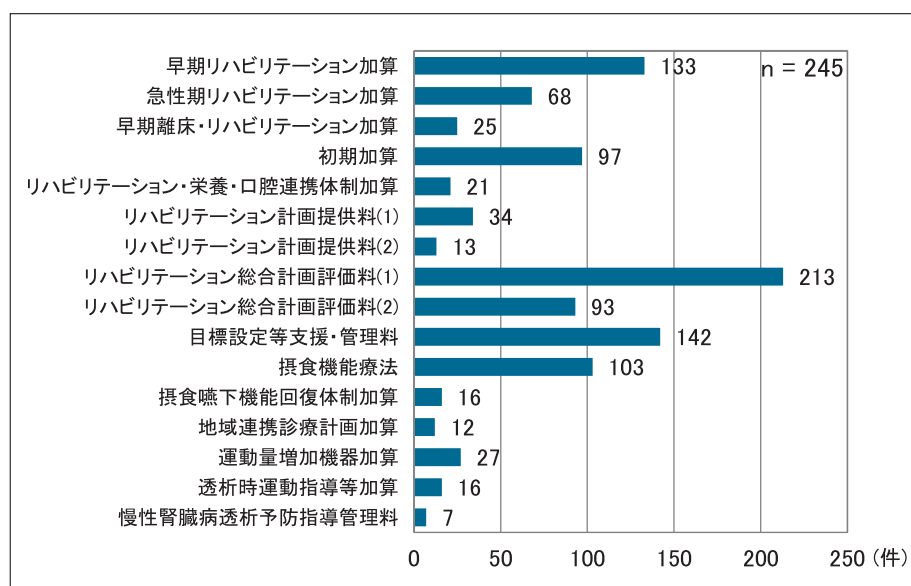


図12

【訪問リハビリテーション】

1. 貴施設の加算・減算の状況について、該当するものをすべて選んでください。

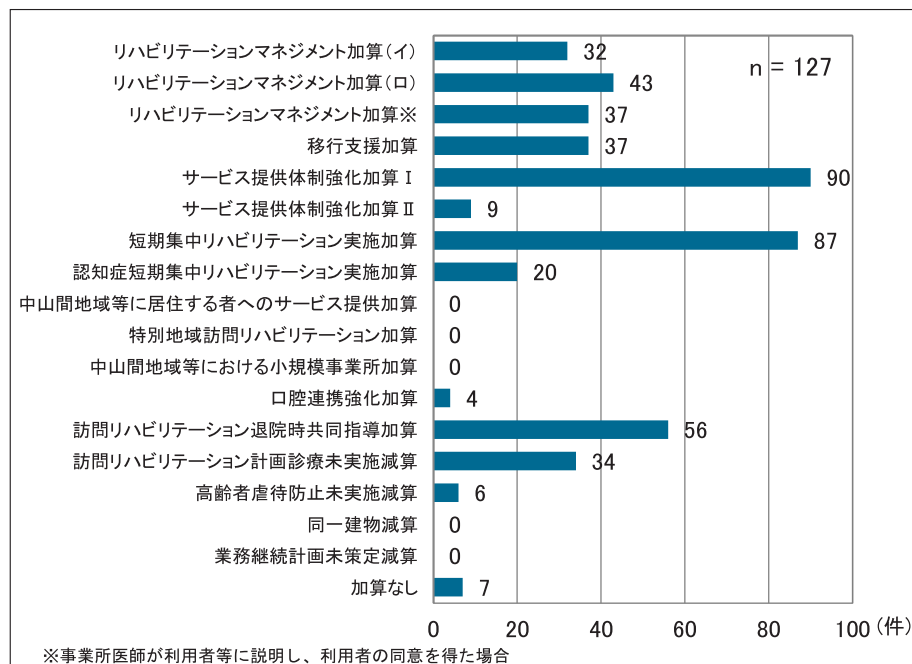


図13

2. 貴施設ではLIFE（科学的介護情報システム）を導入していますか。

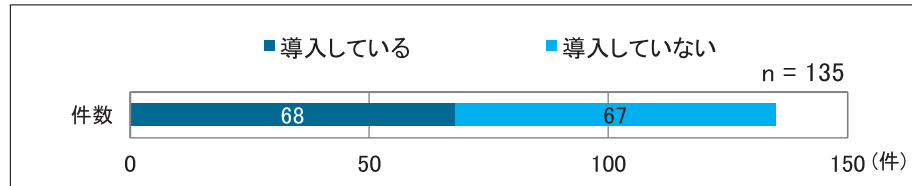


図14

【訪問看護Ⅰ5（訪問看護ステーションからのリハビリテーション）】

1. 貴施設の加算・減算の状況について、該当するものをすべて選んでください。

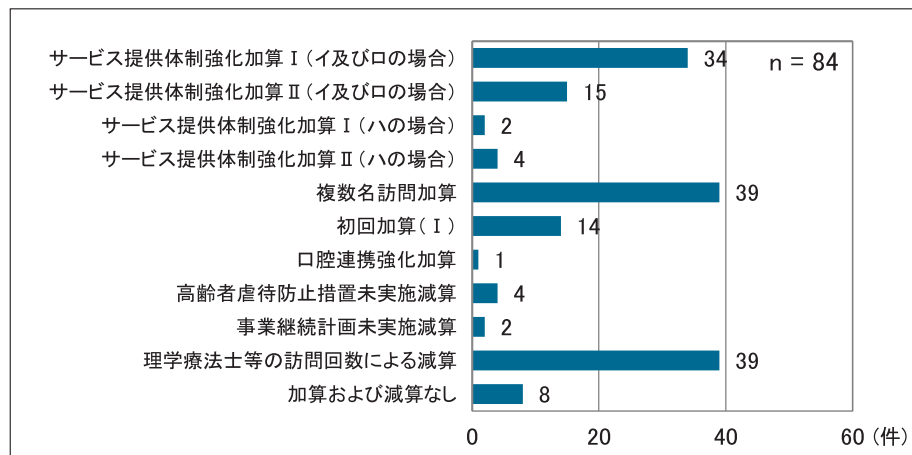


図15

2. 貴施設ではLIFE（科学的介護情報システム）を導入していますか。

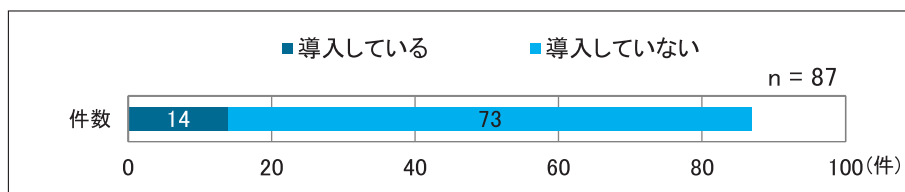


図16

【通所リハビリテーション】

1. 施設の規模について、該当するものを一つ選んでください。

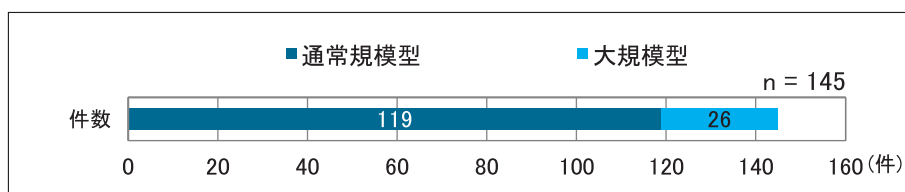


図17

2. 貴施設のサービス提供時間について、該当するものをすべて選んでください。

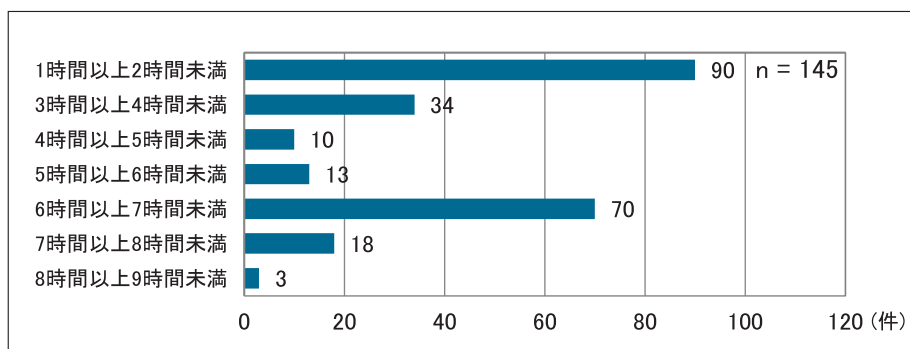


図18

3. 貴施設の加算・減算の状況について、該当するものをすべて選んでください。

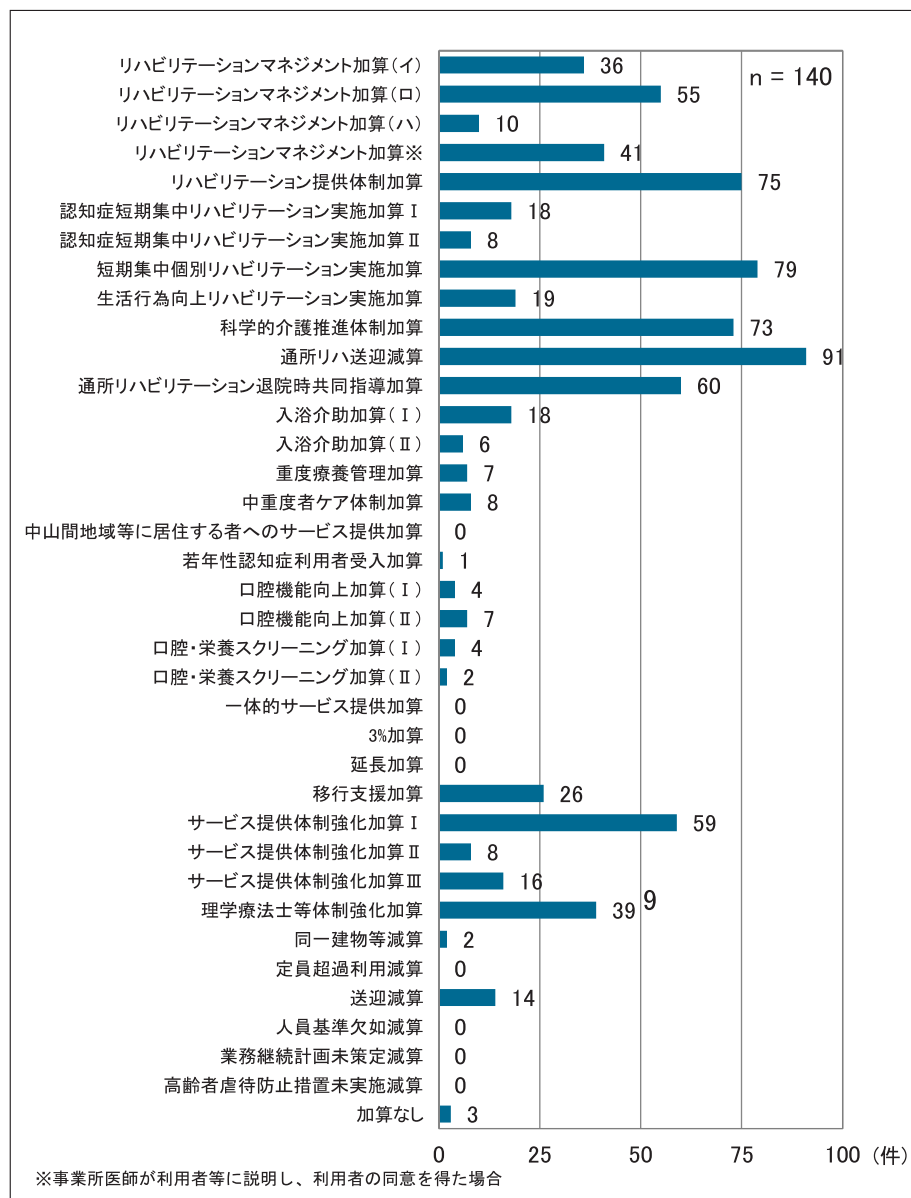


図19

4. 貴施設ではLIFE（科学的介護情報システム）を導入していますか。

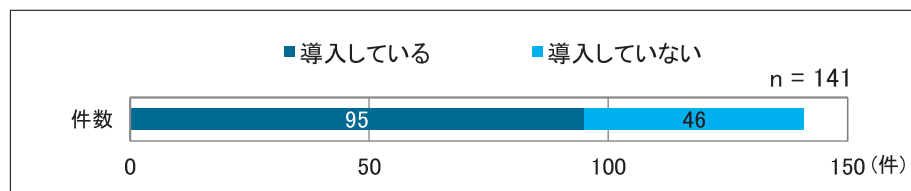


図20

【通所介護】

1. 施設の規模について、該当するものを一つ選んでください。

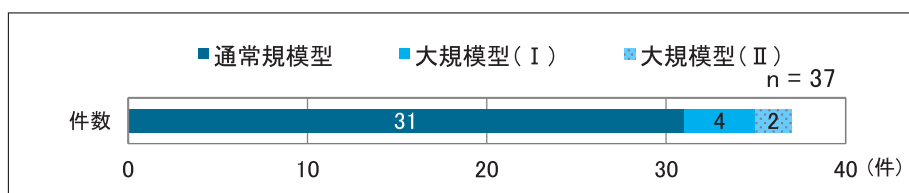


図21

2. 貴施設のサービス提供時間について、該当するものをすべて選んでください。

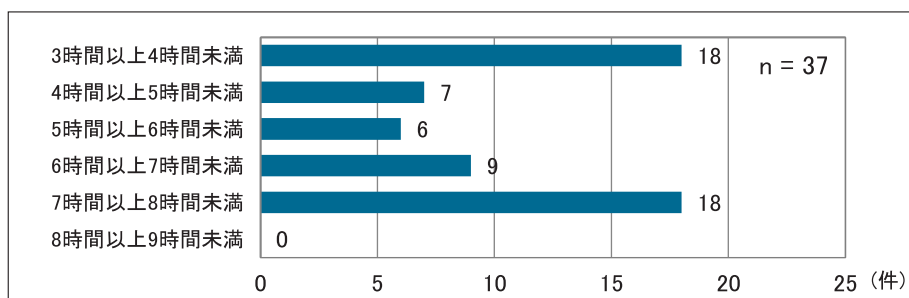


図22

3. 貴施設の加算・減算の状況について、該当するものをすべて選んでください。

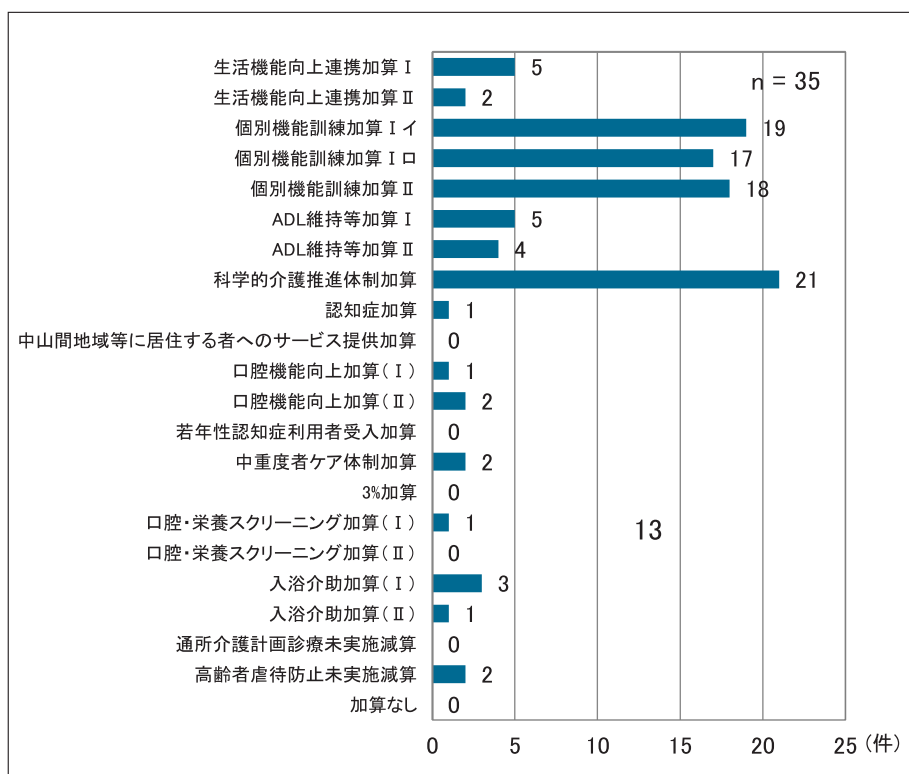


図23

4. 貴施設ではLIFE（科学的介護情報システム）を導入していますか。

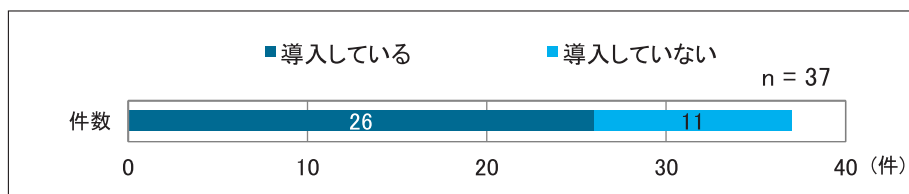


図24

【老人保健施設・入所】

1. 貴施設の算定の区分について、該当するものを一つ選んでください。

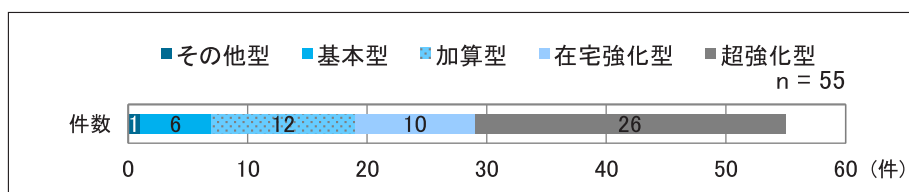


図25

2. 貴施設の加算状況について、該当するものをすべて選んでください。

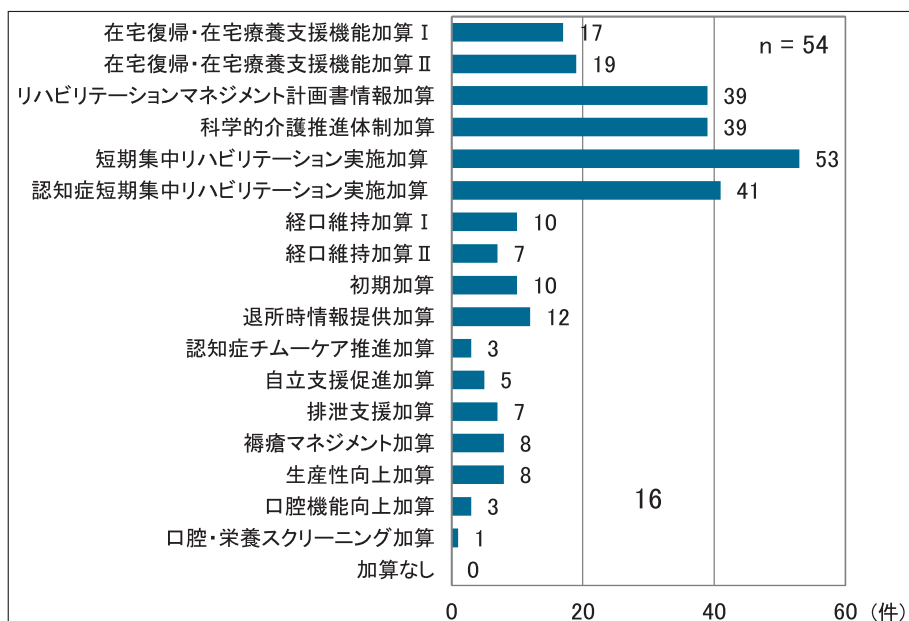


図26

3. 貴施設ではLIFE（科学的介護情報システム）を導入していますか。

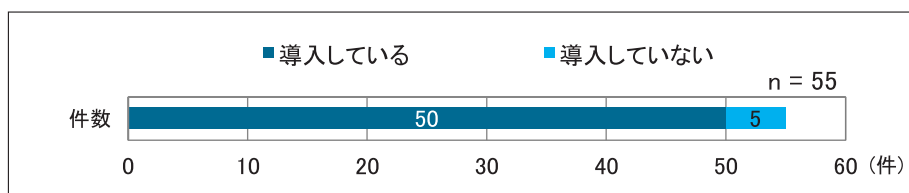


図27

Ⅱ. 地域包括ケアシステムに関する状況－総合事業、介護予防事業、地域包括ケア個別会議等への参加状況

【全体】

1. 貴施設の理学療法士は地域包括ケアや介護予防に参画していますか。または、今後参画する予定はありますか。該当するものをすべて選んでください。

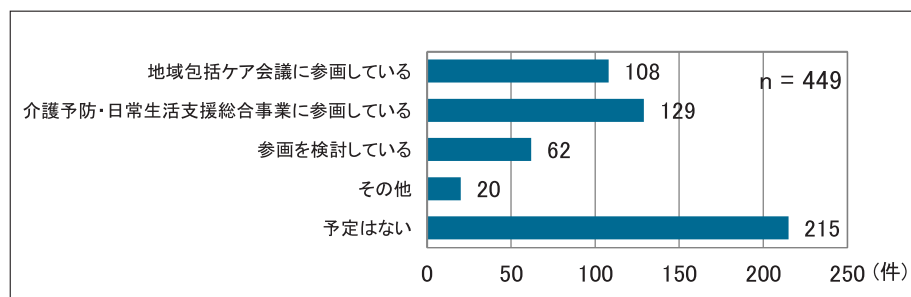


図28

【地域ケア会議の参画について】

1. 参加件数および参加人数を入力してください。

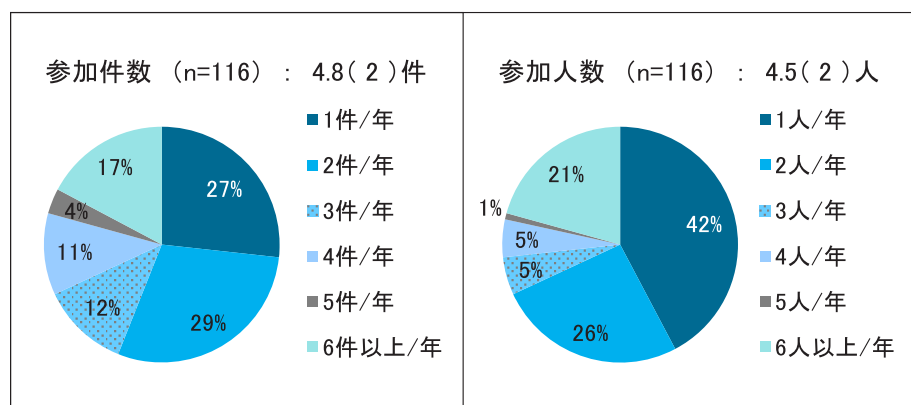


図29

【介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）の参画について】

2. 参加件数および参加人数を入力してください。

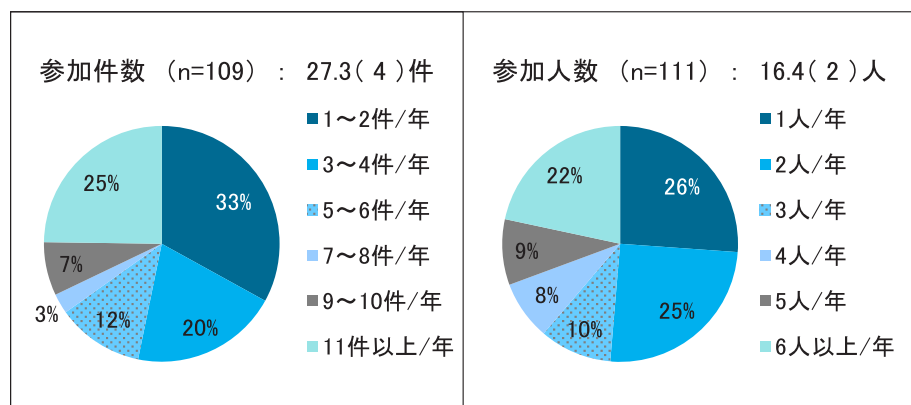


図30

【その他（上記以外の地域への関わり）の参画について】

3. 各市町村からの依頼や委託で実施している事業を受けたことはありますか。

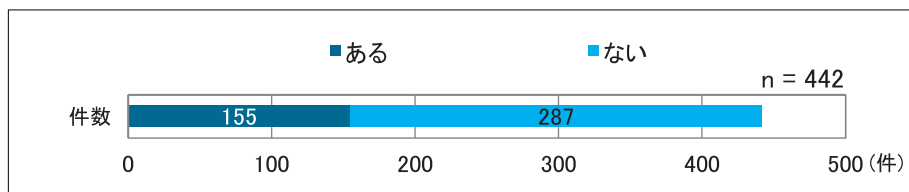


図31

4. (3.で「ある」を選択された場合)

その事業の依頼先で該当するものをすべて選んでください。

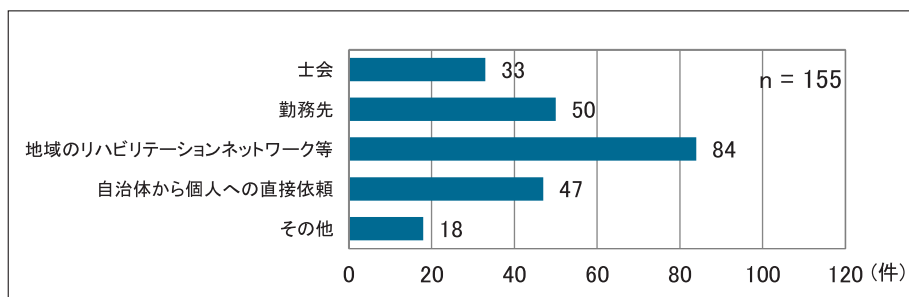


図32

5. 地域で普及している情報通信技術（ICT）への参加状況

貴施設で情報通信技術（ICT）を導入していますか。

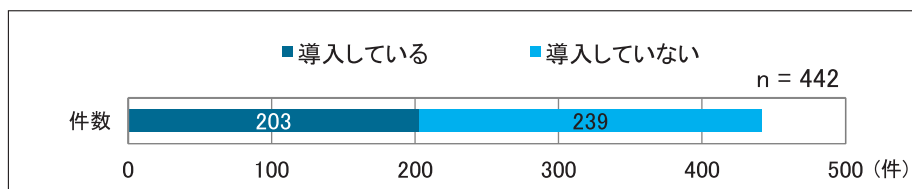


図33

6. (5.で「導入している」を選択された場合)

貴施設でICTを導入している場面と具体的な内容を入力してください。

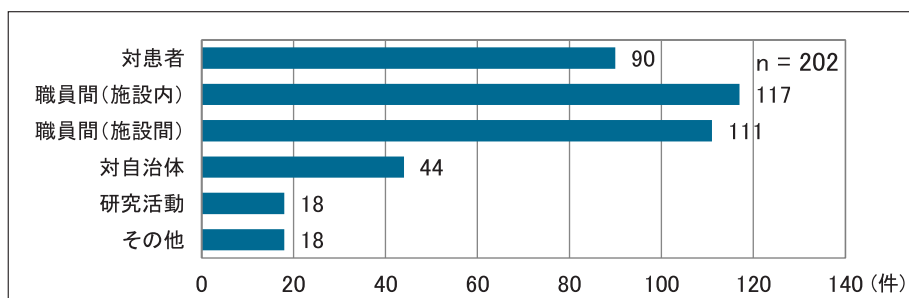


図34

7. (5.で「導入していない」を選択された場合)

貴施設で現在導入を検討している、もしくは今後導入したいICTの導入場面や具体的な内容を入力してください。

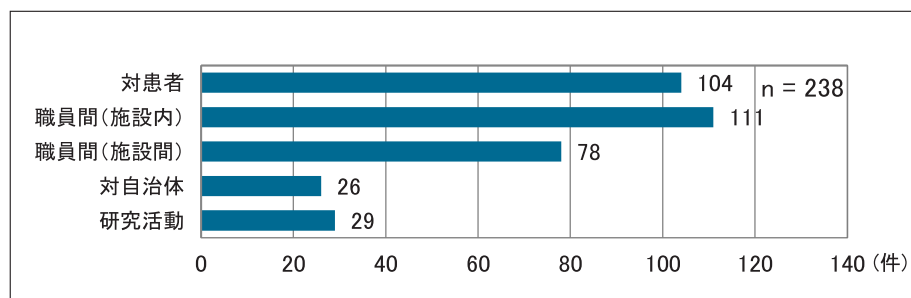


図35

Ⅲ. 理学療法士の養成と教育

【職員に対して行っている教育・研究・取り組み】

1. 貴施設において2023年度に以下の学会大会・研修会へ1人でも参加したものをすべて選んでください。

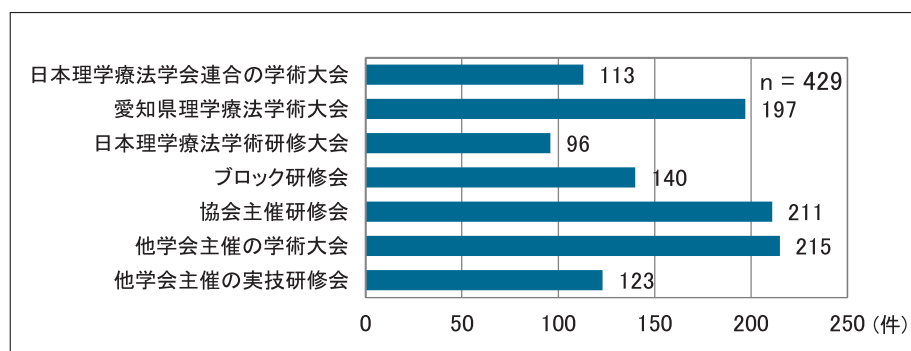


図36

2. 貴施設において業務時間内で行っている教育規模について、該当するものをすべて選んでください。

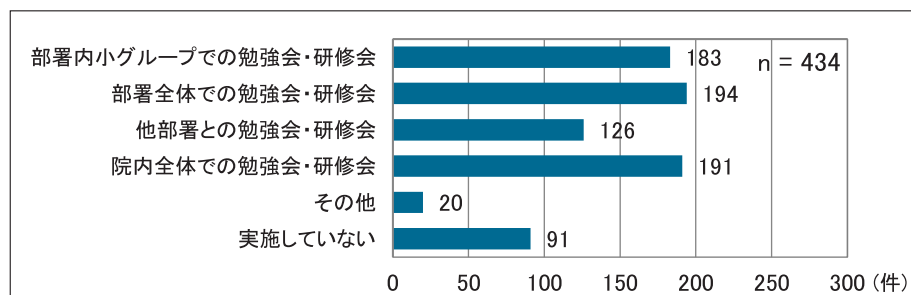


図37

3. 貴施設において実施している職員教育の方式について、該当するものをすべて選んでください。

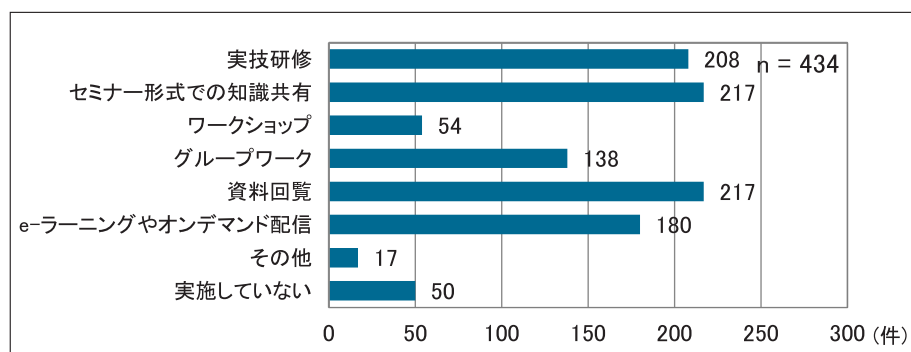


図38

4. 貴施設におけるスタッフ指導・生涯教育の課題について、該当するものをすべて選んでください。

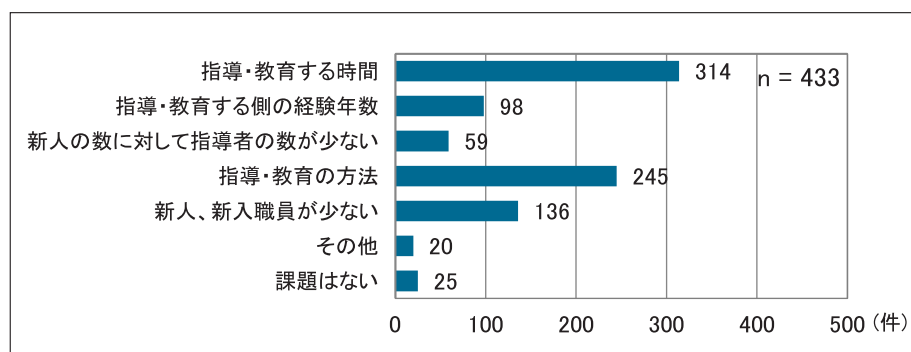


図39

5. 貴施設において補助している教育内容について、該当するものをすべて選んでください。

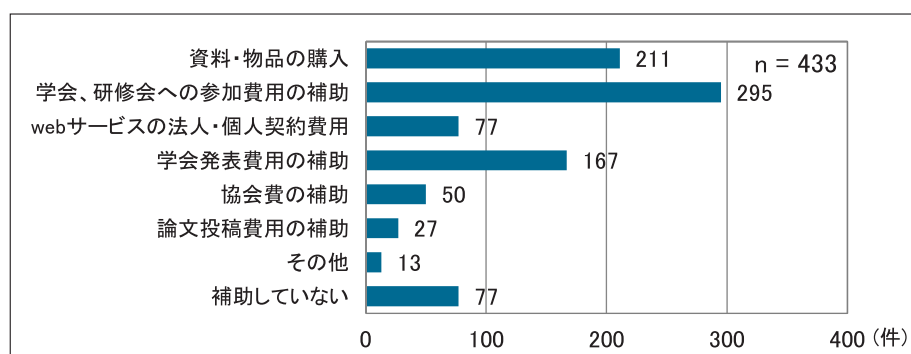


図40

6. 貴施設において人事考課を行っていますか。

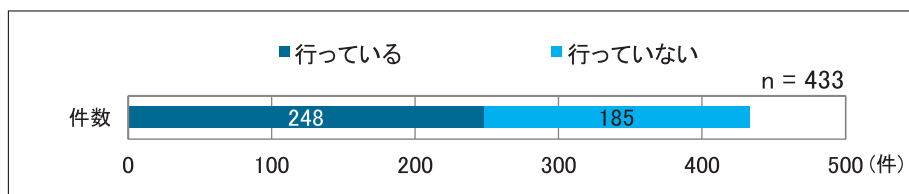


図41

7. 貴施設の理学療法士の資格取得状況について、該当するものをすべて選んでください。

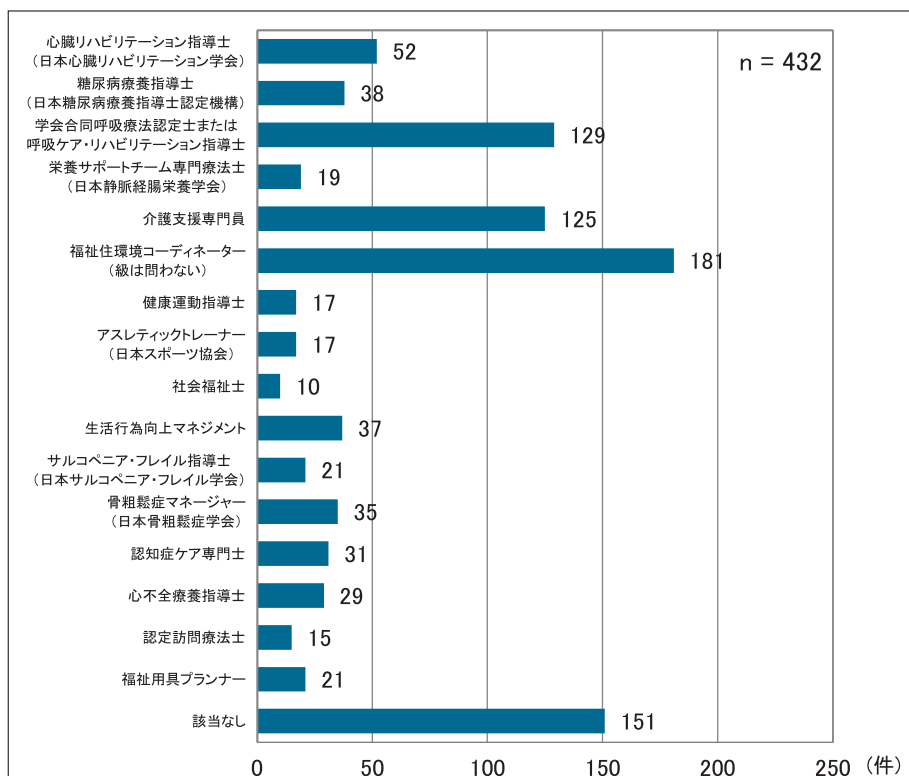


図42

8. 貴施設において診療報酬以外の理学療法業務に従事している、また今後従事したいと考えているスタッフがいますか。項目ごとに選択してください。

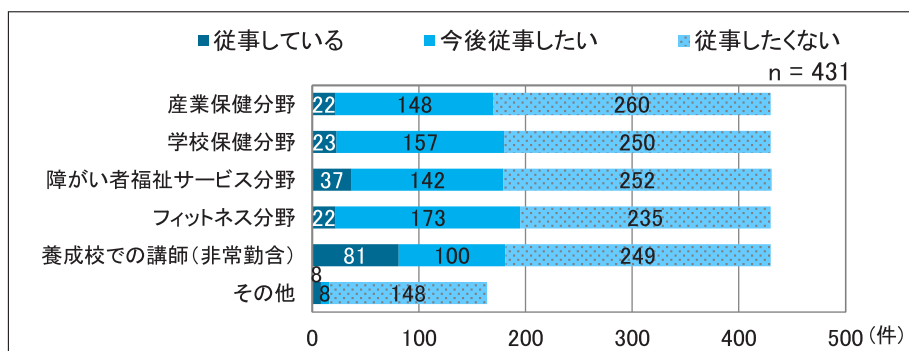


図43

9. 貴施設において、理学療法士として以下の国際的な取り組みのうち、1人でも参加した（参加予定を含む）ものをすべて選んでください。

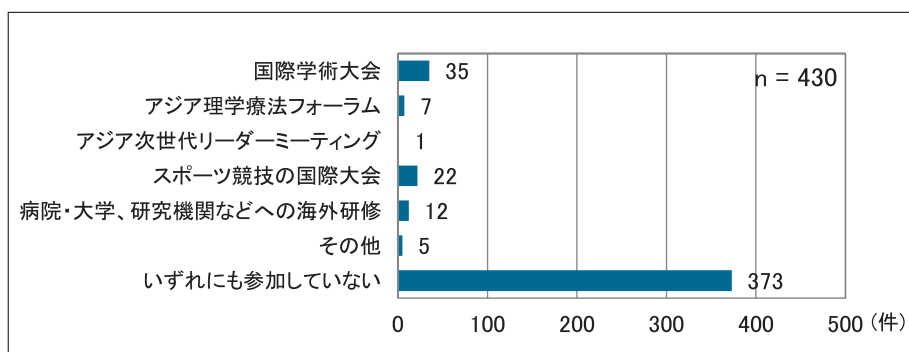


図44

10. 職場で研究活動を行う必要性は感じていますか。

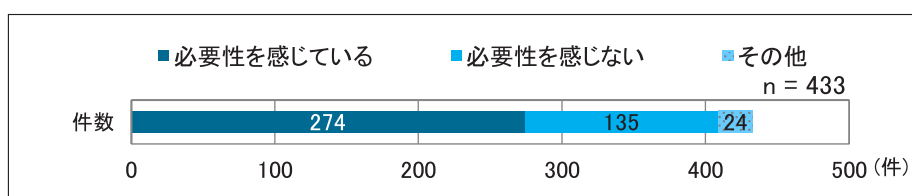


図45

11. 現在、職場内で研究活動への取り組みがありますか。

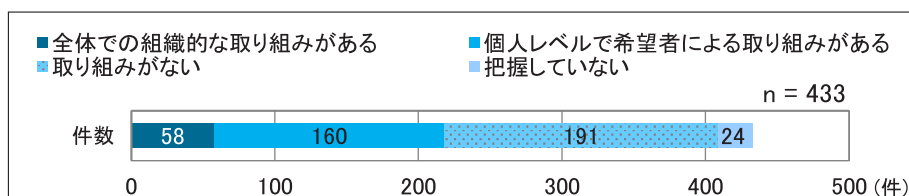


図46

12. 研究活動を行う上での課題をすべて選んでください。

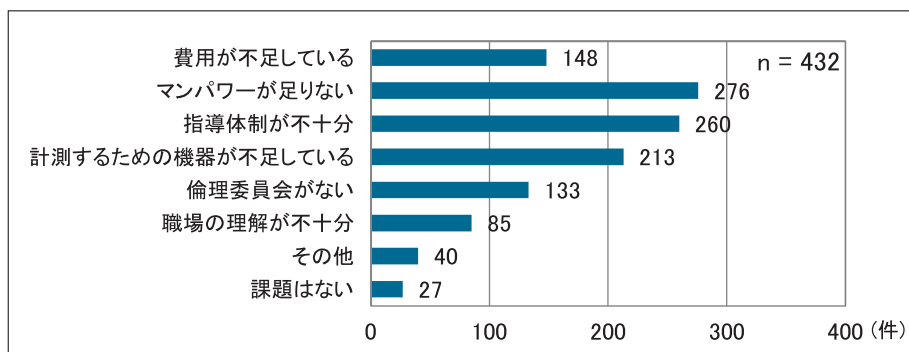


図47

13. 認定または専門理学療法士の取得を職場として推奨していますか。

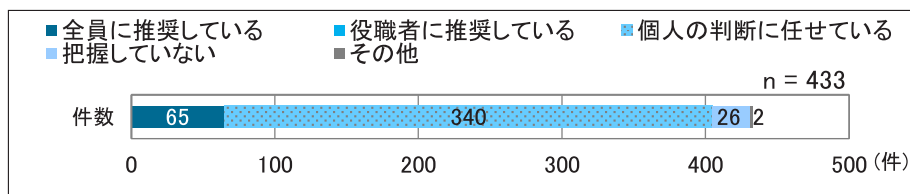


図48

14. 認定または専門理学療法士の所持が雇用契約に影響していますか。

該当するものをすべて選んでください。

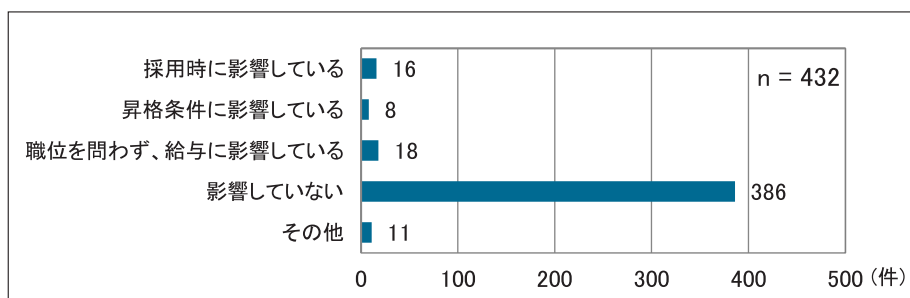


図49

【臨床実習指導の内容・状況】

1. 貴施設において2023年度に受け入れた実習の形式と校数、学生数をすべて選んでください。

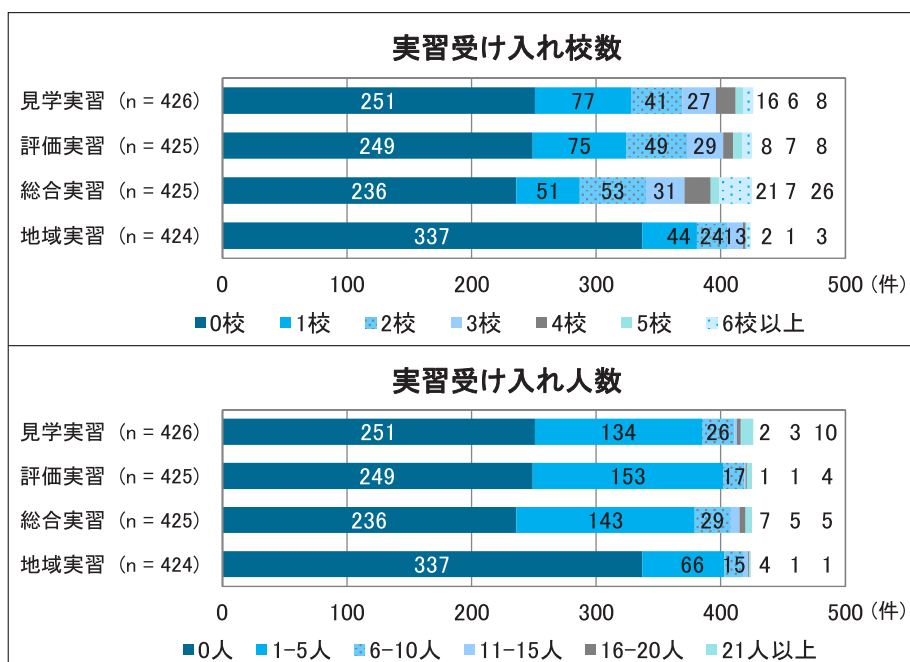


図50

2. 学生実習の実施にあたり職員に行っている取り組みで、該当するものすべて選んでください。

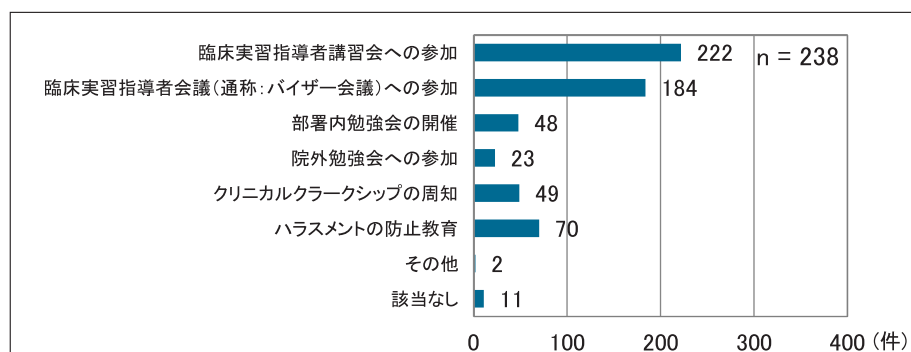


図51

3. 臨床実習指導者講習会への参加により、実習形態の変化があったものをすべて選んでください。

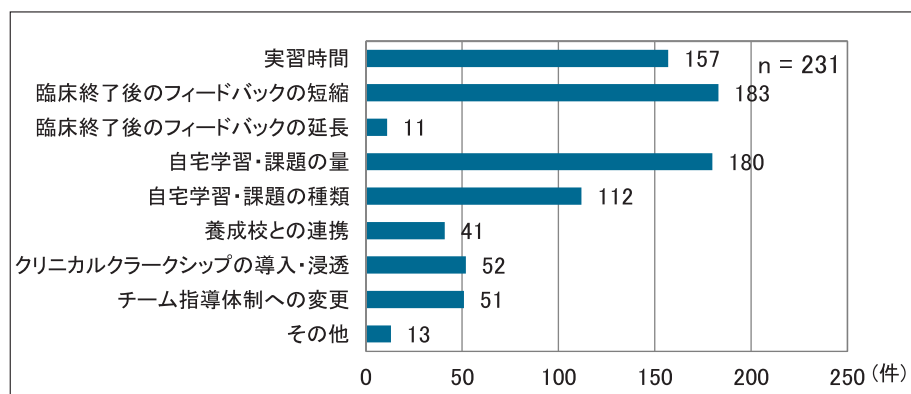


図52

IV. 新型コロナウイルス感染症による影響

1. 新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられた後、貴施設での働き方はどのように変化しましたか。該当するものをすべて選んでください。

1) 増えたもの

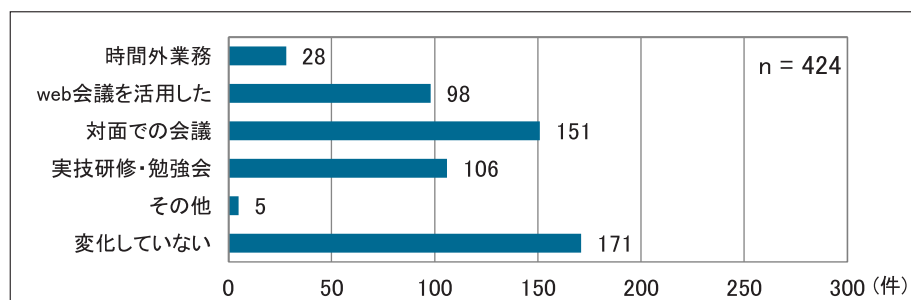


図53

2) 減ったもの

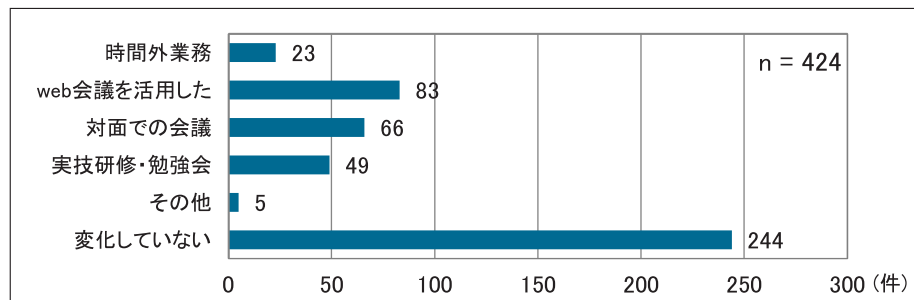


図54

1. アンケートサイト

愛知県理学療法白書2024 施設アンケート ログイン画面

愛知県理学療法白書2024 施設アンケート

- ・アンケートは1～12ページありますが、選択肢によっては回答できない設問もあります。
- ・ページを進める場合は【次へ】を、戻る場合は【前画面へ戻る】ボタンを押してください。
（※ブラウザの←→は使わないでください）
- ・回答を途中で保存される場合は、【途中終了】ボタンを押してください。
- ・アンケートを修正・確認される場合は、もう一度ログインしてください。

事前に郵送されている案内状のIDとパスワードを入力してください。

ID

パスワード

ログイン

愛知県理学療法白書2024 施設アンケート

Q&A

ログアウト

■テスト

1 / 12

I. 診療報酬、介護報酬に関する状況～算定している項目、施設基準等の実施状況

■全体

1.貴施設（事業所単位で）の実施内容で該当するものをすべてを選んでください。

1) 病院または診療所

- ① ☐ 高度急性期
- ② ☐ 急性期
- ③ ☐ 回復期
- ④ ☐ 療養型
- ⑤ ☐ 精神
- ⑥ ☐ 結核
- ⑦ ☐ 感染症
- ⑧ ☐ 地域包括ケア
- ⑨ ☐ 外来

2) 介護保険事業

- ⑩ ☐ 訪問リハビリテーション
(3/12ページも回答してください)
- ⑪ ☐ 訪問看護
(4/12ページも回答してください)
- ⑫ ☐ 通所リハビリテーション
(5/12ページも回答してください)
- ⑬ ☐ 通所介護
(6/12ページも回答してください)
- ⑭ ☐ 認知症対応通所介護
- ⑮ ☐ 老人保健施設
(7/12ページも回答してください)
- ⑯ ☐ 介護療養型医療施設
- ⑰ ☐ 特別養護老人ホーム
- ⑱ ☐ 老人福祉施設
- ⑲ ☐ 有料老人ホーム

- ⑳ ☐ サービス付高齢者住宅
- ㉑ ☐ 介護医療院
- ㉒ ☐ 地域包括支援センター

3) その他

- ㉓ ☐ 障害者福祉施設
- ㉔ ☐ 行政機関
- ㉕ ☐ 上記のいずれにも該当しない

2.貴施設の対応している疾患に該当するものをすべて選んでください。

※選択必須です

- ① ☐ 中枢
- ② ☐ 呼吸器
- ③ ☐ 循環器
- ④ ☐ 脊髄損傷
- ⑤ ☐ 整形外科
- ⑥ ☐ 小児
- ⑦ ☐ その他

3.貴施設での提供体制で該当するものをすべて選んでください。

※選択必須です

- ① ☐ 365日体制
- ② ☐ 土日休日体制
- ③ ☐ 週休2日制
- ④ ☐ 早出勤務体制
- ⑤ ☐ 遅出勤務体制
- ⑥ ☐ その他

4-1.貴施設は、女性が育児休業をとりやすい環境だと思いますか。

※選択必須です

- ① ☐ 思う
- ② ☐ やや思う
- ③ ☐ どちらでもない
- ④ ☐ あまり思わない

- ⑤ ☐ 思わない

4-2.貴施設は、女性が育児休業取得後に復帰しやすい環境だと思いますか。

※選択必須です

- ① ☐ 思う
- ② ☐ やや思う
- ③ ☐ どちらでもない
- ④ ☐ あまり思わない
- ⑤ ☐ 思わない

4-3.貴施設は、男性が育児休業をとりやすい環境だと思いますか。

※選択必須です

- ① ☐ 思う
- ② ☐ やや思う
- ③ ☐ どちらでもない
- ④ ☐ あまり思わない
- ⑤ ☐ 思わない

4-4.貴施設は、男性が育児休業取得後に復帰しやすい環境だと思いますか。

※選択必須です

- ① ☐ 思う
- ② ☐ やや思う
- ③ ☐ どちらでもない
- ④ ☐ あまり思わない
- ⑤ ☐ 思わない

1 / 12

途中終了

次へ

■ テスト

2 / 12

このページは、1/12ページ間1で①～⑥をチェックした場合に回答してください。

I. 診療報酬、介護報酬に関する状況～算定している項目、施設基準等の実施状況

■各状況

<病院・施設>

1.貴施設が取得している施設基準・病棟基準について、該当するものをすべて選んでください。

1) 入院基本料・特定入院料

① 回復期リハビリテーション病棟入院料
☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5 ☐ 6

② 地域包括ケア病棟入院（管理）料
☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5 ☐ 6 ☐ 7 ☐ 8

③ 地域包括医療病棟入院料
☐

2) 施設基準

① 心大血管疾患リハビリテーション料
☐ I ☐ II

② 脳血管疾患等リハビリテーション料
☐ I ☐ II ☐ III

③ 廃用症候群リハビリテーション料
☐ I ☐ II ☐ III

④ 運動器リハビリテーション料
☐ I ☐ II ☐ III

⑤ 呼吸器リハビリテーション料
☐ I ☐ II

⑥ 難病患者リハビリテーション料
☐

⑦ 障害児（者）リハビリテーション料

☐

⑧ がん患者リハビリテーション料

☐

⑨ 認知症リハビリテーション料

☐

⑩ リンパ浮腫複合的治療科

☐（重症 リ複治1） ☐（1以外 リ複治2）

⑪ 特定集中治療室管理料

☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5 ☐ 6

2.加算状況について、貴施設で算定している加算をすべて選んでください。

① ☐ 早期リハビリテーション加算

② ☐ 急性期リハビリテーション加算

③ ☐ 早期離床・リハビリテーション加算

④ ☐ 初期加算

⑤ ☐ リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算

⑥ ☐ リハビリテーション計画提供料（1）

⑦ ☐ リハビリテーション計画提供料（2）

⑧ ☐ リハビリテーション総合計画評価料（1）

⑨ ☐ リハビリテーション総合計画評価料（2）

⑩ ☐ 目標設定等支援・管理料

⑪ ☐ 摂食機能療法

⑫ ☐ 摂食嚥下機能回復体制加算

⑬ ☐ 地域連携診療計画加算

⑭ ☐ 運動量増加機器加算

⑮ ☐ 透析時運動指導等加算

⑯ ☐ 慢性腎臓病透析予防指導管理料

前画面へ戻る

2 / 12

途中終了

次へ

■ テスト

3 / 12

このページは、1/12ページ間1で⑦をチェックした場合に回答してください。

I. 診療報酬、介護報酬に関する状況～算定している項目、施設基準等の実施状況

■各状況

<訪問リハビリテーション>

1.貴施設の加算・減算の状況について、該当するものをすべて選んでください。

① ☐ リハビリテーションマネジメント加算（イ）

② ☐ リハビリテーションマネジメント加算（ロ）

③ ☐ リハビリテーションマネジメント加算（事業所医師が利用者等に説明し、利用者の同意を得た場合）

④ ☐ 移行支援加算

⑤ ☐ サービス提供体制強化加算Ⅰ

⑥ ☐ サービス提供体制強化加算Ⅱ

⑦ ☐ 短期集中リハビリテーション実施加算

⑧ ☐ 認知症短期集中リハビリテーション実施加算

⑨ ☐ 中山間地域等に居住する者へのサービス提供加算

⑩ ☐ 特別地域訪問リハビリテーション加算

⑪ ☐ 中山間地域等における小規模事業所加算

⑫ ☐ 口腔連携強化加算

⑬ ☐ 訪問リハビリテーション退院時共同指導加算

⑭ ☐ 訪問リハビリテーション計画診療未実施減算

⑮ ☐ 高齢者虐待防止未実施減算

⑯ ☐ 同一建物減算

⑰ ☐ 業務継続計画未策定減算

⑱ ☐ 加算なし

2.貴施設ではLIFE（科学的介護情報システム）を導入していますか。

① ☐ 導入している

② ☐ 導入していない

前画面へ戻る

3 / 12

途中終了

次へ

■ テスト

4 / 12

このページは、1/12ページ問1で③をチェックした場合に回答してください。

I. 診療報酬、介護報酬に関する状況－算定している項目、施設基準等の実施状況

■各状況

<訪問看護 I 5（訪問看護ステーションからのリハビリテーション）>

1.貴施設の加算・減算の状況について、該当するものをすべて選んでください。

- ① ☐ サービス提供体制強化加算 I（イ及びロの場合）
② ☐ サービス提供体制強化加算 II（イ及びロの場合）
③ ☐ サービス提供体制強化加算 I（ハの場合）
④ ☐ サービス提供体制強化加算 II（ハの場合）
⑤ ☐ 複数名訪問加算
⑥ ☐ 初回加算（I）
⑦ ☐ 口腔連携強化加算
⑧ ☐ 高齢者虐待防止措置未実施減算
⑨ ☐ 事業継続計画未実施減算
⑩ ☐ 理学療法士等の訪問回数による減算
⑪ ☐ 加算および減算なし

2.貴施設ではLIFE（科学的介護情報システム）を導入していますか。

- ① ☐ 導入している
② ☐ 導入していない

前画面へ戻る

4 / 12

途中終了

次へ

■ テスト

5 / 12

このページは、1/12ページ問1で③をチェックした場合に回答してください。

I. 診療報酬、介護報酬に関する状況－算定している項目、施設基準等の実施状況

■各状況

<通所リハビリテーション>

1.施設の規模について、該当するものを二つ選んでください。

- ① ☐ 通常規模型
② ☐ 大規模型

2.貴施設のサービス提供時間について、該当するものをすべて選んでください。

- ① ☐ 1時間以上2時間未満
② ☐ 3時間以上4時間未満
③ ☐ 4時間以上5時間未満
④ ☐ 5時間以上6時間未満
⑤ ☐ 6時間以上7時間未満
⑥ ☐ 7時間以上8時間未満
⑦ ☐ 8時間以上9時間未満

3.貴施設の加算・減算の状況について、該当するものをすべて選んでください。

- ① ☐ リハビリテーションマネジメント加算（イ）
② ☐ リハビリテーションマネジメント加算（ロ）
③ ☐ リハビリテーションマネジメント加算（ハ）
④ ☐ リハビリテーションマネジメント加算（事業所医師が利用者等に説明し、利用者の同意を得た場合）
⑤ ☐ リハビリテーション提供体制加算
⑥ ☐ 認知症短期集中リハビリテーション実施加算 I
⑦ ☐ 認知症短期集中リハビリテーション実施加算 II
⑧ ☐ 短期集中個別リハビリテーション実施加算

前画面へ戻る

5 / 12

途中終了

次へ

- ⑨ ☐ 生活行為向上リハビリテーション実施加算
⑩ ☐ 科学的介護推進体制加算
⑪ ☐ 通所リハ送迎減算
⑫ ☐ 通所リハビリテーション退院時共同指導加算
⑬ ☐ 入浴介助加算（I）
⑭ ☐ 入浴介助加算（II）
⑮ ☐ 重度療養管理加算
⑯ ☐ 中重度者ケア体制加算
⑰ ☐ 中山間地域等に居住する者へのサービス提供加算
⑱ ☐ 若年性認知症患者受入加算
⑲ ☐ 口腔機能向上加算（I）
⑳ ☐ 口腔機能向上加算（II）
㉑ ☐ 口腔・栄養スクリーニング加算（I）
㉒ ☐ 口腔・栄養スクリーニング加算（II）
㉓ ☐ 一体的サービス提供加算
㉔ ☐ 3%加算
㉕ ☐ 延長加算
㉖ ☐ 移行支援加算
㉗ ☐ サービス提供体制強化加算 I
㉘ ☐ サービス提供体制強化加算 II
㉙ ☐ サービス提供体制強化加算 III
㉚ ☐ 理学療法士等体制強化加算
㉛ ☐ 同一建物等減算
㉜ ☐ 定員超過利用減算
㉝ ☐ 送迎減算
㉞ ☐ 人員基準欠如減算
㉟ ☐ 業務継続計画未策定減算
㊱ ☐ 高齢者虐待防止措置未実施減算
㊲ ☐ 加算なし

4.貴施設ではLIFE（科学的介護情報システム）を導入していますか。

- ① ☐ 導入している
② ☐ 導入していない

■ テスト

6 / 12

このページは、1/12ページ問1で1⑬をチェックした場合に回答してください。

I. 診療報酬、介護報酬に関する状況～算定している項目、施設基準等の実施状況

■各状況

<通所介護>

1.施設の規模について、該当するものを二つ選んでください。

- ① ☐ 通常規模型
② ☐ 大規模型（Ⅰ）
③ ☐ 大規模型（Ⅱ）

2.貴施設のサービス提供時間について、該当するものをすべて選んでください。

- ① ☐ 3時間以上4時間未満
② ☐ 4時間以上5時間未満
③ ☐ 5時間以上6時間未満
④ ☐ 6時間以上7時間未満
⑤ ☐ 7時間以上8時間未満
⑥ ☐ 8時間以上9時間未満

3.貴施設の加算・減算の状況について、該当するものをすべて選んでください。

- ① ☐ 生活機能向上連携加算Ⅰ
② ☐ 生活機能向上連携加算Ⅱ
③ ☐ 個別機能訓練加算Ⅰイ
④ ☐ 個別機能訓練加算Ⅰロ
⑤ ☐ 個別機能訓練加算Ⅱ
⑥ ☐ ADL維持等加算Ⅰ
⑦ ☐ ADL維持等加算Ⅱ
⑧ ☐ 科学的介護推進体制加算

- ⑨ ☐ 認知症加算
⑩ ☐ 中山間地域等に居住する者へのサービス提供加算
⑪ ☐ 口腔機能向上加算（Ⅰ）
⑫ ☐ 口腔機能向上加算（Ⅱ）
⑬ ☐ 若年性認知症利用者受入加算
⑭ ☐ 中重度者ケア体制加算
⑮ ☐ 3%加算
⑯ ☐ 口腔・栄養スクリーニング加算（Ⅰ）
⑰ ☐ 口腔・栄養スクリーニング加算（Ⅱ）
⑱ ☐ 入浴介助加算（Ⅰ）
⑲ ☐ 入浴介助加算（Ⅱ）
⑳ ☐ 通所介護計画診療未実施減算
㉑ ☐ 高齢者虐待防止未実施減算
㉒ ☐ 加算なし

4.貴施設ではLIFE（科学的介護情報システム）を導入していますか。

- ① ☐ 導入している
② ☐ 導入していない

前画面へ戻る

6 / 12

途中終了

次へ

■ テスト

7 / 12

このページは、1/12ページ問1で⑳をチェックした場合に回答してください。

I. 診療報酬、介護報酬に関する状況～算定している項目、施設基準等の実施状況

■各状況

<老人保健施設・入所>

1.貴施設の算定の区分について、該当するものを二つ選んでください。

- ① ☐ その他型
② ☐ 基本型
③ ☐ 加算型
④ ☐ 在宅強化型
⑤ ☐ 超強化型

2.貴施設の加算状況について、該当するものをすべて選んでください。

- ① ☐ 在宅復帰・在宅療養支援機能加算Ⅰ
② ☐ 在宅復帰・在宅療養支援機能加算Ⅱ
③ ☐ リハビリテーションマネジメント計画書情報加算
④ ☐ 科学的介護推進体制加算
⑤ ☐ 短期集中リハビリテーション実施加算
⑥ ☐ 認知症短期集中リハビリテーション実施加算
⑦ ☐ 経口維持加算Ⅰ
⑧ ☐ 経口維持加算Ⅱ
⑨ ☐ 初期加算
⑩ ☐ 退所時情報提供加算
⑪ ☐ 認知症チームケア推進加算
⑫ ☐ 自立支援促進加算
⑬ ☐ 排泄支援加算
⑭ ☐ 褥瘡マネジメント加算

- ⑮ ☐ 生産性向上加算
⑯ ☐ 口腔機能向上加算
⑰ ☐ 口腔・栄養スクリーニング加算
⑱ ☐ 加算なし

3.貴施設ではLIFE（科学的介護情報システム）を導入していますか。

- ① ☐ 導入している
② ☐ 導入していない

前画面へ戻る

7 / 12

途中終了

次へ

■テスト

8 / 12

Ⅱ.地域包括ケアシステムに関する状況－総合事業、介護予防事業、地域包括ケア個別会議等への参加状況

■全体

1.貴施設の理学療法士は地域包括ケアや介護予防に参画していますか。または、今後参画する予定はありますか。該当するものをすべて選んでください。

※選択必須です

- ① ☐ 地域包括ケア会議に参画している
② ☐ 介護予防・日常生活支援総合事業に参画している
③ ☐ 参画を検討している
④ ☐ その他
⑤ ☐ 予定はない

前画面へ戻る

8 / 12

途中終了

次へ

■テスト

9 / 12

Ⅱ.地域包括ケアシステムに関する状況－総合事業、介護予防事業、地域包括ケア個別会議等への参加状況

■各状況

<地域ケア会議の参画について>

1.参加件数および参加人数を入力してください。

※入力必須です (0でも入力してください)

① 参加件数: (件/年)② 参加人数: (人/年)

<介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）の参画について>

2.参加件数および参加人数を入力してください。

※入力必須です (0でも入力してください)

① 参加件数: (件/年)② 参加人数: (人/年)

③ 具体的に各市区町村から委託された事業内容

<その他（上記以外の地域への関わり）の参画について>

3.各市町村からの依頼や委託で実施している事業を受けたことはありますか。

※選択必須です

- ① ☐ ある
② ☐ ない

4. (3で「ある」を選択された場合)

その事業の依頼先で該当するものをすべて選んでください。

※選択必須です

- ① ☐ 士会
② ☐ 勤務先
③ ☐ 地域のリハビリテーションネットワーク等
④ ☐ 自治体から個人への直接依頼
⑤ ☐ その他

5.地域で普及している情報通信技術（ICT）への参加状況

貴施設で情報通信技術（ICT）を導入していますか。

※選択必須です

- ① ☐ 導入している
② ☐ 導入していない

6. (5で「導入している」を選択された場合)

貴施設でICTを導入している場面と具体的な内容を入力してください。

※選択必須です

- ① ☐ 对患者 内容:
② ☐ 職員間（施設内） 内容:
③ ☐ 職員間（施設間） 内容:
④ ☐ 対自治体 内容:
⑤ ☐ 研究活動 内容:
⑥ ☐ その他 内容:

7. (5で「導入していない」を選択された場合)

貴施設で現在導入を検討している、もしくは今後導入したいICTの導入場面や具体的な内容を入力してください。

※選択必須です

- ① ☐ 对患者 内容:
② ☐ 職員間（施設内） 内容:

③ ☐ 職員間（施設間） 内容: ④ ☐ 対自治体 内容: ⑤ ☐ 研究活動 内容:

前画面へ戻る

9 / 12

途中終了

次へ

■ テスト

10 / 12

Ⅲ. 理学療法士の養成と教育

■職員に対して行っている教育・研究・取り組み

1.貴施設において2023年度に以下の学術大会・研修会へ1人でも参加したものを すべて選んでください。

※入力必須です

- ① ☐ 日本理学療法学会連合の学術大会
 ② ☐ 愛知県理学療法学会学術大会
 ③ ☐ 日本理学療法学会研修大会
 ④ ☐ ブロック研修会
 ⑤ ☐ 協会主催研修会
 ⑥ ☐ 他学会主催の学術大会
 ⑦ ☐ 他学会主催の実技研修会

2.貴施設において業務時間内で行っている教育規模について、該当するものを すべて選んでください。

※選択必須です

- ① ☐ 部署内小グループでの勉強会・研修会
 ② ☐ 部署全体での勉強会・研修会
 ③ ☐ 他部署との勉強会・研修会
 ④ ☐ 院内全体での勉強会・研修会
 ⑤ ☐ その他
 ⑥ ☐ 実施していない

3.貴施設において実施している職員教育の方式について、該当するものを すべて選んでください。

※選択必須です

- ① ☐ 実技研修
 ② ☐ セミナー形式での知識共有
 ③ ☐ ワークショップ
 ④ ☐ グループワーク

- ⑤ ☐ 資料回覧
 ⑥ ☐ e-ラーニングやオンデマンド配信
 ⑦ ☐ その他
 ⑧ ☐ 実施していない

4.貴施設におけるスタッフ指導・生涯教育の課題について、該当するものを すべて選んでください。

※選択必須です

- ① ☐ 指導・教育する時間
 ② ☐ 指導・教育する側の経験年数
 ③ ☐ 新人の数に対して指導者の数が少ない
 ④ ☐ 指導・教育の方法
 ⑤ ☐ 新人、新入職員が少ない
 ⑥ ☐ その他
 ⑦ ☐ 課題はない

5.貴施設において補助している教育内容について、該当するものを すべて選んでください。

※選択必須です

- ① ☐ 資料・物品の購入
 ② ☐ 学会、研修会への参加費用の補助
 ③ ☐ webサービスの法人・個人契約費用
 ④ ☐ 学会発表費用の補助
 ⑤ ☐ 協会費の補助
 ⑥ ☐ 論文投稿費用の補助
 ⑦ ☐ その他
 ⑧ ☐ 補助していない

6.貴施設において人事考課を行っていますか。

※選択必須です

- ① ☐ 行っている
 ② ☐ 行っていない

7.貴施設の理学療法士の資格取得状況について、該当するものを すべて選んでください。

※選択必須です

- ① ☐ 心臓リハビリテーション指導士（日本心臓リハビリテーション学会）
 ② ☐ 糖尿病療養指導士（日本糖尿病療養指導士認定機構）
 ③ ☐ 学会合同呼吸療法認定士または呼吸ケア・リハビリテーション指導士
 ④ ☐ 栄養サポートチーム専門療法士（日本静脈経腸栄養学会）
 ⑤ ☐ 介護支援専門員
 ⑥ ☐ 福祉住環境コーディネーター（級は問わない）
 ⑦ ☐ 健康運動指導士
 ⑧ ☐ アスレティックトレーナー（日本スポーツ協会）
 ⑨ ☐ 社会福祉士
 ⑩ ☐ 生活行為向上マネジメント
 ⑪ ☐ サルコペニア・フレイル指導士（日本サルコペニア・フレイル学会）
 ⑫ ☐ 骨粗鬆症マネージャー（日本骨粗鬆症学会）
 ⑬ ☐ 認知症ケア専門士
 ⑭ ☐ 心不全療養指導士
 ⑮ ☐ 認定訪問療法士
 ⑯ ☐ 福祉用具プランナー
 ⑰ ☐ 該当なし

8.貴施設において診療報酬以外の理学療法業務に従事している、また今後従事したいと考えているスタッフがいますか。項目ごとに選択してください。

※選択必須です

	従事している	今後従事したい	従事したくない
① 産業保健分野	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
② 学校保健分野	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
③ 障がい者福祉サービス分野	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
④ フィットネス分野	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑤ 養成校での講師（非常勤含）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

⑥ その他

9.貴施設において、理学療法士として以下の国際的な取り組みのうち、1人でも参加した（参加予定を含む）ものを すべて選んでください。

※選択必須です

- ① ☐ 国際学術大会
 ② ☐ アジア理学療法フォーラム
 ③ ☐ アジア次世代リーダーミーティング
 ④ ☐ スポーツ競技の国際大会
 ⑤ ☐ 病院・大学、研究機関などへの海外研修
 ⑥ ☐ その他
 ⑦ ☐ いずれにも参加していない

10.職場で研究活動を行う必要性は感じていますか。

※選択必須です

- ① ☐ 必要性を感じている
 ② ☐ 必要性を感じない
 ③ ☐ その他

11.現在、職場内で研究活動への取り組みがありますか。

※選択必須です

- ① ☐ 全体での組織的な取り組みがある
 ② ☐ 個人レベルで希望者による取り組みがある
 ③ ☐ 取り組みがない
 ④ ☐ 把握していない

12.研究活動を行う上での課題を すべて選んでください。

※選択必須です

- ① ☐ 費用が不足している
 ② ☐ マンパワーが足りない
 ③ ☐ 指導体制が不十分
 ④ ☐ 計測するための機器が不足している

- ⑤ ☐ 倫理委員会がない
⑥ ☐ 職場の理解が不十分
⑦ ☐ その他
⑧ ☐ 課題はない

13.認定または専門理学療法士の取得を職場として推奨していますか。

※選択必須です

- ① ☐ 全員に推奨している
② ☐ 役職者に推奨している
③ ☐ 個人の判断に任せている
④ ☐ 把握していない
⑤ ☐ その他

14.認定または専門理学療法士の所持が雇用契約に影響していますか。該当するものをすべて選んでください。

※選択必須です

- ① ☐ 採用時に影響している
② ☐ 昇格条件に影響している
③ ☐ 職位を問わず、給与に影響している
④ ☐ 影響していない
⑤ ☐ その他

前画面へ戻る

10 / 12

途中終了

次へ

愛知県理学療法士会2024 施設アンケート

Q&A

ログアウト

■ テスト

11 / 12

Ⅲ.理学療法士の養成と教育

■臨床実習指導の内容・状況

1.貴施設において2023年度に受け入れた実習の形式と校数、学生数をすべて選んでください。

※選択必須です

① 見学実習

- 校数 ☐ 0校 ☐ 1校 ☐ 2校 ☐ 3校 ☐ 4校 ☐ 5校 ☐ 6校以上
学生数 ☐ 0人 ☐ 1-5人 ☐ 6-10人 ☐ 11-15人 ☐ 16-20人
☐ 21人以上

② 評価実習

- 校数 ☐ 0校 ☐ 1校 ☐ 2校 ☐ 3校 ☐ 4校 ☐ 5校 ☐ 6校以上
学生数 ☐ 0人 ☐ 1-5人 ☐ 6-10人 ☐ 11-15人 ☐ 16-20人
☐ 21人以上

③ 総合実習

- 校数 ☐ 0校 ☐ 1校 ☐ 2校 ☐ 3校 ☐ 4校 ☐ 5校 ☐ 6校以上
学生数 ☐ 0人 ☐ 1-5人 ☐ 6-10人 ☐ 11-15人 ☐ 16-20人
☐ 21人以上

④ 地域実習

- 校数 ☐ 0校 ☐ 1校 ☐ 2校 ☐ 3校 ☐ 4校 ☐ 5校 ☐ 6校以上
学生数 ☐ 0人 ☐ 1-5人 ☐ 6-10人 ☐ 11-15人 ☐ 16-20人
☐ 21人以上

2.学生実習の実施にあたり職員に行っている取り組みで、該当するものをすべて選んでください。

- ① ☐ 臨床実習指導者講習会への参加
② ☐ 臨床実習指導者会議（通称：バイザー会議）への参加
③ ☐ 部署内勉強会の開催

- ④ ☐ 院外勉強会への参加
⑤ ☐ クリニカルクラークシップの周知
⑥ ☐ ハラスメントの防止教育
⑦ ☐ その他
⑧ ☐ 該当なし

3.臨床実習指導者講習会への参加により、実習形態の変化があったものをすべて選んでください。

- ① ☐ 実習時間
② ☐ 臨床終了後のフィードバックの短縮
③ ☐ 臨床終了後のフィードバックの延長
④ ☐ 自宅学習・課題の量
⑤ ☐ 自宅学習・課題の種類
⑥ ☐ 養成校との連携
⑦ ☐ クリニカルクラークシップの導入・浸透
⑧ ☐ チーム指導体制への変更
⑨ ☐ その他

前画面へ戻る

11 / 12

途中終了

次へ

愛知県理学療法士会2024 施設アンケート

Q&A

ログアウト

■ テスト

12 / 12

Ⅳ.新型コロナウイルス感染症による影響

1.新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられた後、貴施設での働き方はどのように変化しましたか。該当するものをすべて選んでください。

※選択必須です

1) 増えたもの

- ① ☐ 時間外業務
② ☐ web会議を活用した
③ ☐ 対面での会議
④ ☐ 実技研修・勉強会
⑤ ☐ その他
⑥ ☐ 変化していない

2) 減ったもの

- ① ☐ 時間外業務
② ☐ web会議を活用した
③ ☐ 対面での会議
④ ☐ 実技研修・勉強会
⑤ ☐ その他
⑥ ☐ 変化していない

前画面へ戻る

12 / 12

途中終了

回答を送信

2. 今回協力のあった施設の現状

1) 診療報酬、介護報酬に関する状況－算定している項目、施設基準等の実施状況

(1)全体 実施内容：病院または診療所（複数回答）

二次医療圏	市区町村	病院・施設名	実施内容：病院または診療所								
			高度 急性 期	急性 期	回復 期	療 養 型	精 神	結 核	感 染 症	地 域 包 括 ケ ア	外 来
名古屋・尾張中部医療圏	熱田区	熱田リハビリテーション病院			○					○	○
		あつたモール総合クリニック									○
	北区	訪問看護マザーズ北区サテライト		○	○	○	○				
		しんぼ整形外科									○
		名春中央病院				○					○
		名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	○	○					○		○
		総合上飯田第一病院		○	○					○	○
		上飯田リハビリテーション病院			○						
		北病院		○						○	○
		みずのリハビリクリニック									○
		ひのとり整形在宅クリニック		○		○					
		大隈病院		○						○	○
		セタクリニック									○
	昭和区	名古屋大学医学部附属病院	○	○							
		かわな病院		○						○	
		日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院	○								
		白水クリニック									○
		南山の郷デイサービスセンター								○	
		メディカルいつき									○
	千種区	名古屋スポーツクリニック									○
		整形外科 京命クリニック									○
		はちや整形外科病院		○							
		加藤病院			○						○
	天白区	吉田病院		○		○				○	○
		名古屋記念病院		○							○
		訪問看護なかひら				○					
		並木病院				○				○	○
		さくらぎ整形外科									○
		天白かんだ整形外科クリニック									○
		伊藤整形外科									○
	中川区	八事病院					○				
		藤田医科大学ばんだね病院	○								
		あらこ整形外科リウマチ科クリニック									○
		名古屋市西部地域療育センター									○
		名古屋掖済会病院	○	○							○
		松蔭病院					○				
		名古屋共立病院		○							
		老人保健施設 ラ・ファミリア				○					
	中区	富田病院				○					
		中日病院		○							○
	中村区	肩とひざの整形外科									○
		増子記念病院		○							○
		日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	○								
		鶴飼リハビリテーション病院			○						
		医療法人珪山会			○	○					○
		偕行会城西病院				○				○	
	西区	増子クリニック昂									○
		井戸田整形外科 名駅スポーツクリニック									○
		愛知県済生会リハビリテーション病院			○						
		名鉄病院		○						○	○
		よねだ整形リハビリクリニック									○
		名古屋市北部地域療育センター									○
		玉池在宅クリニック		○	○	○				○	
		川上内科整形外科									○
	東区	愛知県青い鳥医療療育センター				○					○
		AOI名古屋病院				○				○	○
	瑞穂区	名古屋ハートセンター		○							○
		高木整形外科・内科		○							
		ブラザー記念病院				○					○
		柴田屋整形外科			○					○	○
		名古屋市総合リハビリテーションセンター附属病院			○						○

二次医療圏	市区町村	病院・施設名	実施内容: 病院または診療所								
			高度 急性 期	急性 期	回復 期	療 養 型	精 神	結 核	感 染 症	地 域 包 括 ケ ア	外 来
名古屋・尾張中部医療圏	緑区	藤田医科大学訪問看護ステーション緑								○	
		名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院		○						○	○
		みどり整形外科運動器クリニック		○	○						○
		徳重整形外科クリニック									○
		相生山病院		○		○				○	○
		早稲田イーライフ神の倉				○					
		うばこ山整形外科クリニック									○
		とどろきクリニック									○
		さがら整形外科									○
		訪問看護ステーションレガート								○	
	港区	南生協病院		○							
		水谷医院小碓デイケアセンター								○	
	南区	東洋病院		○		○					○
		善常会リハビリテーション病院			○						○
		南医療生協かなめ病院			○						○
		南部地域療育センターそよ風								○	○
		大同病院	○					○	○		○
		だいでうクリニック									○
		みらい整形外科									○
		名南ふれあい病院			○						○
	名東区	中京病院	○								
		いのこし病院				○					
		メイトウホスピタル			○	○				○	○
		高針台整形外科クリニック									○
		東名古屋病院			○			○			
	守山区	木村病院			○						
		すぎやま病院				○					○
		川島病院			○						○
		絃仁病院		○		○	○				
		とみやす整形外科クリニック									○
	北名古屋市	守山友愛病院				○					
		師勝整形外科									○
		済衆館済衆館病院		○	○	○				○	○
	清須市	光寿会リハビリテーション病院				○					
		びわく整形外科									○
		五条川リハビリテーション病院			○	○					○
海部医療圏	あま市	あま市民病院		○	○					○	○
	蟹江町	尾張温泉かにえ病院			○					○	○
	津島市	津島中央病院				○					○
		安藤病院				○					○
		津島市民病院		○					○	○	○
		津島リハビリテーション病院			○						
	愛西市	後藤整形外科									○
		鈴木整形外科									○
		385クリニック									○
	弥富市	デイサービス愛西ガーデン								○	
		偕行会リハビリテーション病院			○						
		海南病院		○							
尾張東部医療圏	東郷町	なごやひがし整形外科・脊椎クリニック									○
	尾張旭市	医療法人あらかわ医院									○
		あさひの森 整形外科リハビクリニック									○
		可知整形外科			○						○
		四軒家整形外科クリニック									○
	瀬戸市	公立陶生病院	○								
		ごとう内科クリニック								○	○
		あさい病院		○	○					○	○
		浅野整形外科医院									○
		瀬戸みどりのまち病院				○				○	
		井上病院									○

二次医療圏	市区町村	病院・施設名	実施内容:病院または診療所								
			高度 急性 期	急 性 期	回 復 期	療 養 型	精 神	結 核	感 染 症	地 域 包 括 ケ ア	外 来
尾張東部医療圏	豊明市	藤田医科大学病院	○	○	○						○
	長久手市	ヒロ整形外科クリニック									○
		東名病院		○						○	○
	日進市	愛知国際病院								○	○
		藤田医科大学訪問看護ステーション日進東郷								○	
		OBKタカEクリニック									○
		チャイルドウィッシュにつしん				○					
		平針かとう整形外科									○
尾張西部医療圏	一宮市	岩崎台おおぐち内科ハートクリニック									○
		孝友クリニック									○
		介護老人保健施設サザン一宮			○						○
		総合大雄会病院	○	○	○				○		○
		一宮市立市民病院		○							
		やまざき整形外科・リウマチクリニック			○						
		上林記念病院					○			○	○
		萩原整形外科リウマチクリニック									○
		磯村医院				○					○
		たなけん脊椎眼科クリニック		○							○
		山下病院		○						○	
		しらき内科クリニック									○
		一宮市立木曽川市民病院		○	○					○	○
		藤クリニック									○
		たけもと整形外科									○
	稲沢市	一宮西病院		○	○						○
		泰玄会病院		○						○	○
		一宮医療療育センター									○
		服部整形外科									○
		稲沢市民病院		○					○	○	○
		こんどう整形外科									○
尾張北部医療圏	犬山市	稲沢厚生病院		○			○			○	○
		ふなびきクリニック		○							○
		総合犬山中央病院		○	○					○	○
		犬山駅西病院				○					○
		犬山病院					○				
		カワムラ整形外科									○
	岩倉市	宮崎整形外科・外科・内科		○	○	○					○
		大地整形外科									○
	春日井市	春日井市民病院		○							
		春日井整形あさひ病院		○	○						○
		ムラセ整形外科									○
		かすがい内科 咳と頭痛と生活習慣病									○
		まつした整形外科									○
		足立病院				○					○
		北陽会病院			○	○				○	
		白山リハビリテーション病院			○						
		東海記念病院		○	○					○	○
		なかひがし整形外科皮膚科									○
	江南市	上田整形外科									○
		ほてい整形外科クリニック									○
		佐藤病院		○	○	○					○
		なかむら・ファミリークリニック									○
		河村内科ハートクリニック									○
	小牧市	小牧いとう整形外科									○
		デイサービスセンター太陽・小牧								○	
		塚原外科・内科									○
		小木南クリニック									○
	扶桑町	北里クリニック									○
		ひじかた整形外科									○

二次医療圏	市区町村	病院・施設名	実施内容:病院または診療所								
			高度 急性 性期	急性 期	回復 期	療 養 型	精 神	結 核	感 染 症	地 域 包 括 ケ ア	外 来
知多 半島 医療 圏	阿久比町	竹内整形外科・内科クリニック		○							○
	大府市	介護老人保健施設 キュア北崎								○	
		ひらしま整形外科リウマチ科クリニック									○
		宮田整形外科・皮フ科									○
		あいち小児保健医療総合センター	○	○							○
		あおぞらファミリークリニック									○
		訪問看護ステーション虹とり				○					
		共和病院				○	○				
		国立長寿医療研究センター		○	○		○		○	○	○
	武豊町	石川病院				○				○	○
		杉石病院		○		○				○	○
	知多市	榑原整形外科									○
		知多小嶋記念病院			○	○				○	○
	東海市	いえた整形外科リハビリクリニック									○
		さんのうメディカルクリニック									○
	常滑市	おおすが整形外科									○
		とこなめ整形外科									○
	半田市	常滑市民病院		○	○				○	○	○
		あべクリニック									○
		半田中央病院			○					○	○
		半田市立半田病院	○	○							○
	美浜町	結生クリニック		○							○
		知多厚生病院		○					○	○	○
		浜田整形外科・内科クリニック		○							○
		渡辺病院		○	○	○				○	○
西三 河北 部医 療圏	豊田市	足助病院		○		○				○	○
		豊田厚生病院	○								
		上郷整形外科・リハビリテーション科									○
		三九朗病院			○						○
		豊田地域医療センター		○	○					○	○
		吉田整形外科病院		○							
		三九朗東リハビリテーション病院			○						
		トヨタ記念病院		○							
		Tーグランシア水源								○	
		浅井クリニック									○
	みよし市	あかお整形外科リハビリテーションクリニック									○
		寿光会中央病院				○			○		○
		みよし市民病院		○	○	○				○	○
		いしい外科三好クリニック									○
		岡崎市民病院	○	○					○		○
西三 河南 部東 医療圏	岡崎市	愛知県三河青い鳥医療療育センター			○	○					○
		はまな整形外科クリニック									○
		岡崎共立病院			○	○					○
		藤田医科大学岡崎医療センター	○	○							
		葵セントラル病院		○							○
		かとう整形外科									○
		天野整形外科クリニック									○
		わたなべ整形リハビリクリニック									○
		宇野病院		○	○					○	
		田井整形外科クリニック									○
		富田病院			○						
	幸田町	むらかみ整形外科									○
	安城市	松井整形外科			○						○
		八千代病院		○	○	○				○	○
	刈谷市	碧海中央クリニック									○
		刈谷記念病院				○					○
		刈谷豊田東病院				○				○	○
	高浜市	高浜豊田病院				○				○	○
		よだ整形外科									○
	知立市	かじた子どもクリニック									○
		秋田病院		○	○					○	○

二次医療圏	市区町村	病院・施設名	実施内容:病院または診療所								
			高度 急性 期	急性 期	回復 期	療 養 型	精 神	結 核	感 染 症	地 域 包 括 ケ ア	外 来
西三河南部西医療圏	西尾市	神谷内科整形外科									○
		うえた整形外科クリニック									○
		高須病院		○	○						○
		あいちリハビリテーション病院			○						○
		小野田整形外科クリニック									○
		山尾病院				○				○	○
東三河北部医療圏	碧南市	愛生館小林記念病院			○	○				○	
	新城市	とも整形外科リハビリクリニック									○
	西新町	西新町整形外科									○
東三河南部医療圏	東栄町	東栄町国民健康保険東栄診療所									○
	蒲郡市	蒲郡厚生館病院			○	○					○
		こんどうクリニック									○
		かんだ整形外科リウマチ科									○
	田原市	愛知県厚生農業協同組合連合会渥美病院		○		○				○	○
		かんべ整形リハビリクリニック									○
	豊川市	総合青山病院		○	○	○					○
		信愛医療療育センター				○					○
		大崎整形リハビリクリニック									○
		桃源堂後藤病院								○	○
		樋口病院				○					○
		可知病院			○						○
		国府病院				○					○
	豊橋市	赤岩病院			○	○					
		光生会病院		○							
		殿田橋整形外科									○
		豊橋医療センター		○							
		第二成田記念病院			○						
		豊橋整形外科向山クリニック									○
		豊橋整形外科江崎病院		○							○
		積善クリニック									○
		第二積善病院				○					○
		積善病院				○					
		きよし整形外科リハビリクリニック									○
		とよはしにし整形リハクリニック									○
		はしら整形リハビリクリニック									○
		豊橋ハートセンター		○							○
		豊橋市民病院	○	○				○	○		○
		いちかわ整形外科リハビリクリニック									○
		弥生病院			○						○
		ふくい整形外科リウマチリハビリクリニック									○
		福祉村病院				○				○	○
		豊橋市こども発達センター									○
		ミラまち整形外科クリニック									○

(2)全体 実施内容：介護保険事業（複数回答）

二次医療圏	市区町村	病院・施設名	実施内容：介護保険事業													地域包括支援センター
			訪問リハビリテーション	訪問看護	通所リハビリテーション	通所介護	認知症対応通所介護	老人保健施設	介護療養型医療施設	特別養護老人ホーム	老人福祉施設	有料老人ホーム	在宅サービス付高齢者住	介護医療院	タ	
名古屋・尾張中部医療圏	熱田区	(同)THINK BODY JAPAN		○		○						○				
		熱田リハビリテーション病院	○		○	○		○		○		○				
		あつたモール総合クリニック	○		○											
	北区	訪問看護マザーズ北区サテライト	○	○												
		介護老人保健施設 サン・くすのき	○		○	○		○								
		総合上飯田第一病院	○													
		上飯田リハビリテーション病院			○											
		北病院	○		○											
		ひのとり整形在宅クリニック	○													
		大隈病院	○		○											
		生協わかばの里ユニット型介護老人保健施設	○		○			○								
	昭和区	エヌユー訪問看護ステーション		○												
		訪問看護ステーション心和	○	○												
		かわな病院	○	○	○			○								
		白水クリニック			○											
		介護老人保健施設タキガワアリア	○		○			○								
		特別養護老人ホーム川名山荘								○						
		特別養護老人ホーム南山の郷								○	○					
		南山の郷デイサービスセンター				○										
		メディカルいつき			○			○					○			
		クラシアス訪問看護ステーション		○												
	千種区	整形外科 京命クリニック	○		○											
		さくらの丘クリニック通所リハビリテーション	○		○											
		てつく訪問看護ステーション		○												
		はちやデイサービスセンター				○										
		加藤病院	○		○	○										
		KSK看護ステーション	○	○												
		吉田病院	○													
	天白区	訪問看護なかひら	○	○												
		並木病院	○	○												
		介護老人保健施設メディコ平針	○		○			○								
		あおいファミリー訪問看護ステーション		○												
		ホームケアナース睦月	○	○												
		さくらぎ整形外科	○													
		介護老人保健施設 リハビリ井の森	○		○			○								
		あいち診療所野並			○											
	中川区	伊藤整形外科	○		○											
		訪問看護ステーションきょうりつ		○												
		老人保健施設 ラ・ファミリア	○		○			○								
		富田病院	○						○					○		
	中区	老人保健施設ラベンダー			○			○								
		大型デイサービスセンター サンサンリゾート新栄				○										
	中村区	介護老人保健施設メディケア栄	○	○	○			○								
		介護老人保健施設 ジョイフル名駅	○		○			○								
		増子記念病院		○									○			
		大門訪問看護ステーション		○												
		デイサービスセンター 大門				○										
		訪問看護ステーションさつき		○												
		鶴飼リハビリテーション病院			○											
		医療法人珪山会	○	○	○	○										
		偕行会城西病院	○													
		名古屋市療養サービス事業団		○												
		増子クリニック昂			○											
		ライフ訪問看護ステーション		○												
	西区	さぶり整形外科			○											
		井戸田整形外科 名駅スポーツクリニック			○											
		愛知県済生会リハビリテーション病院	○		○											
		バスケット訪問看護ステーション		○												
	東区	玉池在宅クリニック	○													
		AOI名古屋病院		○												

二次医療圏	市区町村	病院・施設名	実施内容:介護保険事業											地域包括支援センター
			訪問リハビリテーション	訪問看護	通所リハビリテーション	通所介護	認知症対応通所介護	老人保健施設	介護療養型医療施設	特別養護老人ホーム	老人福祉施設	有料老人ホーム	在宅サービス付高齢者住	介護医療院
名古屋・尾張中部医療圏	瑞穂区	高木整形外科・内科			○									
		ユニット型介護老人保健施設 セントラル堀田	○		○			○						
		柴田屋整形外科	○		○									
	緑区	リハビリ専門デイサービス イーリス				○								
		藤田医科大学訪問看護ステーション緑	○											
		大同みどりクリニック	○	○	○									
		アサヒサングリーン株式会社										○		
		徳重整形外科クリニック			○	○								
		訪問看護ステーションはたるみどり		○										
		相生山病院	○											
		ひかり老人保健施設	○		○			○						
		まこと老人保健施設			○			○						
		ツクイ名古屋緑				○								
		早稲田イーライフ神の倉				○								
		とどろきクリニック	○											
		こうの整形外科	○		○									
		訪問看護ステーションレガート	○	○										
		南生協よってって横丁			○									
	港区	水谷医院小碓デイケアセンター	○		○									
		東洋病院	○											
		介護老人保健施設あんず	○		○			○						
		デイサービスセンターさち				○						○		
	南区	善常会リハビリテーション病院	○	○	○			○						○
		南医療生協かなめ病院			○									
		南部地域療育センターそよ風			○									
		名南ふれあい病院	○		○			○						○
		名南介護老人保健施設かたらいの里			○			○						
	名東区	いのこし病院	○											
		にじいろ訪問看護リハステーション(小児・精神・認知症)		○										
		ひまわり訪問看護リハステーション名東		○										
		メイトウホスピタル	○											
		高針台整形外科クリニック	○											
		介護老人保健施設 星ヶ丘アメニティクラブ			○			○						
		木村病院	○											
	守山区	ひなた訪問看護ステーションもりやま		○								○		
		訪問看護キープオン守山		○										
		あいじゅReha&Stay				○								
		川島病院	○		○									
		とみやす整形外科クリニック	○		○									
		中部メディカル 訪問看護ステーション		○										
		訪問看護ステーション恵		○										
		デイケアゆうあい			○									
	北名古屋	リハビリフィットネス訪問看護ステーション守山		○										
		済衆館済衆館病院	○	○	○									○
	清須市	訪問看護ステーションにしはる		○										
		びわくま整形外科			○									
海部医療圏	あま市	五条川リハビリテーション病院	○	○	○							○		
		あま市民病院	○	○										
	大治町	四季の里	○		○			○						
		蟹江町 尾張温泉かにえ病院	○		○			○						
	津島市	津島中央病院			○									○
		安藤病院	○		○									○
		津島リハビリテーション病院	○		○									
		後藤整形外科	○		○									
	愛西市	385クリニック	○											
		デイサービス愛西ガーデン				○								
	弥富市	偕行会リハビリテーション病院	○		○									
		海南病院	○	○	○									
		㈱Welloop		○		○								

二次医療圏	市区町村	病院・施設名	実施内容:介護保険事業												地域包括支援センター
			訪問リハビリテーション	訪問看護	通所リハビリテーション	通所介護	認知症対応通所介護	老人保健施設	介護療養型医療施設	特別養護老人ホーム	老人福祉施設	有料老人ホーム	在宅サービス付高齢者住	介護医療院	
尾張東部医療圏	東郷町	老人保健施設 和合の里			○			○							
	尾張旭市	医療法人あらかわ医院		○	○										
		可知整形外科			○										
		訪問看護リハビリステーション かざぐるま		○											
	瀬戸市	リハビリ訪問看護ステーショントライ		○	○										
		浅野整形外科医院	○		○										
		瀬戸みどりのまち病院	○		○										
		愛厚ホーム瀬戸苑								○					
		あおば訪問看護ステーション		○											
		井上病院	○		○										
	豊明市	藤田医科大学病院			○										
		豊明老人保健施設						○							
		杏掛訪問看護ステーション		○											
	長久手市	藤田医科大学訪問看護ステーション		○											
		ヒロ整形外科クリニック		○											
		東名病院	○												
	日進市	日進老人保健施設	○		○			○							
		愛知国際病院	○	○	○	○		○				○			○
		藤田医科大学訪問看護ステーション日進東郷		○											
		OBKタカEクリニック	○												
		リバーサイドケア赤池										○			
尾張西部医療圏	一宮市	孝友クリニック	○		○	○		○					○		
		介護老人保健施設サザン一宮	○	○	○	○		○					○		
		総合大雄会病院	○												
		なないろ訪問看護ステーション		○											
		上林記念病院			○										
		老人保健施設やすらぎ	○		○			○							
		訪問看護ステーション やすらぎ		○											
		磯村医院	○	○	○	○					○				
		山下病院		○											
		訪問看護 末広ナースステーション		○								○			
		一宮市立木曽川市民病院		○											
		藤クリニック	○		○										
		一宮西病院	○												
	稲沢市	泰玄会訪問看護ステーション		○											
		介護老人保健施設みなみ		○	○			○							
		一宮医療療育センター		○	○										
		訪問看護ステーションびさい		○											
		訪問看護ステーション仁稲沢		○											
		ステップリハビリケアセンター稲沢				○									
尾張北部医療圏	犬山市	訪問看護ステーション オレンジ		○											
		訪問リハビリ看護ステーション長楽		○		○							○		
		稲沢厚生病院	○	○											
		ふなびきクリニック	○		○	○		○				○			
		総合犬山中央病院													○
		犬山駅西病院			○										
		犬山病院		○											
		カワムラ整形外科			○										
		宮崎整形外科・外科・内科	○												
		老人保健施設フローレンス犬山			○			○							
	春日井市	介護老人保健施設 メディコ春日井	○		○			○							
		デイサービスセンター 冨エリア				○									
		みずず訪問看護リハビリステーション春日井		○											
		訪問看護ステーション えん		○											
		介護老人福祉施設 第2グレイスフル春日井								○					○
		北陽会病院	○												
尾張北部医療圏	春日井市	白山リハビリテーション病院		○	○										
		東海記念病院	○	○	○	○									○
		なかひがし整形外科皮膚科			○										

二次医療圏	市区町村	病院・施設名	実施内容:介護保険事業												地域包括支援センター
			訪問リハビリテーション	訪問看護	通所リハビリテーション	通所介護	認知症対応通所介護	老人保健施設	介護療養型医療施設	特別養護老人ホーム	老人福祉施設	有料老人ホーム	在宅サービス付高齢者住居	介護医療院	
尾張北部医療圏	江南市	なかむら・ファミリークリニック	○		○										
	小牧市	ウィルケア訪問看護ステーション		○											
		デイサービスセンター太陽・小牧				○									
		小木南クリニック			○										
		北里クリニック	○												
		愛厚ホーム小牧苑							○						
知多半島医療圏	阿久比町	東ヶ丘訪問看護ステーション		○											
		竹内整形外科・内科クリニック	○		○										
		介護老人保健施設 メディコ阿久比	○		○		○								
		訪問看護ステーションハビリア		○											
	大府市	介護老人保健施設 キュア北崎			○										
		宮田整形外科・皮フ科			○										
		介護老人保健施設 ルミナス大府	○		○		○								
		訪問看護ステーション虹とり	○	○											
		共和病院			○			○							
		訪問看護ステーション ソレイユ	○	○											
	武豊町	国立長寿医療研究センター	○												
		石川病院	○												
		杉石病院	○		○										
	知多市	榊原整形外科	○		○										
		介護老人保健施設 榊原	○		○		○								
	東海市	老人保健施設 知多苑			○		○						○		
		訪問看護メロディ		○											
		訪問看護ステーションいずみ		○											
	常滑市	訪問看護メロディ東海		○											
		訪問看護ステーション ありす		○											
	半田市	老人保健施設 さざんかの丘			○		○								
		常滑市民病院		○											
		あべクリニック			○										
	東浦町	半田中央病院	○		○				○						
介護老人保健施設 結生				○		○									
美浜町	ネクストリハビリテーションセンター				○										
	訪問看護ステーション グラシア		○												
	デイサービスメロディSea				○										
	知多厚生病院		○	○											
西三河北部医療圏	豊田市	浜田整形外科・内科クリニック			○										
		渡辺病院	○		○			○		○					
		足助病院	○	○	○								○	○	
		スマイリングリハニティー		○		○									
		豊田厚生病院		○											
		訪問看護ステーションブルーム		○											
		老人保健施設かずえの郷	○		○			○							
		東山デイサービスセンター			○										
		P-BASE 高橋店				○									
		三九朗病院	○	○	○					○					
		豊田地域医療センター	○											○	
		ひまわり邸デイサービスセンター				○									
		西三河訪問看護ステーション		○											
		三九朗東リハビリテーション病院	○												
	みよし市	老人保健施設 ジョイステイ	○		○			○						○	
		Tーグランシア水源		○		○						○			
		高岡介護老人保健施設	○		○			○							
		あかお整形外科リハビリテーションクリニック			○										
		三好老人保健施設			○										
		寿光会中央病院	○												
西三河南部東医療圏	岡崎市	みよし市民病院	○		○										
		いしい外科三好クリニック			○										
		岡崎東病院 岡崎東訪問リハビリテーション	○												
		あおぞら在宅クリニック			○										
		訪問看護ステーション 仁 岡崎		○											
		岡崎共立病院	○		○										
		かとう整形外科	○		○										

二次医療圏	市区町村	病院・施設名	実施内容:介護保険事業												地域包括支援センター
			訪問リハビリテーション	訪問看護	通所リハビリテーション	通所介護	認知症対応通所介護	老人保健施設	介護療養型医療施設	特別養護老人ホーム	老人福祉施設	有料老人ホーム	在宅サービス付高齢者住	介護医療院	
西三河南部西医療圏	幸田町	藤田医科大学訪問看護ステーション幸田岡崎		○											
		むらかみ整形外科			○										
	安城市	介護老人保健施設ユニットさとまち	○		○	○		○							○
		松井整形外科	○		○										
		安城老人保健施設			○			○							
		訪問看護ステーション仁安城		○											
		特別養護老人ホーム ひまわり・安城				○				○					
		訪問看護ステーション	○	○	○	○									
		八千代病院	○	○	○	○		○							○
	刈谷市	介護老人保健施設 ハビリス 一ツ木			○			○							
		刈谷市社会福祉協議会				○					○				○
		碧海中央クリニック			○										
		介護老人保健施設かりや	○		○			○							
	知立市	刈谷豊田東病院			○										
		おんじいのへや知立店				○									
	西尾市	知立老人保健施設	○		○			○							
		神谷内科整形外科	○												
		高須病院	○		○									○	
		介護老人保健施設 高須ケアガーデン			○			○							
		あいちりハビリテーション病院	○	○	○			○							
		にしお老人保健施設 彩り			○			○							
		小野田整形外科クリニック	○		○										
		特別養護老人ホームとくつぎ								○					
		山尾病院	○	○	○										
		せんねん村矢曾根				○					○				
	碧南市	訪問看護ステーション 仁 碧南		○											
		愛生館小林記念病院	○	○	○			○		○					
東三河北部医療圏	新城市	西新町整形外科			○										
	東栄町	東栄町国民健康保険東栄診療所	○		○										
東三河南部医療圏	蒲郡市	蒲郡厚生館病院	○		○			○					○		
		こんどうクリニック	○		○										
		かんだ整形外科リウマチ科	○												
	田原市	愛知県厚生農業協同組合連合会渥美病院	○					○							
		かんべ整形外科リハビリクリニック			○										
	豊川市	介護老人保健施設 おとわの杜	○		○			○							
		桃源堂後藤病院	○											○	
		樋口病院			○										
		介護老人保健施設 たんぼぼ			○			○							
		可知病院	○		○										
	豊橋市	赤岩病院												○	
		殿田橋整形外科	○		○										
		豊橋整形外科向山クリニック	○		○										
		豊橋整形外科江崎病院	○		○										
		老人保健施設 尽誠苑	○		○			○							○
		積善クリニック	○		○										
		きよし整形外科リハビリクリニック	○		○										
		とよはしにし整形外科リハビリクリニック	○		○										
		老人保健施設 明陽苑	○		○			○							
		汐田デイサービスセンター			○										
		ふくい整形外科リウマチリハビリクリニック			○										
		福祉村病院	○	○										○	

(3)全体 実施内容：その他（複数回答）

二次医療圏	市区町村	病院・施設名	実施内容:その他				
			障害者福祉施設	行政機関	養成校	その他	
名古屋・尾張中部医療圏	熱田区	名古屋学院大学			○		
	北区	訪問看護マザーズ北区サテライト	○				
		橋本整形外科クリニック				○	
	昭和区	名古屋市中央療育センター診療相談係				○	
	千種区	名古屋平成看護医療専門学校				○	
	天白区	新生会あしたの丘	○				
	中川区	こいで整形外科				○	
	中区	理学・作業名古屋専門学校			○		
		星城大学リハビリテーション学院			○		
		滋慶学園 名古屋医健スポーツ専門学校			○		
		たかい整形外科				○	
		日本福祉大学				○	
	中村区	中部リハビリテーション専門学校			○		
	西区	国際医学技術専門学校				○	
		まいゆめ	○				
	西区	愛知県青い鳥医療療育センター	○				
	東区	名古屋大学大学院医学系研究科			○		
	緑区	放課後等デイサービス わかたきっず	○				
		脳神経リハビリセンター名古屋				○	
	港区	社会福祉法人ふれ愛名古屋	○				
		非特定営利法人ひろがり	○				
	南区	パパママハウス	○				
		南部地域療育センターそよ風	○				
	名東区	やまがみ整形外科腰痛クリニック				○	
		めいとう児童デイサービス ソレイユ	○				
		つなぐ	○				
		国立病院機構東名古屋病院附属リハビリテーション学院			○		
	守山区	ひなた訪問看護ステーションもりやま	○				
		名古屋市立森孝西小学校				○	
	北名古屋市	北名古屋市市役所東庁舎		○			
		清須市	愛知医療学院大学／愛知医療学院短期大学			○	
		豊山町	児童デイサービス あんしん				○
尾張東部医療圏	瀬戸市	愛知労災特別介護施設ケアプラザ瀬戸				○	
	長久手市	愛知淑徳大学			○		
	日進市	チャイルドウィッシュにつしん	○				
尾張西部医療圏	一宮市	障害者支援施設あすか	○				
		Body care HOME				○	
		一宮医療療育センター	○				
稲沢市	産前産後からだ企画				○		
尾張北部医療圏	春日井市	訪問看護ステーション えん	○				
		きたしろ整形外科				○	
		中部大学			○		
知多半島医療圏	東海市	富貴ノ台整形外科				○	
		星城大学リハビリテーション学部				○	
		東海市立あすなろ学園	○	○			
	半田市	日本福祉大学健康科学部			○		
		半田市児童発達支援センター半田市立つくし学園				○	
西三河北部医療圏	豊田市	豊田市福祉事業団	○				
西三河南部東医療圏	岡崎市	愛知県三河青い鳥医療療育センター	○				
		刈谷市社会福祉協議会	○				
	刈谷市	心身障害者福祉会館 障害者支援事業所	○				
		刈谷市社会福祉協議会 施設福祉課	○				
		刈谷豊田総合病院				○	
	碧南市	碧南市役所		○			
	東三河南部医療圏	豊川市	信愛医療療育センター	○			
愛厚希全の里			○				
豊橋市		豊橋市役所		○			
		豊橋創造大学			○		
		障害者支援施設設珠菴荘	○				
	豊橋市こども発達センター		○				

(4)各状況＜病院・施設＞ 入院基本料・特定入院料

二次医療圏	市区町村	病院・施設名	入院基本料・特定入院料		
			回復期リハビリテーション病棟入院料	地域包括ケア病棟入院料	地域包括医療病棟入院料
名古屋・尾張中部医療圏	熱田区	熱田リハビリテーション病院	1	1	
	北区	総合上飯田第一病院	3	2	
		上飯田リハビリテーション病院	1		
		北病院		1	○
		大隈病院		1	
	昭和区	かわな病院		1	
	千種区	加藤病院	2		
		吉田病院		2	
	天白区	並木病院			○
	中川区	名古屋共立病院		1	
	中村区	鵜飼リハビリテーション病院	1		
		医療法人珪山会	1	1	
		偕行会城西病院		1	
		愛知県済生会リハビリテーション病院	2		
	東区	AOI名古屋病院		2	
	緑区	名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院		2	
		相生山病院		1	
		南生協病院		2	
	南区	善常会リハビリテーション病院	1		
		南医療生協かなめ病院	1		
		名南ふれあい病院	1		
	名東区	メイトウホスピタル	1	1	○
		東名古屋病院	1		
		木村病院	1		
	守山区	川島病院	1		
	北名古屋市	済衆館済衆館病院	1	2	
	清須市	五条川リハビリテーション病院	4		
海部医療圏	あま市	あま市民病院	1	1	○
	蟹江町	尾張温泉かこえ病院	2	1	
	津島市	津島市民病院		2	
	津島市	津島リハビリテーション病院	3		
尾張東部医療圏	弥富市	偕行会リハビリテーション病院	1		
	瀬戸市	あさい病院	1	2	
		瀬戸みどりのまち病院		1	
	長久手市	東名病院		1	
尾張西部医療圏	日進市	愛知国際病院		2	
	一宮市	総合大雄会病院	1		
		上林記念病院		2	
		山下病院		1	
		一宮市立木曽川市民病院	1	1	
		一宮西病院	1		
		泰玄会病院		2	
尾張北部医療圏	稲沢市	稲沢市民病院		2	
		稲沢厚生病院		2	
	犬山市	総合犬山中央病院	1	1	
	春日井市	春日井整形あさひ病院	4		
		北陽会病院	1	1	
		白山リハビリテーション病院	1		
		東海記念病院	1	1	
	江南市	佐藤病院	1		
知多半島医療圏	大府市	国立長寿医療研究センター	1	2	
	武豊町	石川病院		1	
		杉石病院		1	○
	知多市	知多小嶋記念病院		3	
	常滑市	常滑市民病院	1	2	
	半田市	半田中央病院	3	1	
	美浜町	知多厚生病院		1	
		渡辺病院	3	1	

二次医療圏	市区町村	病院・施設名	入院基本料・特定入院料		
			回復期リハビリテーション病棟入院料	地域包括ケア病棟入院料	地域包括医療病棟入院料
西三河圏北部医療圏	豊田市	足助病院		1	
		三九朗病院	1		
		豊田地域医療センター	1	1	
		三九朗東リハビリテーション病院	1		
	みよし市	みよし市民病院		1	○
西三河南部東医療圏	岡崎市	岡崎共立病院	3		
		宇野病院	1	1	
		富田病院	1		
西三河南部西医療圏	安城市	八千代病院	1		○
	刈谷市	刈谷豊田東病院		2	
	高浜市	高浜豊田病院		2	
	知立市	秋田病院	2	1	
		高須病院	1		
	西尾市	あいちリハビリテーション病院	1		
		山尾病院		1	
	碧南市	愛生館小林記念病院	1		
東三河南部医療圏	蒲郡市	蒲郡厚生館病院	3		
	田原市	愛知県厚生農業協同組合連合会渥美病院		2	
		総合青山病院	1		
	豊川市	桃源堂後藤病院		1	
		可知病院	1		
		赤岩病院	1		
	豊橋市	第二成田記念病院	1		
		弥生病院	3		
		福祉村病院		1	

(5)各状況＜病院・施設＞ 施設基準（複数回答）

二次医療圏	市区町村	病院・施設名	施設基準														
			リ テ ー シ ョ ン 料	心 大 血 管 疾 患 等 リ ハ ビ リ	脳 血 管 疾 患 等 リ ハ ビ リ	テ ー シ ョ ン 料	廃 用 症 候 群 リ ハ ビ リ	シ ョ ン 料	運 動 器 リ ハ ビ リ テ ー	呼 吸 器 リ ハ ビ リ テ ー	難 病 患 者 リ ハ ビ リ テ ー	障 害 児 （ 者 ） リ ハ ビ リ テ ー	がん 患 者 リ ハ ビ リ テ ー	シ ョ ン 料	認 知 症 リ ハ ビ リ テ ー	リ ン パ 浮 腫 複 合 的 治 療	特 定 集 中 治 療 室 管 理
名古屋・尾張中部医療圏	熱田区	熱田リハビリテーション病院		I	I	I											
		あつたモール総合クリニック				I											
	北区	しんぼ整形外科				I											
		名春中央病院		Ⅲ		Ⅱ											
		名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	I	I	I	I	I					○					
		総合上飯田第一病院		I	I	I	I					○					
		上飯田リハビリテーション病院		I	I	I											
		北病院	Ⅱ	Ⅱ		I	I										
		大隈病院		I	I	I	I										
		セタクリニック				Ⅱ											
	昭和区	名古屋大学医学部附属病院	I	I	I	I	I					○					1
		かわな病院		I	I	I	I					○					
		日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院	I	I	I	I	I					○				重症	1
		白水クリニック		Ⅲ		Ⅲ											
		メディカルいつき		Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ											
	千種区	名古屋スポーツクリニック				I											
		整形外科 京命クリニック				I・Ⅲ											
		はちや整形外科病院				I											
		加藤病院		I	I	I											
	天白区	吉田病院		I	I	I	I										
		名古屋記念病院	I	Ⅱ	Ⅱ	I	I					○					
		並木病院		I		I											
		さくらぎ整形外科				I											
		天白かんだ整形外科クリニック				I											
		伊藤整形外科				I											
	中川区	八事病院		Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ								○			
		藤田医科大学ばんだね病院	I	I	I	I	I					○					
		あらこ整形外科リウマチ科クリニック				I											
		名古屋市西部地域療育センター										○					
		名古屋掖済会病院	I	I	I	I	I					○					3
		松蔭病院		Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ											
		名古屋共立病院	I	I	I	I	I					○					
		富田病院		Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ										
	中区	肩とひざの整形外科				I											
	中村区	増子記念病院	Ⅱ	I	I	I	I					○					
		日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	I	I	I	I	I					○					1
		鶴飼リハビリテーション病院		I		I											
		医療法人珪山会		I	I	I						○					
		偕行会城西病院		Ⅱ	Ⅱ	I	Ⅱ										
		増子クリニック昂		Ⅲ		Ⅱ											
	西区	さぶり整形外科				Ⅱ・Ⅲ											
		井戸田整形外科 名駅スポーツクリニック				I											
		愛知県済生会リハビリテーション病院		I	I	I	I										
		名鉄病院	I	I	I	I	I					○					
		よねだ整形リハビリクリニック				I											
		名古屋市北部地域療育センター										○					
川上内科整形外科					I												
東区	愛知県青い鳥医療療育センター		I								○						
	AOI名古屋病院		I	I	I	I					○						
瑞穂区	名古屋ハートセンター	I															
	高木整形外科・内科				I												
	ブラザー記念病院		Ⅲ		Ⅱ	I											
	柴田屋整形外科				I・Ⅲ												
緑区	名古屋市総合リハビリテーションセンター附属病院	I	I	I	I												
	名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院	I	I	I	I	I											
	みどり整形外科運動器クリニック				I												
	徳重整形外科クリニック				I												
	相生山病院		I	I	I	I											
	うばこ山整形外科クリニック				Ⅱ												
	こうの整形外科				I												
	さがら整形外科				Ⅱ・Ⅲ												

二次医療圏	市区町村	病院・施設名	施設基準													
			リ テ ー シ ョ ン 料	心 大 血 管 疾 患 等 リ ハ ビ リ	脳 血 管 疾 患 等 リ ハ ビ リ	テ ー シ ョ ン 料	廃 用 症 候 群 リ ハ ビ リ	シ ョ ン 料	運 動 器 リ ハ ビ リ テ ー	呼 吸 器 リ ハ ビ リ テ ー	難 病 患 者 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 料	障 害 児 （ 者 ） リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 料	がん 患 者 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 料	認 知 症 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 料	療 料 リ ン パ 浮 腫 複 合 的 治 療	特 定 集 中 治 療 室 管 理
名古屋・尾張中部医療圏	港区	東洋病院			Ⅱ			Ⅱ		Ⅰ						
	南区	善常会リハビリテーション病院			Ⅰ	Ⅰ		Ⅰ	Ⅰ							
		南医療生協かなめ病院			Ⅰ	Ⅰ		Ⅰ	Ⅰ							
		南部地域療育センターそよ風										○				
		大同病院	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ				○				
		だいでうクリニック			Ⅱ			Ⅱ	Ⅱ			○				
		みらい整形外科						Ⅱ								
		名南ふれあい病院			Ⅰ			Ⅰ								
		中京病院	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ				○				1
	名東区	いのこし病院			Ⅲ			Ⅲ								
		メイトウホスピタル			Ⅰ	Ⅰ		Ⅰ								
		高針台整形外科クリニック						Ⅱ・Ⅲ								
		東名古屋病院			Ⅰ	Ⅰ		Ⅰ	Ⅰ							
		木村病院	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ									
		すぎやま病院			Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ								
	守山区	川島病院			Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ									
		絃仁病院			Ⅱ			Ⅱ								
		とみやす整形外科クリニック			Ⅲ			Ⅱ								
	北名古屋市	師勝整形外科						Ⅰ								
		済衆館済衆館病院	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ				○				
		光寿会リハビリテーション病院	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ											
	清須市	びわじま整形外科						Ⅰ								
		五条川リハビリテーション病院			Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ							
海部医療圏	あま市	あま市民病院	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ								
	蟹江町	尾張温泉かにえ病院			Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ									
	津島市	津島中央病院			Ⅱ			Ⅰ								
		安藤病院			Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ								
		津島市民病院	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ				○				
		津島リハビリテーション病院			Ⅰ			Ⅰ								
		後藤整形外科			Ⅲ			Ⅱ・Ⅲ								
	愛西市	鈴木整形外科						Ⅰ								
		385クリニック			Ⅱ			Ⅰ								
	弥富市	偕行会リハビリテーション病院			Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ							
		海南病院	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ				○				
尾張東部医療圏	東郷町	なごやひがし整形外科・脊椎クリニック						Ⅰ								
	尾張旭市	医療法人あらかわ医院			Ⅱ			Ⅰ								
		あさひの森 整形外科リハビリクリニック						Ⅰ								
		可知整形外科						Ⅰ・Ⅲ								
		四軒家整形外科クリニック						Ⅰ								
	瀬戸市	公立陶生病院	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ				○			重症	
		あさい病院			Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ				○				
		浅野整形外科医院			Ⅲ			Ⅱ・Ⅲ								
		瀬戸みどりのまち病院			Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ					○				
		井上病院			Ⅲ			Ⅱ								
	豊明市	藤田医科大学病院	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ			○				1
	長久手市	ヒロ整形外科クリニック						Ⅱ・Ⅲ								
		東名病院			Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ							
	日進市	愛知国際病院			Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ			○				
		平針かとう整形外科						Ⅰ								
		岩崎台おおぐち内科ハートクリニック	Ⅰ													

二次医療圏	市区町村	病院・施設名	施設基準											特定集中治療室管理
			リテー 心大血 管疾患 リハビ リテー シヨン 料	脳血 管疾患 等リハ ビリ テー シヨン 料	廃用 症候群 リハビ リ テー シヨン 料	運動器 リハビ リテー シヨン 料	呼吸器 リハビ リテー シヨン 料	難病患 者リハ ビリ テー シヨン 料	障害児 (者)リ ハビ リテー シヨン 料	がん患 者リハ ビリ テー シヨン 料	認知症 リハビ リテー シヨン 料	療料 リンパ 浮腫複 合的治 療		
尾張西部医療圏	一宮市	孝友クリニック		I	I	I・III								
		介護老人保健施設サザン一宮		I	I	I・III								
		総合大雄会病院	I	I	I	I	I			○				
		一宮市立市民病院	I	I	I	I	I			○				
		やまざき整形外科・リウマチクリニック				II								
		上林記念病院		I	I	I	I							
		萩原整形外科リウマチクリニック				II								
		磯村医院		III	III	II								
		たなけん脊椎眼科クリニック				II								
		山下病院				III	II			○				
		一宮市立木曽川市民病院		I	I	I	I			○				
		藤クリニック				II								
		たけもと整形外科				II								
		一宮西病院	I	I	I	I	I			○		重症	1	
		泰玄会病院		I	I	I	I			○				
		一宮医療療育センター		I		I								
	稲沢市	服部整形外科				II・III								
		稲沢市民病院	I	I	I	I	I			○				
		こんどう整形外科				II・III								
		稲沢厚生病院	I	I	I	I	I							
尾張北部医療圏	犬山市	ふなびきクリニック		III		III								
		総合犬山中央病院	I	I	I	I	I							
		犬山駅西病院		II	II	I				○				
		犬山病院		III	III	III								
		カワムラ整形外科				I								
		宮崎整形外科・外科・内科				II								
	岩倉市	大地整形外科				II・III								
		春日井市民病院	I	I	I	I	I			○		重症・1以外	1	
	春日井市	春日井整形あさひ病院		I	I	I	I							
		ムラセ整形外科				I								
		かすがい内科 咳と頭痛と生活習慣病				III	II							
		まつした整形外科				I								
		足立病院		II		I	I							
		北陽会病院		I	I	I	I							
		白山リハビリテーション病院	I	I	I	I								
		東海記念病院		I	I	I	I			○				
		なかひかし整形外科皮膚科				II・III								
		上田整形外科				I								
	江南市	ほてい整形外科クリニック		III		II								
		佐藤病院		I	I	I								
		河村内科ハートクリニック	I											
	小牧市	小牧いとう整形外科				I								
		塚原外科・内科		I		II								
		小木南クリニック				II								
		北里クリニック				II								
	扶桑町	ひじかた整形外科				I・III								
知多半島医療圏	阿久比町	竹内整形外科・内科クリニック				I								
	大府市	ひらしま整形外科リウマチ科クリニック				II								
		宮田整形外科・皮フ科				I								
		あいち小児保健医療総合センター	I			I	I		○					
		あおぞらファミリークリニック				II			○					
		共和病院		II		I	II							
		国立長寿医療研究センター	I	I	I	I	I		○					
	武豊町	石川病院				II								
		杉石病院		II	II	I								
	知多市	榊原整形外科				I								
		知多小嶋記念病院		I	I	I								
	東海市	いえだ整形外科リハビリクリニック				I								
		さんのうメディカルクリニック				I								
	常滑市	おおすが整形外科				I・III								
		とこなめ整形外科				II・III								
		常滑市民病院	I	I	I	I	I			○				

二次医療圏	市区町村	病院・施設名	施設基準											特定集中治療室管理
			心臓血管疾患リハビリテーション	脳血管疾患等リハビリテーション	廃用症候群リハビリテーション	運動器リハビリテーション	呼吸器リハビリテーション	難病患者リハビリテーション	障害児（者）リハビリテーション	がん患者リハビリテーション	認知症リハビリテーション	療養リハビリテーション	リンパ浮腫複合的治療	
知多半島医療圏	半田市	あべクリニック				Ⅱ								
		半田中央病院		Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ								
		半田市立半田病院	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ			○				
		結生クリニック				Ⅰ								
	美浜町	知多厚生病院		Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ			○				
		浜田整形外科・内科クリニック				Ⅰ								
西三河北部医療圏	豊田市	渡辺病院		Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ							
		足助病院		Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ							
		豊田厚生病院	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ			○				
		上郷整形外科・リハビリテーション科				Ⅰ・Ⅲ								
		三九朗病院	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ							
		豊田地域医療センター		Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ			○				
		吉田整形外科病院				Ⅰ								
		三九朗東リハビリテーション病院		Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ								
	みよし市	トヨタ記念病院	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ			○				
		浅井クリニック		Ⅲ										
		あかお整形外科リハビリテーションクリニック				Ⅰ								
		寿光会中央病院		Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ								
		みよし市民病院		Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ							
		いしい外科三好クリニック		Ⅲ		Ⅰ								
西三河南部東医療圏	岡崎市	岡崎市民病院	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	○	○	○				1
		愛知県三河青い鳥医療療育センター		Ⅰ		Ⅰ			○					
		はまな整形外科クリニック				Ⅰ								
		岡崎共立病院		Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	○						
		藤田医科大学岡崎医療センター	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ			○				2
		葵セントラル病院		Ⅲ		Ⅱ								
		かとう整形外科				Ⅰ・Ⅲ								
		天野整形外科クリニック				Ⅰ								
		わたなべ整形リハビリクリニック				Ⅰ								
		宇野病院		Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ							
	幸田町	田井整形外科クリニック				Ⅱ・Ⅲ								
		富田病院		Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ								
		むらかみ整形外科				Ⅰ・Ⅲ								
	安城市	松井整形外科		Ⅱ		Ⅰ								
		八千代病院	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ			○	○			
		碧海中央クリニック				Ⅰ								
		刈谷記念病院		Ⅱ		Ⅰ								
	刈谷市	刈谷豊田東病院		Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ							
		高浜豊田病院		Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ							
	高浜市	よだ整形外科				Ⅰ								
		かじた子どもクリニック				Ⅲ			○					
西三河南部西医療圏	知立市	秋田病院		Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ							
		神谷内科整形外科				Ⅱ								
		うえた整形外科クリニック				Ⅰ・Ⅲ								
		高須病院		Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ							
	西尾市	あいちリハビリテーション病院		Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ							
		小野田整形外科クリニック		Ⅲ		Ⅱ								
		山尾病院		Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ							
		愛生館小林記念病院		Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ								
	碧南市	とも整形外科リハビリクリニック				Ⅱ								
		西新町整形外科				Ⅰ								
		東栄町国民健康保険東栄診療所		Ⅲ		Ⅲ								
		蒲郡厚生館病院		Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ			○				
東三河北部医療圏	蒲郡市	こんどうクリニック		Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ								
		かんた整形外科リウマチ科				Ⅰ								
		愛知県厚生農業協同組合連合会渥美病院	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ							
		かんべ整形リハビリクリニック				Ⅰ								
	田原市	総合青山病院		Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ								
		信愛医療療育センター				Ⅲ	Ⅱ		○					
		大崎整形リハビリクリニック		Ⅰ		Ⅰ								
		桃源堂後藤病院		Ⅲ		Ⅱ								
		樋口病院		Ⅲ		Ⅱ								
		可知病院		Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ								
		国府病院		Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ							

二次医療圏	市区町村	病院・施設名	施設基準																
			リ テ ー シ ョ ン 料	心 大 血 管 疾 患 リ ハ ビ	脳 血 管 疾 患 等 リ ハ ビ	廃 用 症 候 群 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 料	シ ョ ン 料	運 動 器 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 料	呼 吸 器 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 料	難 病 患 者 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 料	障 害 児 （ 者 ） リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 料	が ん 患 者 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 料	認 知 症 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 料	療 料	リン パ 浮 腫 複 合 的 治 療	特 定 集 中 治 療 室 管 理			
東 三 河 南 部 医 療 圏	豊橋市	赤岩病院			I	I	I	I											
		光生会病院			II	II	I	I											
		殿田橋整形外科			II		I												
		豊橋医療センター	I	I	I	I	I			○	○								
		第二成田記念病院			I	I	I												
		豊橋整形外科向山クリニック			II		II												
		豊橋整形外科江崎病院			II	II	I												
		積善クリニック			III		I												
		第二積善病院			II	II	I												
		積善病院			II		I												
		きよし整形外科リハビリクリニック			III		I												
		とよはしにし整形リハクリニック					I												
		はしら整形リハビリクリニック					I												
		豊橋ハートセンター	I																
		豊橋市民病院	I	I	I	I	I					○			重症		6		
		いちかわ整形外科リハビリクリニック					II												
		弥生病院			I		I												
		ふくい整形外科リウマチリハビリクリニック			II		I												
		福祉村病院			I	I	I												
		豊橋市こども発達センター									○								
		ミラまち整形外科クリニック					I												

2) 理学療法士の養成と教育

(1)職員に対して行っている教育・研究・取り組み 資格取得状況（複数回答）

二次医療圏	市区町村	病院・施設名	資格取得状況								
			心臓リハビリテーション指導士	糖尿病療養指導士	学会合同呼吸療法認定士または呼吸ケア・リハビリテーション指導士	栄養サポートチーム専門療法士	介護支援専門員	福祉住環境コーディネーター	健康運動指導士	アスレティックトレーナー	社会福祉士
名古屋・尾張中部医療圏	熱田区	(同)THINK BODY JAPAN			○		○				○
		名古屋学院大学			○						
		熱田リハビリテーション病院					○	○			
	北区	しんぼ整形外科						○			
		介護老人保健施設 サン・くすのき					○	○			
		橋本整形外科クリニック							○		
		名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	○	○	○			○	○		
		総合上飯田第一病院	○	○	○			○			
		上飯田リハビリテーション病院			○	○	○	○	○		
		北病院			○			○			
		大隈病院			○			○			
	昭和区	訪問看護ステーション心と			○						
		名古屋大学医学部附属病院	○	○	○						
		日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院	○		○						
		介護老人保健施設タキガワアリア					○	○			
		特別養護老人ホーム川名山荘			○						
		特別養護老人ホーム南山の郷					○	○			○
		メディカルいつき						○	○		
		クラシアス訪問看護ステーション					○				
	千種区	名古屋中央療育センター診療相談係						○			
		さくらの丘クリニック通所リハビリテーション						○			
		てつく訪問看護ステーション					○	○			
		加藤病院					○	○			
		名古屋平成看護医療専門学校						○			
	天白区	吉田病院			○			○			
		名古屋記念病院	○		○	○		○			
		あおいファミリー訪問看護ステーション					○				
		ホームケアナース暁月						○			
		介護老人保健施設 リハビリス井の森						○			
		伊藤整形外科								○	
	中川区	新生会あしたの丘					○	○			○
		藤田医科大学ばんだね病院	○		○			○			
		名古屋市西部地域療育センター			○						
		名古屋掖済会病院	○		○						
		松蔭病院					○	○			
		名古屋共立病院			○						
		訪問看護ステーションきょうりつ						○			
		老人保健施設 ラ・ファミリア					○	○			
	中区	富田病院					○	○			
		理学・作業名古屋専門学校						○			
		大型デイサービスセンター サンサンリゾート新栄					○				
		星城大学リハビリテーション学院			○			○			
	中村区	日本福祉大学			○						
		介護老人保健施設 ジョイフル名駅					○	○			
		増子記念病院	○	○	○	○	○	○			
		中部リハビリテーション専門学校					○	○			
		大門訪問看護ステーション			○			○			
		デイサービスセンター 大門			○		○				
		日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	○	○	○	○		○		○	
		訪問看護ステーションさつき	○		○						
		鶴飼リハビリテーション病院						○			
		医療法人珪山会			○		○	○			
		偕行会城西病院		○	○			○			
		名古屋市療養サービス事業団			○			○			
		増子クリニック昂		○		○	○	○			
		ライフ訪問看護ステーション						○			
	西区	さぶり整形外科						○			
		井戸田整形外科 名駅スポーツクリニック								○	
		愛知県済生会リハビリテーション病院	○		○			○			
		名鉄病院	○	○	○			○			
		名古屋市北部地域療育センター						○			
		愛知県青い鳥医療療育センター			○				○	○	

二次医療圏	市区町村	病院・施設名	資格取得状況								
			心臓リハビリテーション指導士	糖尿病療養指導士	学会合同呼吸療法認定士または呼吸ケア・リハビリテーション指導士	栄養サポートチーム専門療法士	介護支援専門員	福祉住環境コーディネーター	健康運動指導士	アスレティックトレーナー	社会福祉士
名古屋・尾張中部医療圏	東区	AOI名古屋病院			○			○			
		名古屋ハートセンター	○		○						
		名古屋大学大学院医学系研究科	○								
	瑞穂区	ユニット型介護老人保健施設 セントラル堀田					○				
		ブラザー記念病院			○						
	緑区	名古屋市総合リハビリテーションセンター附属病院	○		○		○	○			
		第一なるみ病院			○						
		リハビリ専門デイサービス イーリス					○				
		藤田医科大学訪問看護ステーション緑					○				
		名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院	○		○	○		○			
		大同みどりクリニック							○	○	
		アサヒサンクグリーン株式会社						○			
		脳神経リハビリセンター名古屋						○			
		相生山病院		○				○			
		ひかり老人保健施設			○		○	○			
		まこと老人保健施設					○				
		とどろきクリニック					○				
		南生協病院	○	○	○						
		南生協よってって横丁	○		○						
	港区	非特定営利法人ひろがり			○						
		水谷医院小確デイケアセンター					○	○			
		介護老人保健施設あんず					○				
		デイサービスセンターさち					○				
	南区	善常会リハビリテーション病院			○		○	○			○
		ババママハウス						○			
		南医療生協かため病院			○			○			
		だいでうクリニック			○		○	○			
		みらい整形外科			○						
		名南介護老人保健施設かたらいの里			○						
	名東区	中京病院	○	○	○			○			
		にじいろ訪問看護リハステーション(小児・精神・認知症)					○				
		ひまわり訪問看護リハステーション名東						○			
		高針台整形外科クリニック					○				
		東名古屋病院	○		○			○			
		木村病院	○				○	○			
		すぎやま病院						○			
	守山区	国立病院機構東名古屋病院附属リハビリテーション学院	○		○		○	○			
		絃仁病院					○		○		
		とみやす整形外科クリニック					○	○			
	北名古屋市	リハビリフィットネス訪問看護ステーション守山			○		○	○			
		師勝整形外科						○			
		済衆館済衆館病院	○		○		○	○			
	清須市	北名古屋市役所東庁舎					○				
		びわくま整形外科						○		○	
		愛知医療学院大学／愛知医療学院短期大学			○		○				○
海部医療圏	あま市	五条川リハビリテーション病院					○	○			
		あま市民病院		○	○	○	○	○			
		蟹江町 尾張温泉かこえ病院					○	○			
	津島市	津島中央病院						○			
		安藤病院			○		○				
	愛西市	津島市民病院	○	○	○		○	○			
		385クリニック					○	○			
	弥富市	偕行会リハビリテーション病院			○		○	○			
		海南病院	○	○	○						
	東郷町	㈱Welloop					○	○			
		老人保健施設 和合の里					○				
尾張東部医療圏	尾張旭市	医療法人あらかわ医院		○	○			○			
		可知整形外科						○			
		訪問看護リハステーション かざぐるま					○				
	瀬戸市	公立陶生病院	○	○	○	○					
		あさい、病院			○		○	○			
		浅野整形外科医院					○				
		瀬戸みどりのまち病院			○		○	○			○
		愛厚ホーム瀬戸苑					○				

二次医療圏	市区町村	病院・施設名	資格取得状況								
			心臓リハビリテーション指導士	糖尿病療養指導士	学会合同呼吸療法認定士または呼吸ケア・リハビリテーション指導士	栄養サポートチーム専門療法士	介護支援専門員	福祉住環境コーディネーター	健康運動指導士	アスレティックトレーナー	社会福祉士
尾張東部医療圏	豊明市	藤田医科大学病院	○	○	○	○	○	○	○		
		豊明老人保健施設					○				
		藤田医科大学訪問看護ステーション					○	○			
		藤田医科大学地域包括ケア中核センター					○	○			
	長久手市	東名病院			○			○			
		愛知淑徳大学	○	○	○		○	○		○	
	日進市	日進老人保健施設						○			
		愛知国際病院			○	○		○			
		藤田医科大学訪問看護ステーション日進東郷						○			
		OBKタカエクリニック			○						
		リバーサイドケア赤池						○			
		岩崎とおおぐち内科ハートクリニック	○		○						
尾張西部医療圏	一宮市	孝友クリニック						○		○	
		総合大雄会病院	○		○			○	○		
		一宮市立市民病院	○	○	○	○	○	○			
		上林記念病院					○				
		老人保健施設やすらぎ			○	○	○				
		山下病院			○						
		一宮市立木曽川市民病院		○	○		○	○			
		一宮西病院	○	○	○	○	○	○			
		泰玄会訪問看護ステーション						○			
		泰玄会病院			○			○		○	
	稲沢市	介護老人保健施設みなみ					○				
		一宮医療療育センター					○				
		訪問看護ステーションびさい			○			○			
		訪問看護ステーション仁稲沢			○		○	○			
		稲沢市民病院	○	○	○		○	○		○	
		こんどう整形外科						○			
		訪問看護ステーション オレンジ					○	○			
		訪問リハビリ看護ステーション長楽			○		○				
尾張北部医療圏	犬山市	稲沢厚生病院	○	○	○		○	○			
		総合犬山中央病院	○	○	○			○			
		カワムラ整形外科					○	○			
		宮崎整形外科・外科・内科					○	○			
	岩倉市	老人保健施設フローレンス犬山					○	○			○
		大地整形外科								○	
	春日井市	介護老人保健施設 メディコ春日井						○			
		春日井市民病院	○	○	○	○					
		デイサービスセンター 冨エリア					○				
		訪問看護ステーション えん			○						
		かすがい内科 咳と頭痛と生活習慣病			○						
		白山リハビリテーション病院			○		○	○			
		東海記念病院		○	○		○	○			
		なかひがし整形外科皮膚科					○				
	江南市	中部大学					○	○	○	○	
		上田整形外科						○			
	小牧市	佐藤病院						○			
		河村内科ハートクリニック	○		○						
		小牧いとう整形外科								○	
		ウィルケア訪問看護ステーション					○	○			
	扶桑町	デイサービスセンター太陽・小牧						○			
		北里クリニック						○			
知多半島医療圏	阿久比町	ひじかた整形外科						○			
		竹内整形外科・内科クリニック					○	○			
		介護老人保健施設 メディコ阿久比						○			
	大府市	訪問看護ステーションハビリア						○			
		介護老人保健施設 キュア北崎					○				
		介護老人保健施設 ルミナス大府					○	○			
		あいち小児保健医療総合センター			○			○			
		あおぞらファミリークリニック					○				
		訪問看護ステーション ソレイユ			○		○	○			
		国立長寿医療研究センター	○	○	○	○	○	○			

二次医療圏	市区町村	病院・施設名	資格取得状況								
			心臓リハビリテーション指導士	糖尿病療養指導士	学会合同呼吸療法認定士または呼吸ケア・リハビリテーション指導士	栄養サポートチーム専門療法士	介護支援専門員	福祉住環境コーディネーター	健康運動指導士	アスレティックトレーナー	社会福祉士
知多半島医療圏	武豊町	杉石病院					○				
		榊原整形外科					○	○		○	
		介護老人保健施設 榊原					○	○			
	知多市	訪問看護メロディ						○			
		さんのうメディカルクリニック						○			
	東海市	訪問看護ステーションいずみ			○						
		星城大学リハビリテーション学部	○		○		○	○			
		おおすが整形外科						○	○	○	
		訪問看護メロディ東海					○				
	常滑市	とこなめ整形外科						○			
		常滑市民病院	○		○		○				
	半田市	半田中央病院						○			
		半田市立半田病院	○	○	○						
		介護老人保健施設 結生					○	○			
	東浦町	結生クリニック			○		○	○			○
		訪問看護ステーション グラシア					○	○	○		
	美浜町	知多厚生病院		○	○	○		○			
		渡辺病院					○	○			
西三河北部医療圏	豊田市	足助病院		○	○			○			
		豊田厚生病院	○	○	○		○	○			
		老人保健施設かずえの郷			○						
		三九朗病院			○	○		○			○
		豊田地域医療センター		○	○		○	○			○
		三九朗東リハビリテーション病院			○			○			
		トヨタ記念病院	○	○	○		○	○	○	○	
		老人保健施設 ジョイスティ						○			
		Tーグランシア水源						○			
	みよし市	三好老人保健施設						○			
		寿光会中央病院						○			
		みよし市民病院					○	○			
西三河南部東医療圏	岡崎市	岡崎市民病院	○	○	○	○	○	○			
		愛知県三河青い鳥医療療育センター					○	○			
		岡崎東病院 岡崎東訪問リハビリテーション			○		○	○			
		藤田医科大学岡崎医療センター	○	○	○						
		かとう整形外科						○			
		宇野病院		○	○			○			
	安城市	介護老人保健施設ユニットさとまち						○			
		松井整形外科						○			
		訪問看護ステーション仁安城			○		○	○			
		八千代病院	○		○			○	○	○	
	刈谷市	介護老人保健施設 ハビリス ーツ木			○		○				
		刈谷市社会福祉協議会					○	○			
		碧海中央クリニック			○			○			
		刈谷記念病院						○			
		介護老人保健施設かりや						○			
	高浜市	刈谷豊田東病院			○			○			
		高浜豊田病院			○			○			
	知立市	おんじいのへや知立店					○	○			
		知立老人保健施設						○			
		かじた子どもクリニック					○				
	西尾市	秋田病院			○			○			
		高須病院			○		○	○	○		
		介護老人保健施設 高須ケアガーデン							○		
		あいちリハビリテーション病院	○		○		○	○			
		にしお老人保健施設 彩り						○			
		小野田整形外科クリニック					○				
		特別養護老人ホームとくつぎ					○	○			

二次医療圏	市区町村	病院・施設名	資格取得状況								
			心臓リハビリテーション指導士	糖尿病療養指導士	学会合同呼吸療法認定士または呼吸ケア・リハビリテーション指導士	栄養サポートチーム専門療法士	介護支援専門員	福祉住環境コーディネーター	健康運動指導士	アスレティックトレーナー	社会福祉士
東三河南部医療圏	蒲郡市	こんどうクリニック			○			○			
	田原市	愛知県厚生農業協同組合連合会渥美病院	○	○	○		○	○			
	豊川市	総合青山病院			○			○	○		
		信愛医療療育センター			○						
		愛厚希全の里						○			
		介護老人保健施設 たんぽぽ			○		○	○			
		可知病院						○			
	豊橋市	赤岩病院			○						
		光生会病院			○						
		豊橋医療センター	○		○						
		第二成田記念病院			○		○				
		豊橋整形外科向山クリニック						○			
		豊橋整形外科江崎病院			○		○	○			
		豊橋創造大学	○	○	○			○			
		老人保健施設 尽誠苑			○		○	○			
		積善クリニック					○				
		積善病院					○				
		きよし整形外科リハビリクリニック						○			
		老人保健施設 明陽苑					○				
		豊橋ハートセンター	○		○						
		豊橋市民病院	○		○	○	○	○			
		福祉村病院					○	○			
		豊橋市こども発達センター						○			

(2)職員に対して行っている教育・研究・取り組み 資格取得状況（複数回答）

二次医療圏	市区町村	病院・施設名	資格取得状況							
			メン 生活 行為 向上 マネジ メント	イ サ ル コ ベ ニ ア ・ フ レ 指 導 士	ジ ヤ ー 骨 粗 鬆 症 マ ネ ー	認 知 症 ケ ア 専 門 士	心 不 全 療 養 指 導 士	認 定 訪 問 療 法 士	福 祉 用 具 プ ラ ン ナ ー	該 当 な し
名古屋・尾張中部医療圏	熱田区	(同)THINK BODY JAPAN	○					○		
		熱田リハビリテーション病院			○				○	
		あつたモール総合クリニック								○
	北区	訪問看護マザーズ北区サテライト								○
		名春中央病院								○
		名古屋市立大学医学部附属西部医療センター				○	○			
		総合上飯田第一病院					○			
		上飯田リハビリテーション病院	○							
		セタクリニック								○
	昭和区	エヌユー訪問看護ステーション								○
		名古屋大学医学部附属病院					○			
		白水クリニック								○
		南山の郷デイサービスセンター								○
		メディカルいつき	○							
	名古屋スポーツクリニック								○	
	千種区	整形外科 京命クリニック								○
		はちやデイサービスセンター								○
		はちや整形外科病院								○
		加藤病院	○					○		
		KSK看護ステーション								○
		吉田病院	○							
	天白区	訪問看護なかひら								○
		並木病院								○
		介護老人保健施設メディコ平針								○
		さくらぎ整形外科								○
		天白かんだ整形外科クリニック								○
		あいち診療所野並								○
		八事病院								○
	中川区	こいで整形外科								○
		あらこ整形外科リウマチ科クリニック								○
	中区	介護老人保健施設メディケア栄								○
		肩とひざの整形外科								○
	中村区	増子記念病院	○	○	○	○			○	
		中部リハビリテーション専門学校								○
		大門訪問看護ステーション				○		○		
		日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院			○					
		鶴飼リハビリテーション病院		○						
		医療法人珪山会	○	○	○					
		偕行会城西病院	○							
		名古屋市療養サービス事業団						○		
		増子クリニック昂	○	○		○			○	
	西区	国際医学技術専門学校								○
		名鉄病院		○			○			
		よねだ整形リハビクリニック								○
		バスケット訪問看護ステーション								○
		玉池在宅クリニック								○
		川上内科整形外科								○
		まいゆめ								○
	東区	名古屋ハートセンター					○			
	瑞穂区	高木整形外科・内科								○
		ユニット型介護老人保健施設 セントラル堀田							○	
		柴田屋整形外科								○
			名古屋市総合リハビリテーションセンター附属病院					○		○

二次医療圏	市区町村	病院・施設名	資格取得状況						
			メン 生 活 行 為 向 上 マ ネ ジ	サ ル コ ベ ニ ア ・ フ レ イ ル 指 導 士	骨 粗 鬆 症 マ ネ ー ジ ャー	認 知 症 ケ ア 専 門 士	心 不 全 療 養 指 導 士	認 定 訪 問 療 法 士	該 当 な し
名古屋・尾張中部医療圏	緑区	リハビリ専門デイサービス イーリス	○						
		放課後等デイサービス わかたきっず*							○
		名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院			○		○		
		みどり整形外科運動器クリニック							○
		徳重整形外科クリニック							○
		訪問看護ステーションほたるみどり							○
		相生山病院	○				○		
		ツクイ名古屋緑							○
		早稲田イーライフ神の倉							○
		うばこ山整形外科クリニック							○
	港区	こうの整形外科							○
		東洋病院							○
	南区	善常会リハビリテーション病院	○		○			○	
		南医療生協かめ病院					○		
		南部地域療育センターそよ風							○
		名南ふれあい病院							○
	名東区	いのこし病院							○
		にじいろ訪問看護リハステーション(小児・精神・認知症)				○			
		やまがみ整形外科腰痛クリニック							○
		介護老人保健施設 星ヶ丘アメニティクラブ							○
		木村病院	○	○	○	○			
		つなぐ							○
		すぎやま病院			○				
	守山区	国立病院機構東名古屋病院附属リハビリテーション学院						○	
		ひなた訪問看護ステーションもりやま				○			
		あいじゅReha&Stay							○
		名古屋市立森孝西小学校							○
		訪問看護ステーション恵							○
		守山友愛病院							○
		デイケアゆうあい							○
	北名古屋市	師勝整形外科			○				
		済衆館済衆館病院					○		
		訪問看護ステーションにしはる							○
	清須市	光寿会リハビリテーション病院							○
		五条川リハビリテーション病院	○		○				
	豊山町	児童デイサービス あんしん							○
海部医療圏	あま市	あま市民病院					○		
	大治町	四季の里							○
	津島市	津島市民病院					○		
		津島リハビリテーション病院							○
		後藤整形外科							○
	愛西市	鈴木整形外科							○
		385クリニック				○			
		デイサービス愛西ガーデン			○				
	弥富市	偕行会リハビリテーション病院				○			
		海南病院		○		○			
尾張東部医療圏	東郷町	なごやひがし整形外科・脊椎クリニック							○
	尾張旭市	医療法人あらかわ医院			○				
		あさひの森 整形外科リハビクリニック			○				
		四軒家整形外科クリニック				○			
	瀬戸市	公立陶生病院			○		○		
		あさい病院	○					○	
		瀬戸みどりのまち病院	○					○	
		あおば訪問看護ステーション							○
		井上病院							○
		愛知労災特別介護施設ケアプラザ瀬戸							○
	豊明市	藤田医科大学病院		○			○		○
		沓掛訪問看護ステーション							○
	長久手市	ヒロ整形外科クリニック							○
	日進市	日進老人保健施設	○						
		平針かとう整形外科							○
		岩崎台おおぐち内科ハートクリニック					○		

二次医療圏	市区町村	病院・施設名	資格取得状況							
			メン 生活 行為 向上 マネジ	サル コベ ニア ・フ レ	骨 粗 鬆 症 マ ネ ー	認 知 症 ケ ア 専 門 士	心 全 療 養 指 導 士	認 定 訪 問 療 法 士	福 祉 用 具 プ ラ ン ナ ー	該 当 な し
尾張西部医療圏	一宮市	一宮市立市民病院	○		○	○	○			
		やまざき整形外科・リウマチクリニック								○
		なないろ訪問看護ステーション								○
		老人保健施設やすらぎ				○		○		
		訪問看護ステーション やすらぎ								○
		萩原整形外科リウマチクリニック								○
		磯村医院								○
		たなけん脊椎眼科クリニック								○
		山下病院	○							
		訪問看護 末広ナースステーション								○
		一宮市立木曽川市民病院			○	○	○			
		藤クリニック								○
		Body care HOME								○
		たけもと整形外科								○
		一宮西病院		○	○	○	○	○	○	
		泰玄会訪問看護ステーション						○		
		介護老人保健施設みなみ	○	○						
		訪問看護ステーションびさい				○		○		
	稲沢市	服部整形外科								○
		訪問看護ステーション仁稲沢						○		
		稲沢市民病院					○			
		ステップリハビリケアセンター稲沢								○
		産前産後からだ企画								○
尾張北部医療圏	犬山市	稲沢厚生病院					○			
		犬山駅西病院								○
	犬山病院	犬山病院								○
		みずが訪問看護リハビリステーション春日井								○
		きたしろ整形外科								○
		春日井整形あさひ病院			○					
		ムラセ整形外科								○
		まつした整形外科								○
		介護老人福祉施設 第2グレイスフル春日井								○
		足立病院								○
		北陽会病院								○
	春日井市	白山リハビリテーション病院	○			○				
		東海記念病院			○	○	○			
	江南市	ほてい整形外科クリニック								○
		なかむら・ファミリークリニック								○
	小牧市	小木南クリニック								○
		愛厚ホーム小牧苑						○		
	扶桑町	ひじかた整形外科			○					
知多半島医療圏	阿久比町	東ヶ丘訪問看護ステーション								○
	大府市	介護老人保健施設 キュア北崎				○				
		ひらしま整形外科リウマチ科クリニック								○
		宮田整形外科・皮フ科								○
		訪問看護ステーション虹とり				○				
		共和病院								○
		国立長寿医療研究センター	○	○	○	○	○		○	
	武豊町	石川病院								○
		榊原整形外科		○	○					
		介護老人保健施設 榊原			○					
	知多市	知多小嶋記念病院								○
		老人保健施設 知多苑								○
		いえだ整形外科リハビリクリニック								○
	東海市	さんのうメディカルクリニック		○						
		富貴ノ台整形外科								○
		星城大学リハビリテーション学部		○					○	
		東海市立あすなろ学園								○
		訪問看護ステーション ありす			○					

二次医療圏	市区町村	病院・施設名	資格取得状況							
			メン 生活 行為 向上 マネジ	サル コベ ニア・ フレ 指導 士	骨 粗 鬆 症 マ ネー ジャ	認 知 症 ケ ア 専 門 士	心 不 全 療 養 指 導 士	認 定 訪 問 療 法 士	福 祉 用 具 プ ラ ン ナ ー	該 当 な し
知多半島医療圏	常滑市	常滑市民病院					○			
		あべクリニック								○
	半田市	日本福祉大学健康科学部								○
		半田市児童発達支援センター半田市立つくし学園								○
	東浦町	ネクストリハビリテーションセンター								○
		訪問看護ステーション グラシア							○	
	美浜町	デイサービスメロディSea	○							
		知多厚生病院	○	○		○				
		浜田整形外科・内科クリニック								○
		渡辺病院	○					○		
西三河北部医療圏	豊田市	足助病院		○	○				○	
		スマイリングリハニティー				○				
		豊田厚生病院	○		○		○			
		訪問看護ステーションブルーム								○
		上郷整形外科・リハビリテーション科								○
		東山デイサービスセンター								○
		豊田市福祉事業団								○
		西三河訪問看護ステーション								○
		吉田整形外科病院								○
		三九朗東リハビリテーション病院					○			
		トヨタ記念病院		○	○				○	
		老人保健施設 ジョイスティ							○	
		高岡介護老人保健施設								○
		浅井クリニック								○
	みよし市	三好老人保健施設	○							
		いしい外科三好クリニック								○
西三河南部東医療圏	岡崎市	岡崎市民病院			○	○	○		○	
		岡崎東病院 岡崎東訪問リハビリテーション				○				
		はまな整形外科クリニック								○
		あおぞら在宅クリニック								○
		訪問看護ステーション 仁 岡崎						○		
		藤田医科大学岡崎医療センター	○							
		葵セントラル病院								○
		かとう整形外科			○	○				
		天野整形外科クリニック								○
		わたなべ整形リハビリクリニック								○
		田井整形外科クリニック								○
		富田病院								○
	幸田町	藤田医科大学訪問看護ステーション幸田岡崎								○
		むらかみ整形外科								○
西三河南部西医療圏	安城市	松井整形外科	○							
		訪問看護ステーション仁安城		○		○		○	○	
		特別養護老人ホーム ひまわり・安城								○
		八千代病院		○			○			
	刈谷市	刈谷市社会福祉協議会	○							
		心身障害者福祉会館 障害者支援事業所								○
		刈谷市社会福祉協議会 施設福祉課								○
	高浜市	刈谷豊田東病院	○						○	
		高浜豊田病院			○					
		たかはま整形リウマチクリニック								○
	知立市	よだ整形外科								○
		秋田病院			○					
	西尾市	神谷内科整形外科		○						
		うえた整形外科クリニック								○
		高須病院	○			○				
		介護老人保健施設 高須ケアガーデン	○							
		あいりリハビリテーション 病院			○					
		特別養護老人ホームとくつぎ				○				
		山尾病院								○
	碧南市	せんねん村矢曾根								○
		碧南市役所								○
東三河北部医療圏	新城市	とも整形外科リハビリクリニック								○
		西新町整形外科								○
	東栄町	東栄町国民健康保険東栄診療所								○

二次医療圏	市区町村	病院・施設名	資格取得状況							
			メン ト 生 活 行 為 向 上 マ ネ ジ	サ ル コ ベ ニ ア ・ フ レ イ ル 指 導 士	骨 粗 鬆 症 マ ネ ー ジ ャー	認 知 症 ケ ア 専 門 士	心 不 全 療 養 指 導 士	認 定 訪 問 療 法 士	福 祉 用 具 プ ラ ン ナ ー	該 当 な し
東三河南部医療圏	蒲郡市	蒲郡厚生館病院								○
		こんどうクリニック						○		
		かんだ整形外科リウマチ科							○	
	豊川市	総合青山病院			○					
		介護老人保健施設 おとわの杜							○	
		大崎整形リハビリクリニック							○	
		桃源堂後藤病院							○	
		樋口病院							○	
		介護老人保健施設 たんぼぼ	○							
		可知病院	○							
		国府病院							○	
	豊橋市	赤岩病院							○	
		光生会病院			○					
		殿田橋整形外科								○
		豊橋整形外科向山クリニック	○							
		老人保健施設 尽誠苑	○			○				
		第二積善病院								○
		きよし整形外科リハビリクリニック		○						
		とよはしにし整形リハクリニック								○
		はしら整形リハビリクリニック								○
		豊橋ハートセンター					○			
		豊橋市民病院					○			
		汐田デイサービスセンター								○
		いちかわ整形外科リハビリクリニック								○
		弥生病院								○
		ふくい整形外科リウマチリハビリクリニック			○					
		福祉村病院				○				
		障害者支援施設珠藻荘								○
		ミラまち整形外科クリニック								○

白書委員会 名簿

白書作成担当（情報管理部） 名簿

部 長	伊藤 直樹	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター
副部長	壹岐 英正	医療法人瑞心会 渡辺病院
副部長	山上 潤一	藤田医科大学病院
部 員	鈴木 惇也	医療法人三仁会 春日井整形あさひ病院
	鈴木 陽平	訪問看護ステーション仁 安城
	星野 裕衣	医療法人瑞心会 渡辺病院

協 力

総務部 部長	清島 大資	東海大学医学部医学科
--------	-------	------------

愛知県理学療法白書 あいち2024

－多様な働き方で広がる理学療法士の役割：
データで見る現状と未来－

編集・発行 公益社団法人 愛知県理学療法士会

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-18-1

三晃丸の内ビル601

TEL (052) 972-6295

令和7年6月30日発行

制作 株式会社 Volition

ビー子ちゃん



ビー太君



公益社団法人 愛知県理学療法士会のマスコット